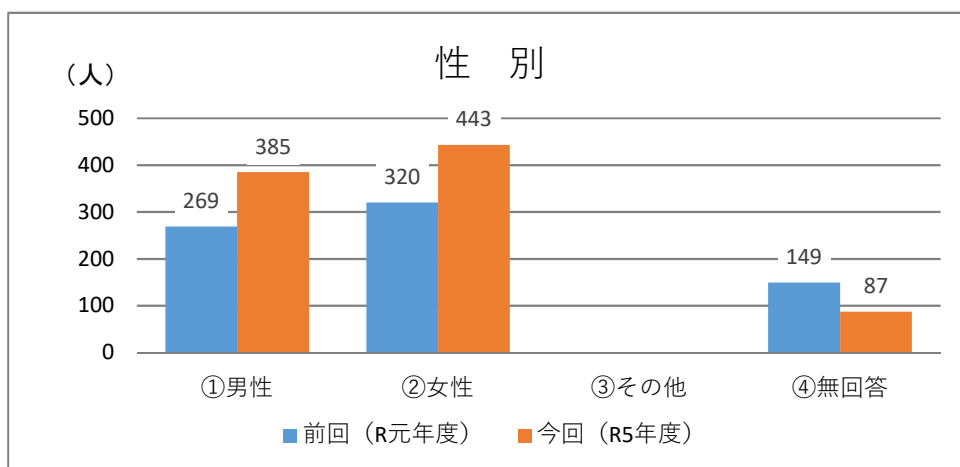


1 回答者属性

(1) 性別

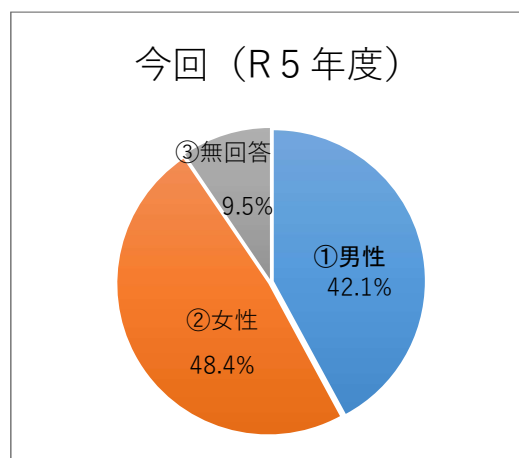
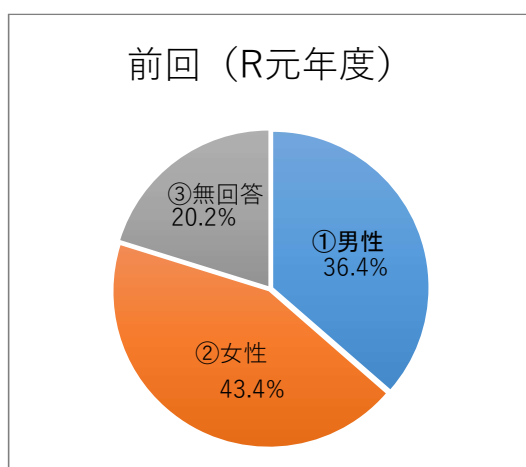
有効回答数の増加及び無回答数の減少により、男性、女性ともに増加しています。「男性」の割合が42.1%、「女性」の割合が48.4%となっています。

	①男性	②女性	③その他	④無回答	合計
今回 (R5年度)	385	443	0	87	915
前回 (R元年度)	269	320	0	149	738
前回との比較	116	123	0	-62	177



<構成比率>

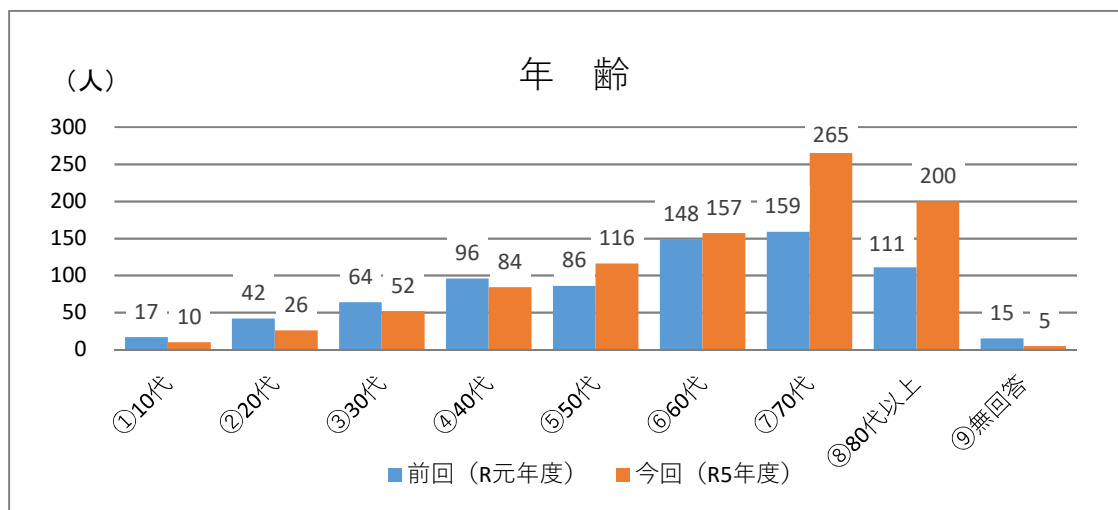
構成比率 (%)	①男性	②女性	③その他	④無回答	合計
今回 (R5年度)	42.1	48.4	0.0	9.5	100.0
前回 (R元年度)	36.4	43.4	0.0	20.2	100.0



(2) 年齢

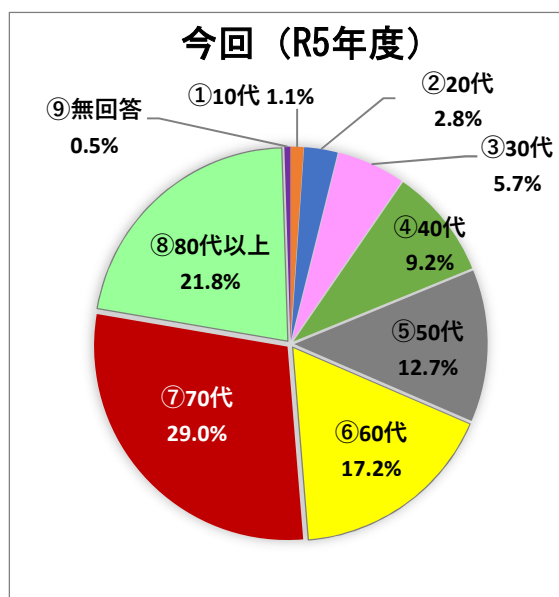
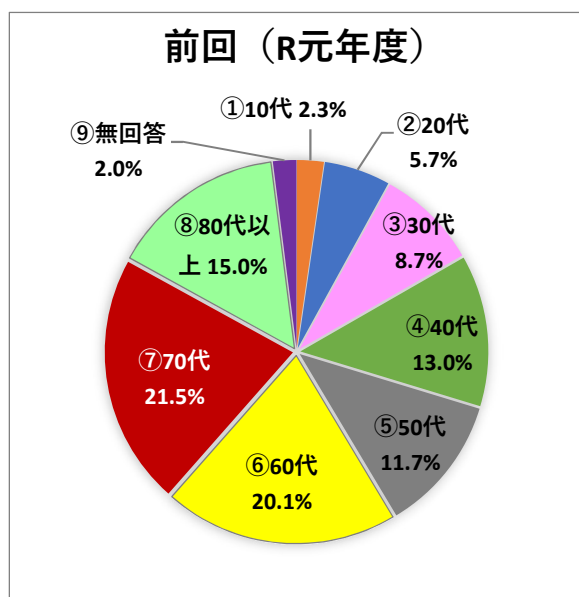
「70代」の割合が29.0%と最も高く、次いで「80代以上」の割合が21.9%となり、全体の50%以上の割合となっています。反対に、「10代」、「20代」、「30代」、「40代」の有効回答数及び割合は減っています。

	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80代以上	⑨無回答	合計
今回 (R5年度)	10	26	52	84	116	157	265	200	5	915
前回 (R元年度)	17	42	64	96	86	148	159	111	15	738
前回との比較	-7	-16	-12	-12	30	9	106	89	-10	177



<構成比率>

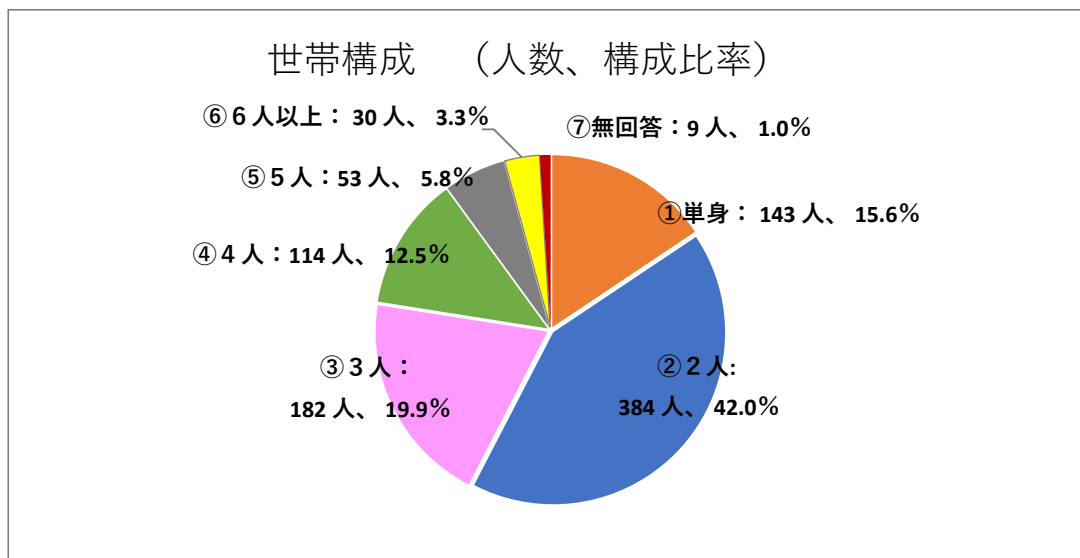
構成比率 (%)	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80代以上	⑨無回答	合計
今回 (R5年度) n=915	1.1	2.8	5.7	9.2	12.7	17.2	29.0	21.9	0.5	100.0
前回 (R元年度) n=738	2.3	5.7	8.7	13.0	11.7	20.1	21.5	15.0	2.0	100.0



(3) 世帯構成

「2人」世帯の割合が42.0%と最も多く、次いで「3人」世帯の割合が19.9%、「単身」世帯の割合が15.6%となっています。

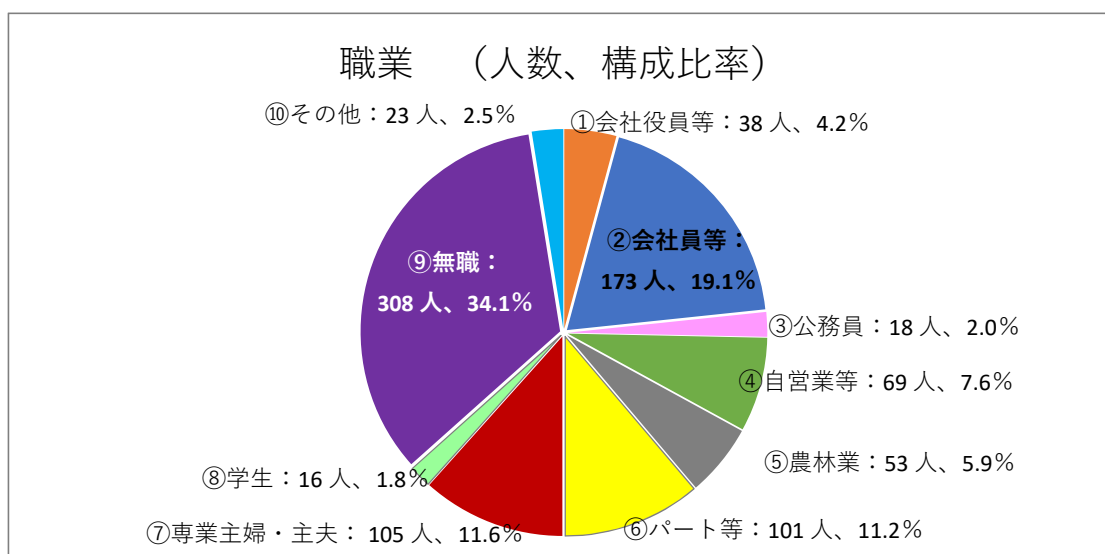
	①単身	②2人	③3人	④4人	⑤5人	⑥6人以上	⑦無回答	合計
人数(人)	143	384	182	114	53	30	9	915
構成比率(%)	15.6	42.0	19.9	12.5	5.8	3.3	1.0	100.0



(4) 職業

「無職」の割合が34.1%と最も高く、次いで「会社員等」の割合が19.1%、「専業主婦・主夫」の割合が11.6%となっています。

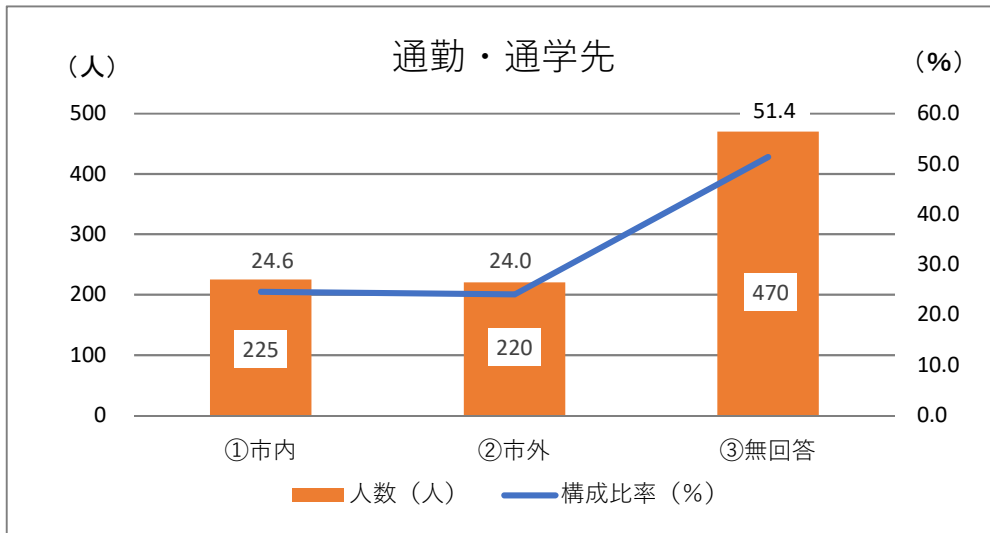
	①会社役員等	②会社員等	③公務員	④自営業等	⑤農林業	⑥パート等	⑦専業主婦・主夫	⑧学生	⑨無職	⑩その他	⑪無回答	合計
人数(人)	38	173	18	69	53	101	105	16	308	23	0	904
構成比率(%)	4.2	19.1	2.0	7.6	5.9	11.2	11.6	1.8	34.1	2.5	0.0	100.0



(5) 通勤・通学先

「無回答」の割合が51.4%と最も高く、「市内」の割合が24.6%、「市外」の割合が24.0%とほぼ同じでした。

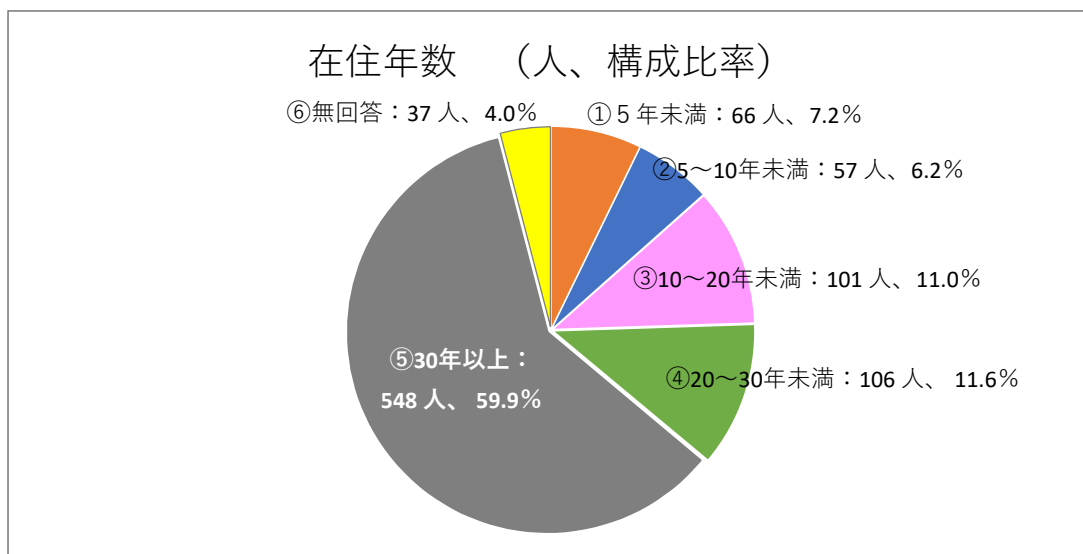
	①市内	②市外	③無回答	合計
人数（人）	225	220	470	915
構成比率（%）	24.6	24.0	51.4	100.0



(6) 在住年数

「30年以上」の割合が59.9%と最も多く、次いで「20～30年未満」の割合が11.6%、「10～20年未満」の割合が11.0%となっています。

	①5年未満	②5～10年未満	③10～20年未満	④20～30年未満	⑤30年以上	⑥無回答	合計
人数（人）	66	57	101	106	548	37	915
構成比率（%）	7.2	6.2	11.0	11.6	59.9	4.0	100.0



(7) 居住地域

①中央

小原区、東小諸区、東山区、乙女区、御幸町区、与良区、鶴巻区、赤坂区、南町区、緑ヶ丘区、荒町区、紺屋町区、八幡町区、三和区、天池区、松井区、東雲区、相生区、本町区、六供区、田町区、大手区、古城区、市町区、新町区、両神区、富士見平区

②北大井

原村区、中村区、八代区、西八満区、東区、藤塚区、石峠区、ケカチ、柏木上区、柏木下区、四ツ谷区、加増区、荒堀区、南ヶ原区、乗瀬区、ひばりヶ丘区

③大里

菱野区、後平区、諸区、西原区、滝原区

④川辺

大久保区、氷区、鶴久保区、西浦区、上ノ平区、久保区、大杭区、宮沢区、御牧ヶ原区、諏訪山区

⑤三岡

市区、耳取区、森山区

⑥南大井

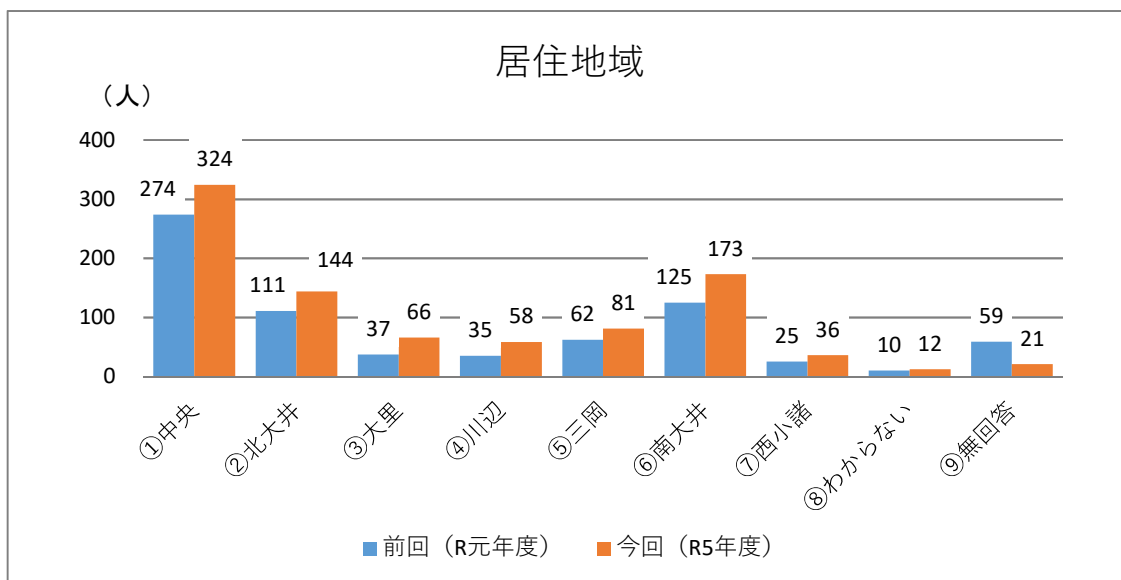
御影区、平原区、久保田、和田区、一ツ谷区、谷地原区

⑦西小諸

芝生田区、井子区、糠地区

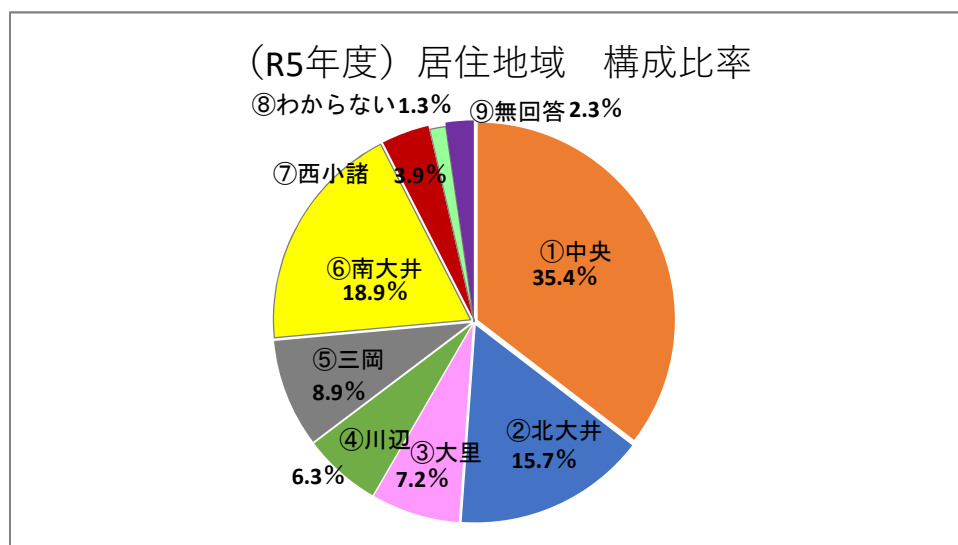
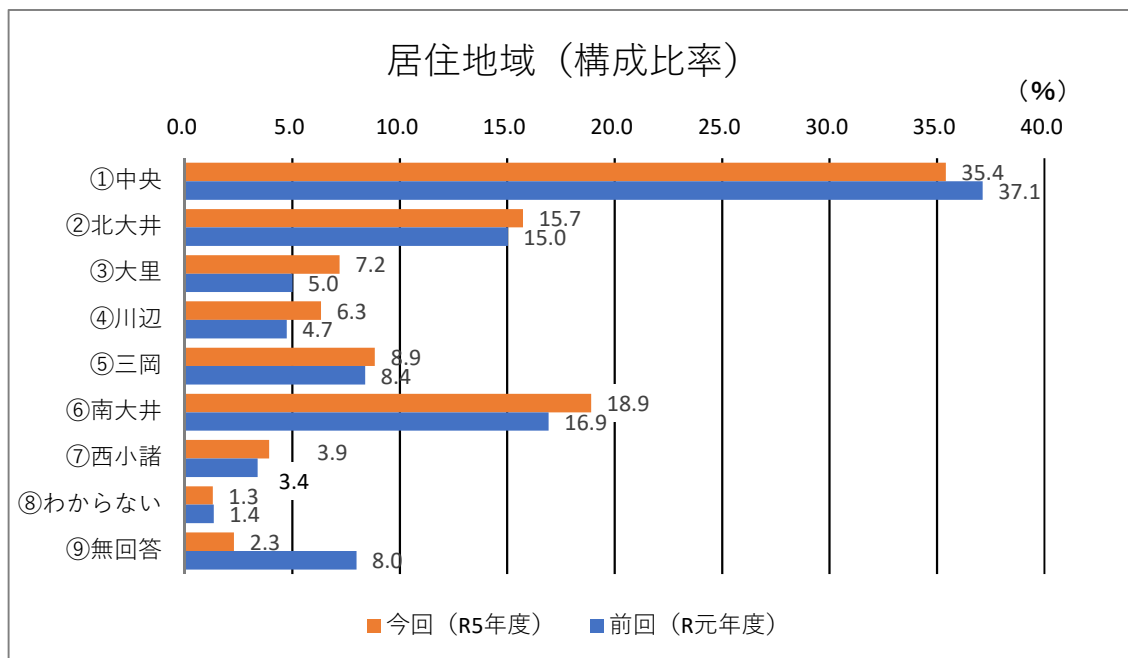
「中央」の割合が35.4%と最も多く、次いで「南大井」の割合が「18.9%」、「北大井」の割合が「15.7%」となっています。

	①中央	②北大井	③大里	④川辺	⑤三岡	⑥南大井	⑦西小諸	⑧わからない	⑨無回答	合計
今回 (R5年度)	324	144	66	58	81	173	36	12	21	915
前回 (R元年度)	274	111	37	35	62	125	25	10	59	738
前回との比較	50	33	29	23	19	48	11	2	-38	177



<構成比率>

構成比率 (%)	①中央	②北大井	③大里	④川辺	⑤三岡	⑥南大井	⑦西小諸	⑧わからない	⑨無回答	合計
今回 (R5年度)	35.4	15.7	7.2	6.3	8.9	18.9	3.9	1.3	2.3	100.0
前回 (R元年度)	37.1	15.0	5.0	4.7	8.4	16.9	3.4	1.4	8.0	100.0



2 ご近所づきあいや地域での暮らしについて

(1) 区の行事に参加している程度

問1 あなたは区の行事にどの程度参加していますか (○印を1つ)

コロナ禍の前後となる調査時期となりました。人との接触を避ける期間が続いたことから、「参加していない」の割合が36.0%となり、前回調査より3.8ポイント増加しました。反対に、「年に数回参加」の割合が37.4%となり、前回調査より4.7ポイント減少しました。

第2章 住民用アンケート調査結果

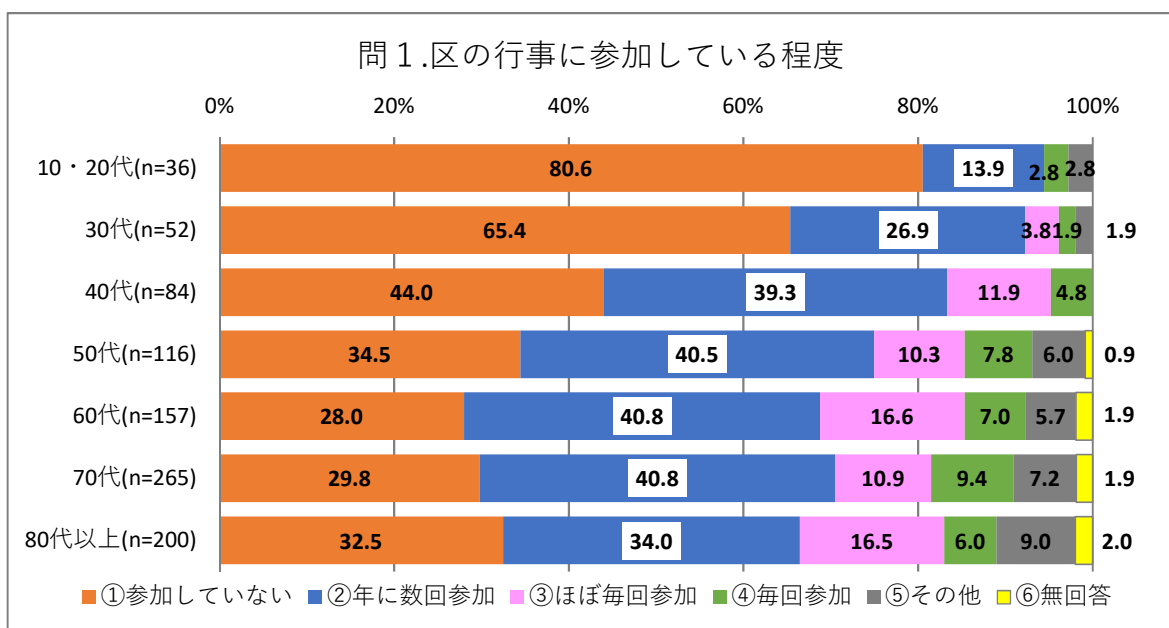
	①参加していない	②年に数回参加	③ほぼ毎回参加	④毎回参加	⑤その他	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	329	342	112	63	56	13	915
前回 (R元年度)	238	311	91	47	33	18	738
比較	91	31	21	16	23	-5	177

構成比率 (%)	①参加していない	②年に数回参加	③ほぼ毎回参加	④毎回参加	⑤その他	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	36.0	37.4	12.2	6.9	6.1	1.4	100.0
前回 (R元年度)	32.2	42.1	12.3	6.4	4.5	2.4	100.0
比較	3.8	-4.7	-0.1	0.5	1.6	-1.0	0.0

年代別では、「10・20代」から「40代」まで「参加していない」の割合が高く、「50代」以上の年代では「年に数回参加」の割合が高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比率 (%)	①参加していない	②年に数回参加	③ほぼ毎回参加	④毎回参加	⑤その他	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	80.6	13.9	0.0	2.8	2.8	0.0	100.0
30代(n=52)	65.4	26.9	3.8	1.9	1.9	0.0	100.0
40代(n=84)	44.0	39.3	11.9	4.8	0.0	0.0	100.0
50代(n=116)	34.5	40.5	10.3	7.8	6.0	0.9	100.0
60代(n=157)	28.0	40.8	16.6	7.0	5.7	1.9	100.0
70代(n=265)	29.8	40.8	10.9	9.4	7.2	1.9	100.0
80代以上(n=200)	32.5	34.0	16.5	6.0	9.0	2.0	100.0



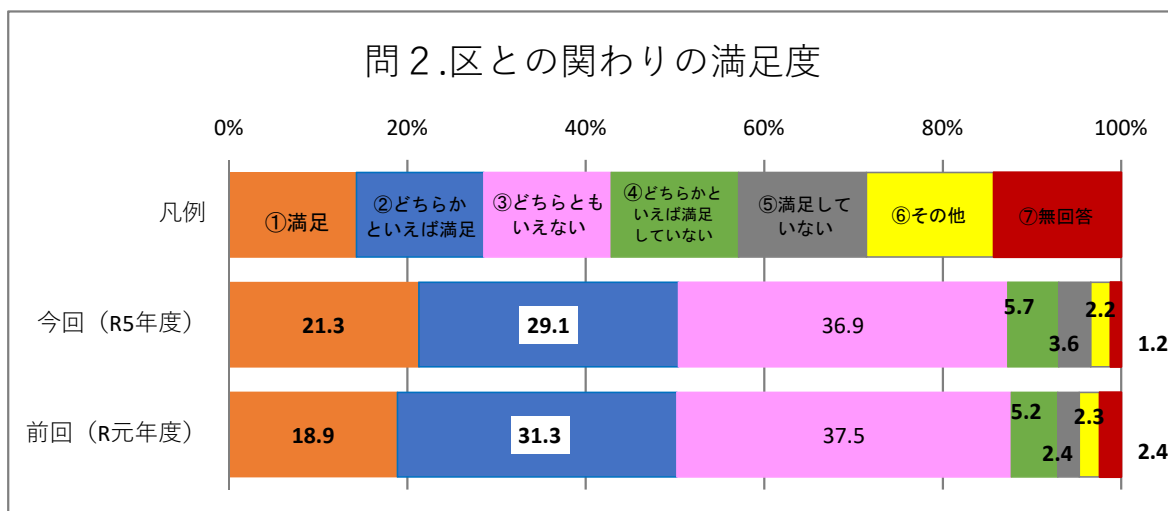
(2) 区との関わりの満足度

問2 あなたは区との関わりに満足していますか（〇印を1つ）

「どちらともいえない」の回答数が最も高くなっています。

	①満足している	②どちらかといえば満足している	③どちらともいえない	④どちらかといえば満足していない	⑤満足していない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回（R5年度）	195	266	338	52	33	20	11	915
前回（R元年度）	139	231	277	38	18	17	18	738
比較	56	35	61	14	15	3	-7	177

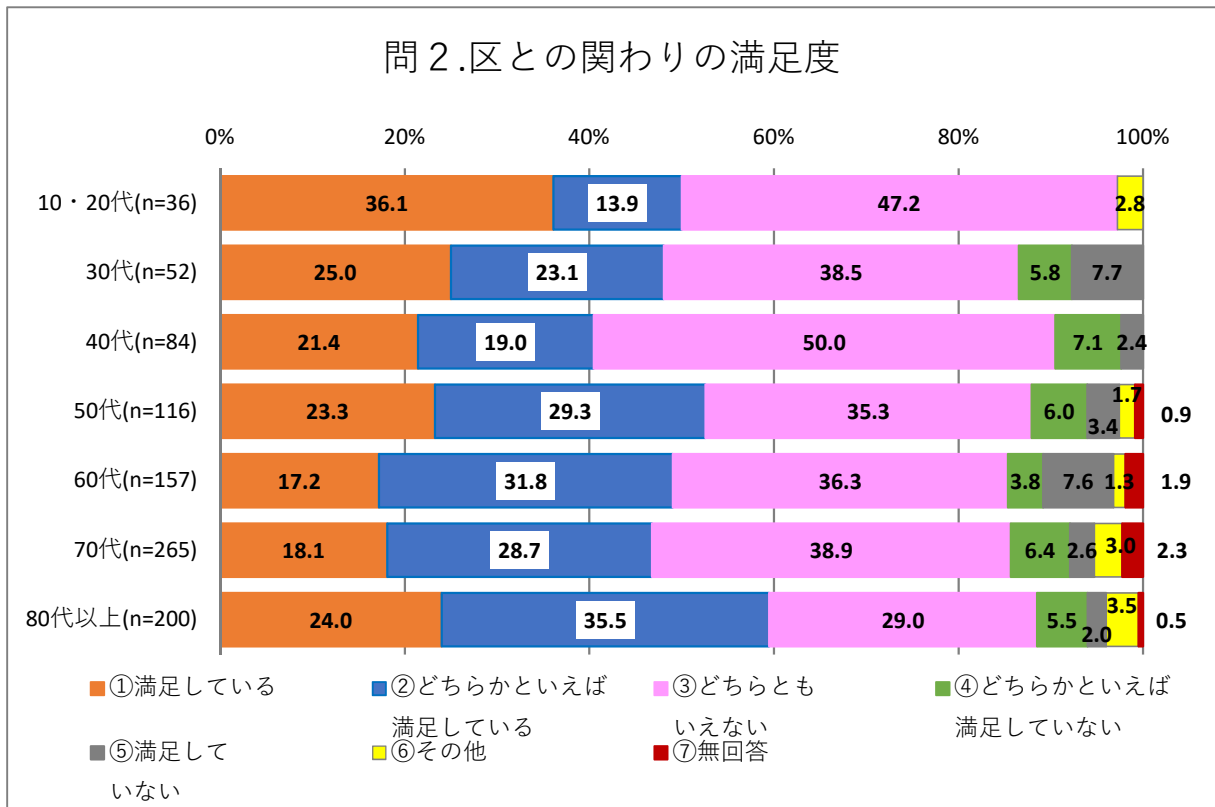
構成比率（%）	①満足している	②どちらかといえば満足している	③どちらともいえない	④どちらかといえば満足していない	⑤満足していない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回（R5年度）	21.3	29.1	36.9	5.7	3.6	2.2	1.2	100
前回（R元年度）	18.9	31.3	37.5	5.2	2.4	2.3	2.4	100
比較	2.4	-2.2	-0.6	0.5	1.2	-0.1	-1.2	



年代別では、「80代以上」の回答において「どちらかといえば満足している」の割合が35.5%と最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比（%）	①満足している	②どちらかといえば満足している	③どちらともいえない	④どちらかといえば満足していない	⑤満足していない	⑥その他	⑦無回答	合計
10・20代(n=36)	36.1	13.9	47.2	0.0	0.0	2.8	0.0	100.0
30代(n=52)	25.0	23.1	38.5	5.8	7.7	0.0	0.0	100.0
40代(n=84)	21.4	19.0	50.0	7.1	2.4	0.0	0.0	100.0
50代(n=116)	23.3	29.3	35.3	6.0	3.4	1.7	0.9	100.0
60代(n=157)	17.2	31.8	36.3	3.8	7.6	1.3	1.9	100.0
70代(n=265)	18.1	28.7	38.9	6.4	2.6	3.0	2.3	100.0
80代以上(n=200)	24.0	35.5	29.0	5.5	2.0	3.5	0.5	100.0



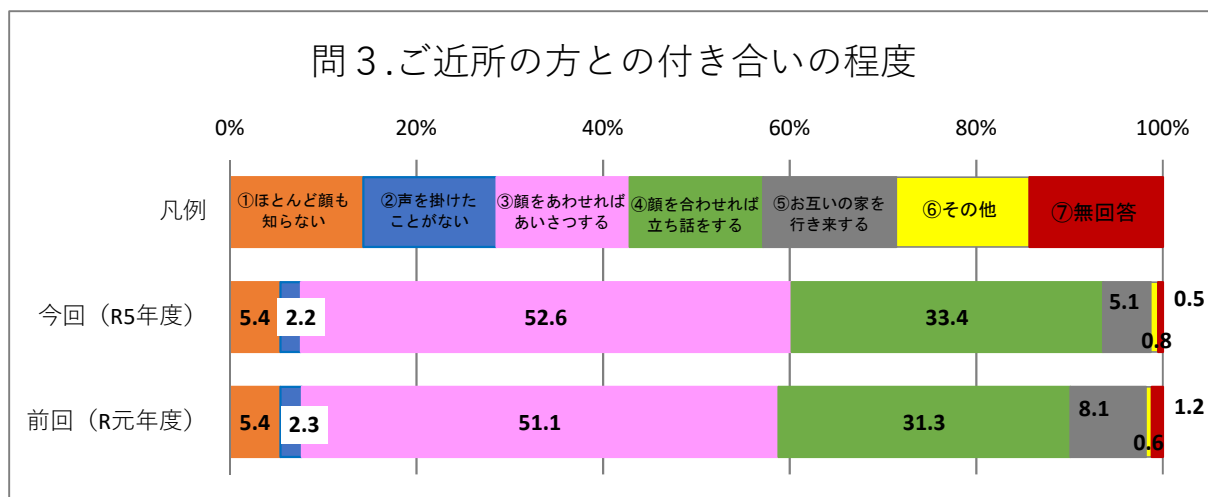
(3) ご近所の方との付き合いについて

問3 あなたはご近所の方との程度の付き合いがありますか (○印を1つ)

「顔を合わせればあいさつする」の回答数が最も高くなっています。「お互いの家を行き来する」の割合が3.0ポイント低くなりました。

	①ほとんど顔も知らない	②声を掛けたことがない	③顔を合わせればあいさつする	④顔を合わせれば立ち話をする	⑤お互いの家を行き来する	⑥その他	⑦無回答	合計
今回 (R5年度)	49	20	481	306	47	7	5	915
前回 (R元年度)	40	17	377	231	60	4	9	738
比較	9	3	104	75	-13	3	-4	177

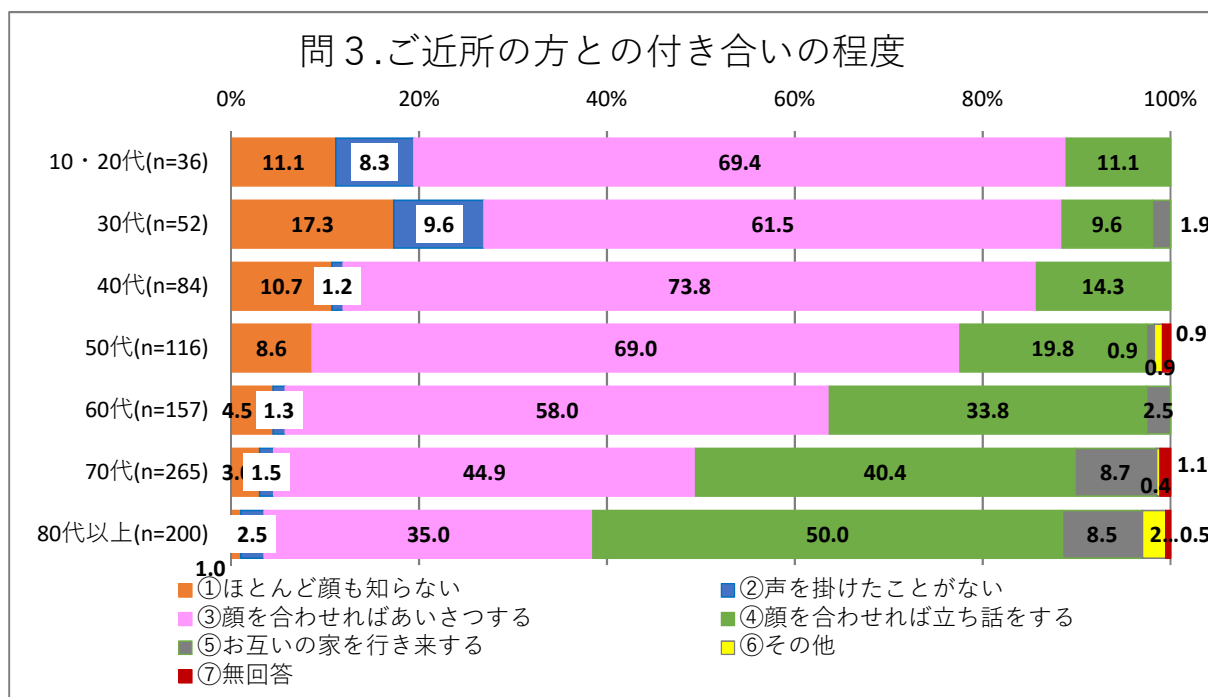
構成比率 (%)	①ほとんど顔も知らない	②声を掛けたことがない	③顔を合わせればあいさつする	④顔を合わせれば立ち話をする	⑤お互いの家を行き来する	⑥その他	⑦無回答	合計
今回 (R5年度)	5.4	2.2	52.6	33.4	5.1	0.8	0.5	100
前回 (R元年度)	5.4	2.3	51.1	31.3	8.1	0.6	1.2	100
比較	0.0	-0.1	1.5	2.1	-3.0	0.2	-0.7	



年代別では、「10・20代」から「70代」までの年代では「顔を合わせればあいさつする」の割合が最も高く、「80代以上」では「顔を合わせれば立ち話をする」の割合が50.0%となっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①ほとんど顔も知らない	②声を掛けたことがない	③顔を合わせればあいさつする	④顔を合わせれば立ち話をする	⑤お互いの家を行き来する	⑥その他	⑦無回答	合計
10・20代(n=36)	11.1	8.3	69.4	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0
30代(n=52)	17.3	9.6	61.5	9.6	1.9	0.0	0.0	100.0
40代(n=84)	10.7	1.2	73.8	14.3	0.0	0.0	0.0	100.0
50代(n=116)	8.6	0.0	69.0	19.8	0.9	0.9	0.9	100.0
60代(n=157)	4.5	1.3	58.0	33.8	2.5	0.0	0.0	100.0
70代(n=265)	3.0	1.5	44.9	40.4	8.7	0.4	1.1	100.0
80代以上(n=200)	1.0	2.5	35.0	50.0	8.5	2.5	0.5	100.0



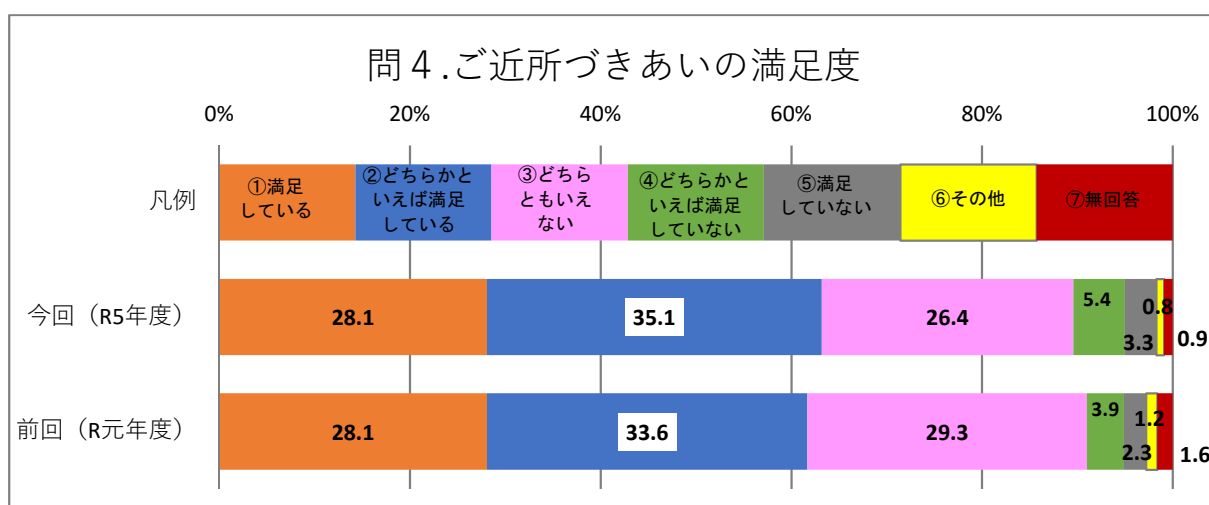
(4) 今のご近所づきあいの満足度

問4 あなたは今のご近所づきあいに満足していますか（〇印を1つ）

「どちらかといえば満足している」の回答数が最も多くなっています。

	①満足している	②どちらかといえば満足している	③どちらともいえない	④どちらかといえば満足していない	⑤満足していない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回（R5年度）	257	321	242	50	30	7	8	915
前回（R元年度）	207	248	216	29	17	9	12	738
比較	50	73	26	21	13	-2	-4	177

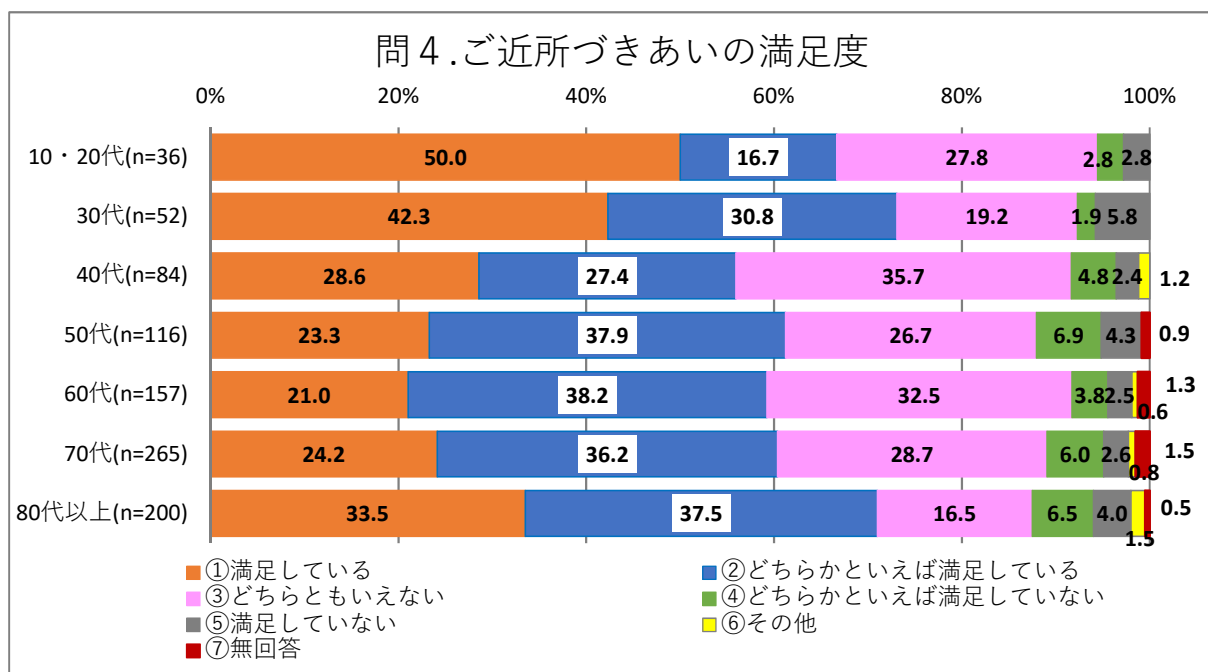
構成比率（%）	①満足している	②どちらかといえば満足している	③どちらともいえない	④どちらかといえば満足していない	⑤満足していない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回（R5年度）	28.1	35.1	26.4	5.4	3.3	0.8	0.9	100
前回（R元年度）	28.1	33.6	29.3	3.9	2.3	1.2	1.6	100
比較	0.0	1.5	-2.9	1.5	1.0	-0.4	-0.7	



年代別では、「10代」から「30代」までの年代では「満足している」の割合が最も高く、「50代」以上では「どちらかといえば満足している」の割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比（%）	①満足している	②どちらかといえば満足している	③どちらともいえない	④どちらかといえば満足していない	⑤満足していない	⑥その他	⑦無回答	合計
10・20代(n=36)	50.0	16.7	27.8	2.8	2.8	0.0	0.0	100.0
30代(n=52)	42.3	30.8	19.2	1.9	5.8	0.0	0.0	100.0
40代(n=84)	28.6	27.4	35.7	4.8	2.4	1.2	0.0	100.0
50代(n=116)	23.3	37.9	26.7	6.9	4.3	0.0	0.9	100.0
60代(n=157)	21.0	38.2	32.5	3.8	2.5	0.6	1.3	100.0
70代(n=265)	24.2	36.2	28.7	6.0	2.6	0.8	1.5	100.0
80代以上(n=200)	33.5	37.5	16.5	6.5	4.0	1.5	0.5	100.0



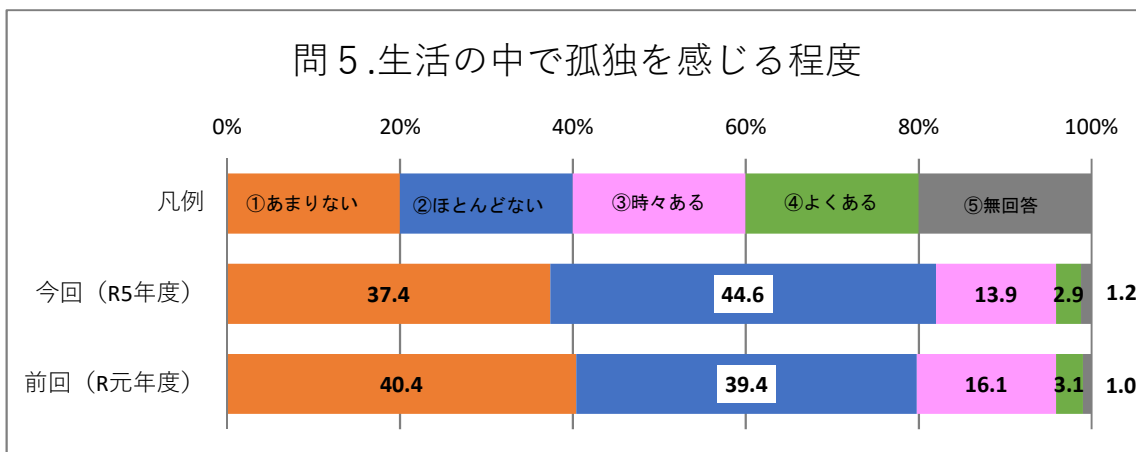
(5) 生活の中での孤立感について

問5 あなたは生活の中で孤立感を感じることはありますか(○印を1つ)

「あまりない」、「ほとんどない」を合わせた回答数が有効回答数の8割を超えています。

	①あまりない	②ほとんどない	③時々ある	④よくある	⑤無回答	合計
今回 (R5年度)	342	408	127	27	11	915
前回 (R元年度)	298	291	119	23	7	738
比較	44	117	8	4	4	177

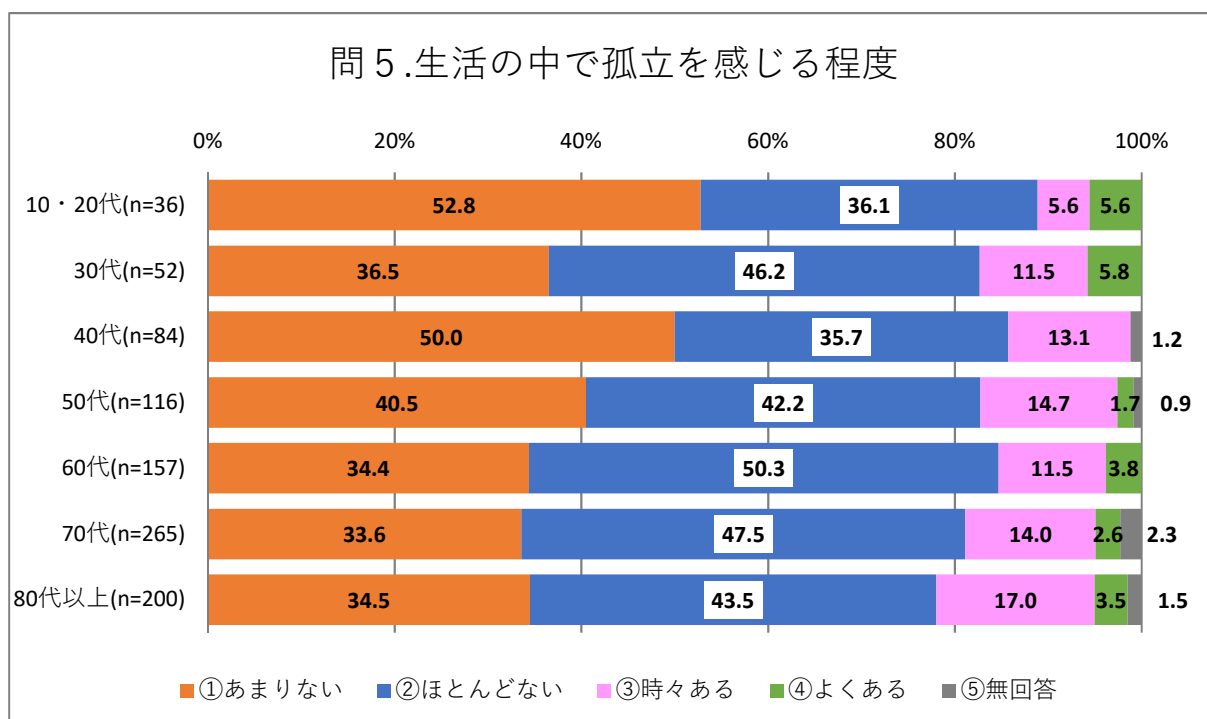
構成比率 (%)	①あまりない	②ほとんどない	③時々ある	④よくある	⑤無回答	合計
今回 (R5年度)	37.4	44.6	13.9	2.9	1.2	100
前回 (R元年度)	40.4	39.4	16.1	3.1	1	100
比較 (%pt)	-3.0	5.2	-2.2	-0.2	0.2	



年代別では、「10・20代」、「40代」の年代は「あまりない」の割合が高くなっています。「30代」、「50代」以上の年代では「ほとんどない」の割合が高くなっています。一方、「よくある」の割合が高いのは「10・20代」、「30代」となっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①あまりない	②ほとんどない	③時々ある	④よくある	⑤無回答	合計
10・20代(n=36)	52.8	36.1	5.6	5.6	0.0	100.0
30代(n=52)	36.5	46.2	11.5	5.8	0.0	100.0
40代(n=84)	50.0	35.7	13.1	0.0	1.2	100.0
50代(n=116)	40.5	42.2	14.7	1.7	0.9	100.0
60代(n=157)	34.4	50.3	11.5	3.8	0.0	100.0
70代(n=265)	33.6	47.5	14.0	2.6	2.3	100.0
80代以上(n=200)	34.5	43.5	17.0	3.5	1.5	100.0



(6) 健康増進や介護予防への取り組みについて

問6 あなたは健康増進や介護予防について誰と取り組んでいますか（○印を1つ）

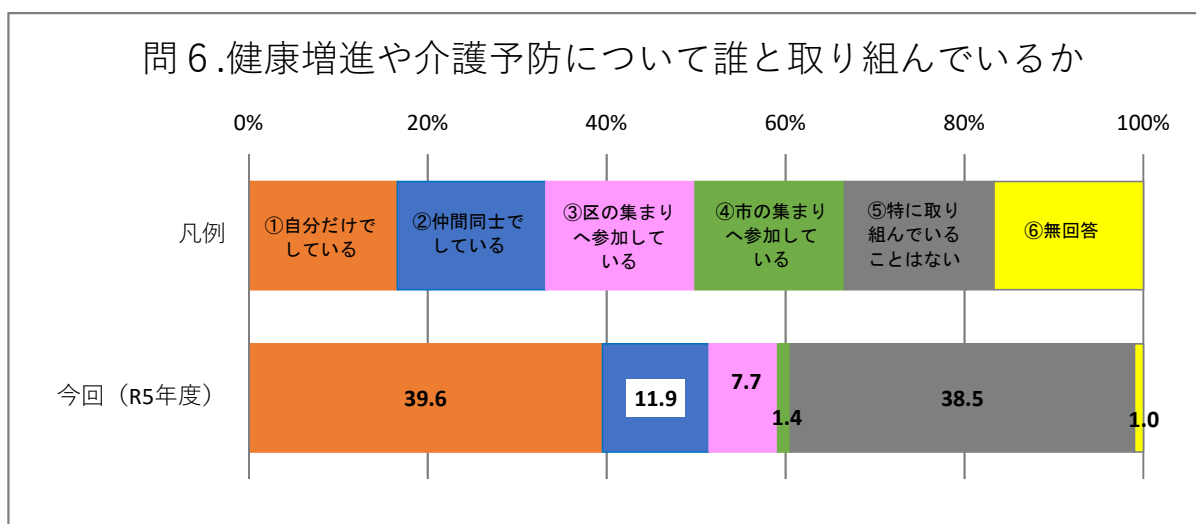
「自分だけでしている」の割合が39.6%と最も高く、次いで「特に取り組んでいることはない」の割合38.5%を上回りました。

※前回調査結果は複数選択による数値

	①自分だけでしている	②仲間同士でしている	③区の集まりへ参加している	④市の集まりへ参加している	⑤特に取り組んでいることはない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	362	109	70	13	352	9	915
前回（R元年度）	274	97	76	22	321	46	836
比較	88	12	-6	-9	31	-37	79

※前回調査結果は複数選択による数値

構成比率（%）	①自分だけでしている	②仲間同士でしている	③区の集まりへ参加している	④市の集まりへ参加している	⑤特に取り組んでいることはない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	39.6	11.9	7.7	1.4	38.5	1.0	100.0
前回（R元年度）	32.8	11.6	9.1	2.6	38.4	5.5	100.0

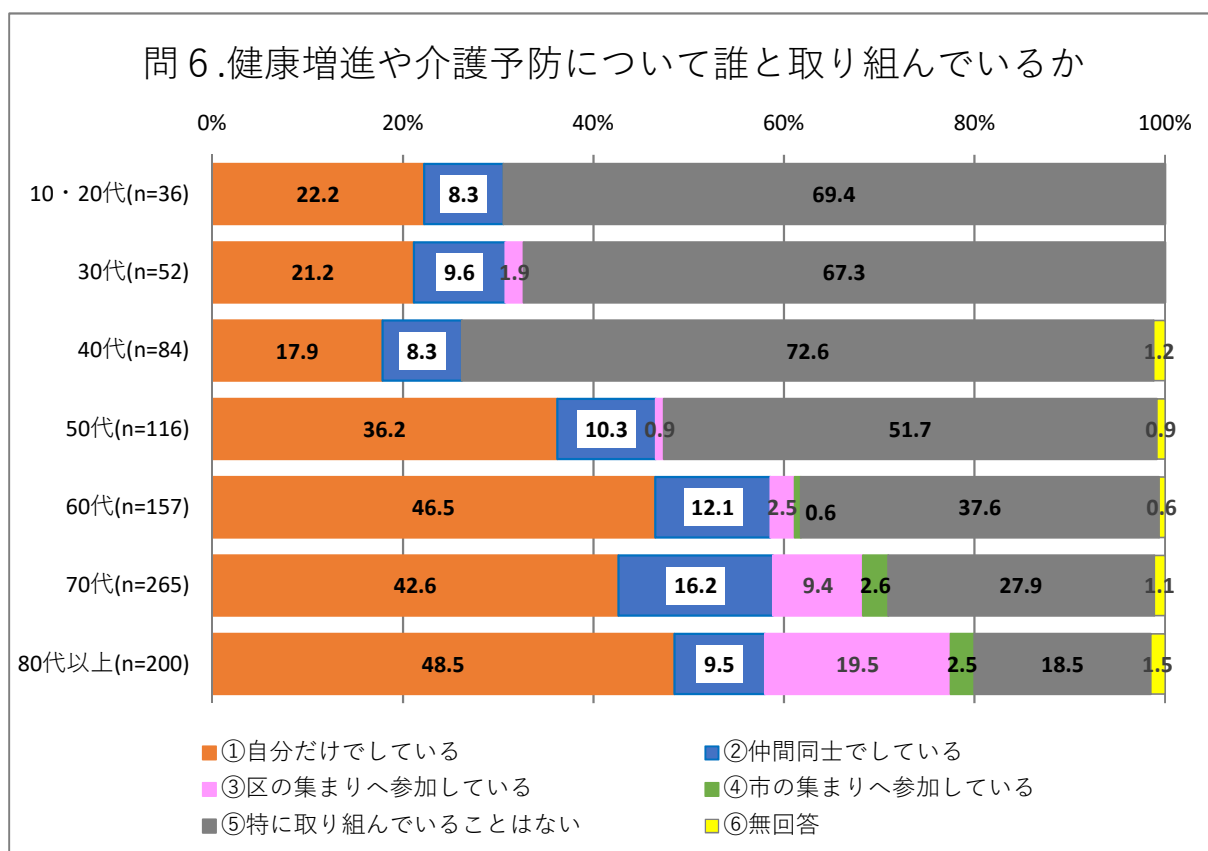


年代別では、「10・20代」から「50代」までの年代では「特に取り組んでいることはない」の割合が50.0%を超えて最も高い割合となっています。

一方、「60代」以上では、「自分だけでしている」の割合が42.0%を超えて最も高い割合となっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①自分だけで している	②仲間同士 でしている	③区の集まりへ 参加している	④市の集まりへ 参加している	⑤特に取り組んで いることはない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	22.2	8.3	0.0	0.0	69.4	0.0	100.0
30代(n=52)	21.2	9.6	1.9	0.0	67.3	0.0	100.0
40代(n=84)	17.9	8.3	0.0	0.0	72.6	1.2	100.0
50代(n=116)	36.2	10.3	0.9	0.0	51.7	0.9	100.0
60代(n=157)	46.5	12.1	2.5	0.6	37.6	0.6	100.0
70代(n=265)	42.6	16.2	9.4	2.6	27.9	1.1	100.0
80代以上(n=200)	48.5	9.5	19.5	2.5	18.5	1.5	100.0



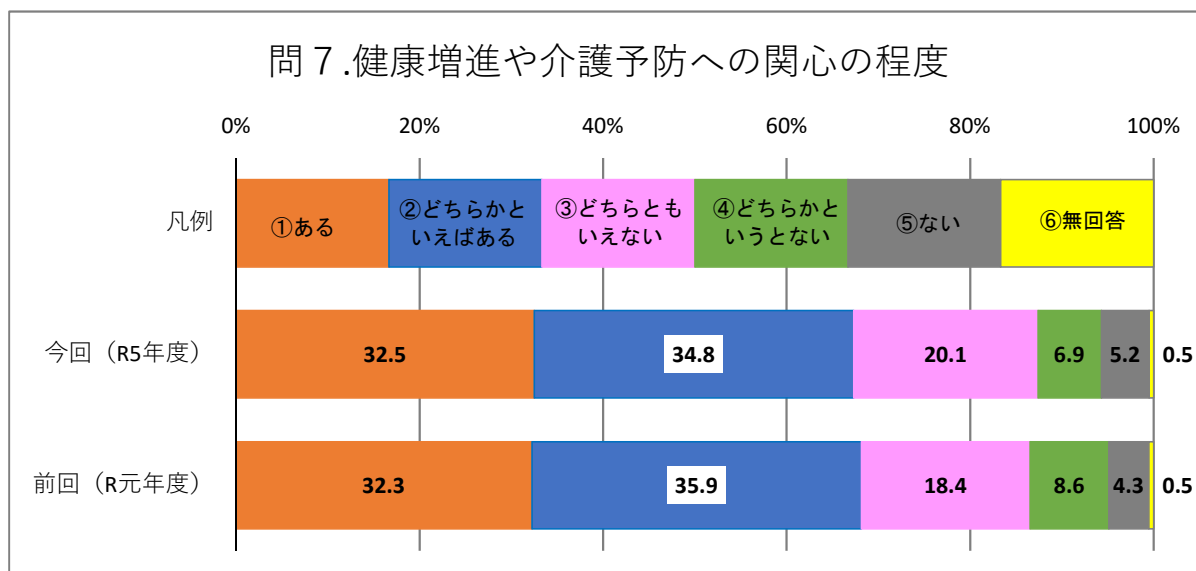
(7) 健康増進や介護予防への関心の程度

問7 あなたは健康増進や介護予防について、どの程度関心がありますか(○印を1つ)

「どちらかといえばある」の回答数が最も高くなっています。

	①ある	②どちらか といえばある	③どちらとも いえない	④どちらか いとうない	⑤ない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	297	318	184	63	47	6	915
前回 (R元年度)	238	265	136	63	32	4	738
比較	59	53	48	0	15	2	177

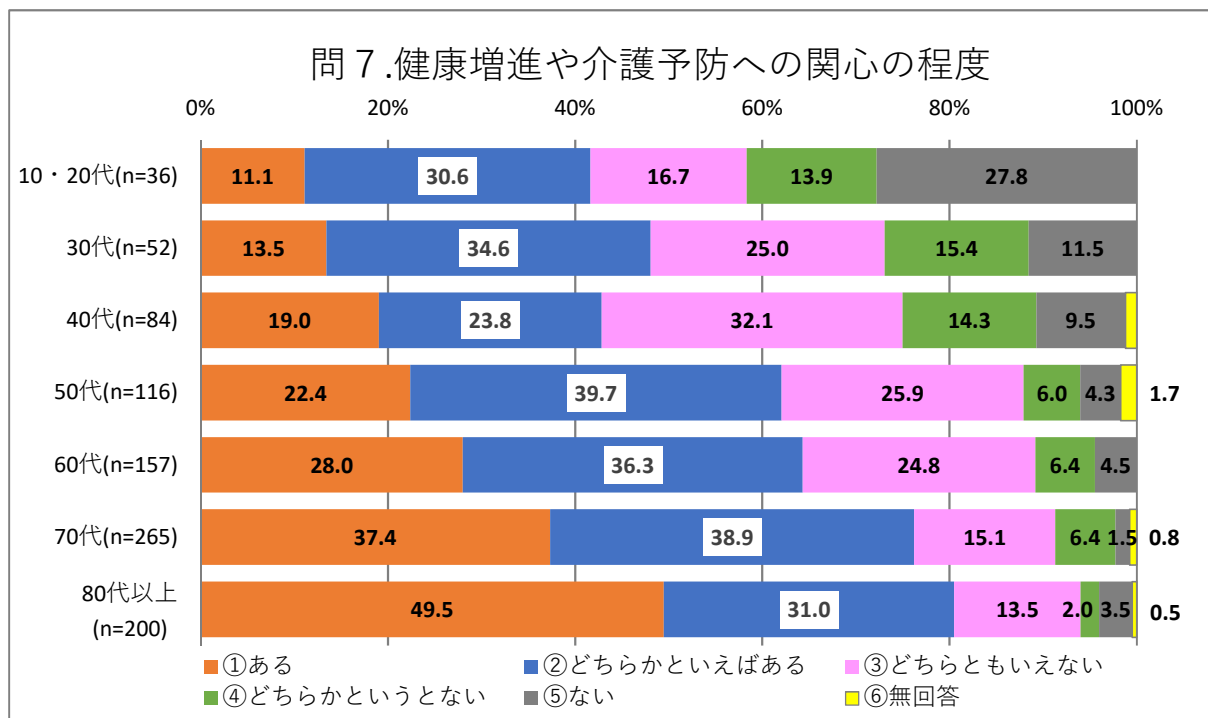
構成比率 (%)	①ある	②どちらかといえ ばある	③どちらとも いえ ない	④どちらかとい う と ない	⑤ない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	32.5	34.8	20.1	6.9	5.2	0.5	100.0
前回 (R元年度)	32.3	35.9	18.4	8.6	4.3	0.5	100.0
比較	0.2	-1.1	1.7	-1.7	0.9	0.0	



年代別では、「10・20代」、「30代」、「50代」、「60代」、「70代」の年代が「どちらかといえ
ばある」の割合が最も高くなっています。「80代以上」では「ある」の割合が49.5%と半数に近い割合となっています。「30代」以下では、「ない」の割合が高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①ある	②どちらかとい え ばある	③どちらとも いえ ない	④どちらかとい う と ない	⑤ない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	11.1	30.6	16.7	13.9	27.8	0.0	100.0
30代(n=52)	13.5	34.6	25.0	15.4	11.5	0.0	100.0
40代(n=84)	19.0	23.8	32.1	14.3	9.5	1.2	100.0
50代(n=116)	22.4	39.7	25.9	6.0	4.3	1.7	100.0
60代(n=157)	28.0	36.3	24.8	6.4	4.5	0.0	100.0
70代(n=265)	37.4	38.9	15.1	6.4	1.5	0.8	100.0
80代以上(n=200)	49.5	31.0	13.5	2.0	3.5	0.5	100.0



(8) 防災への取り組みについて

問8 あなたは防災について誰と取り組んでいますか(○印を1つ)

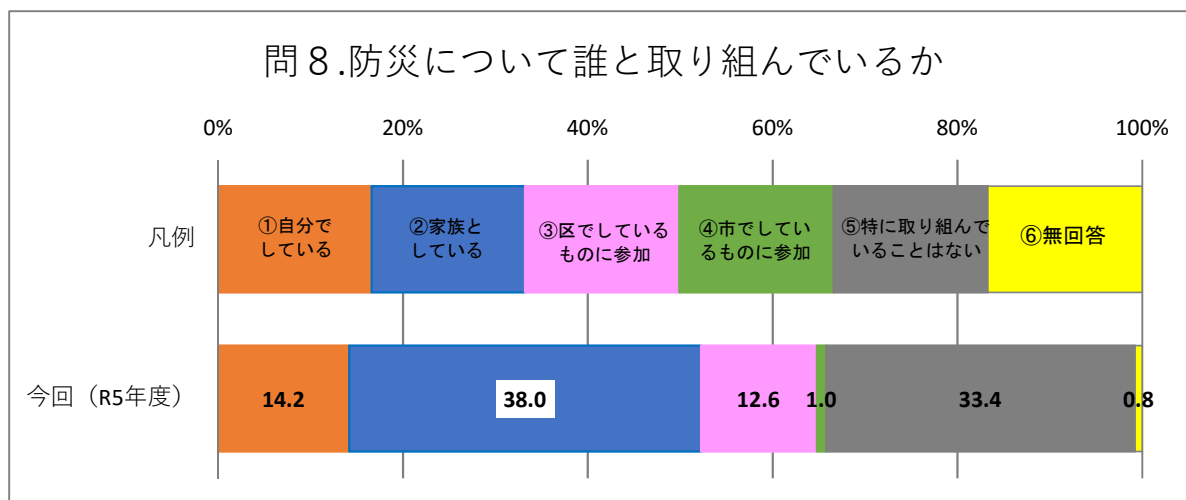
「家族としている」と「自分でしている」の回答数が増えています。

※前回調査結果は複数選択による数値

	①自分でしている	②家族としている	③区でしているものに参加	④市でしているものに参加	⑤特に取り組んでいることはない	⑥無回答	合計
今回(R5年度)	130	348	115	9	306	7	915
前回(R元年度)	126	275	162	74	309	0	946
比較	4	73	-47	-65	-3	7	-31

※前回調査結果は複数選択による数値

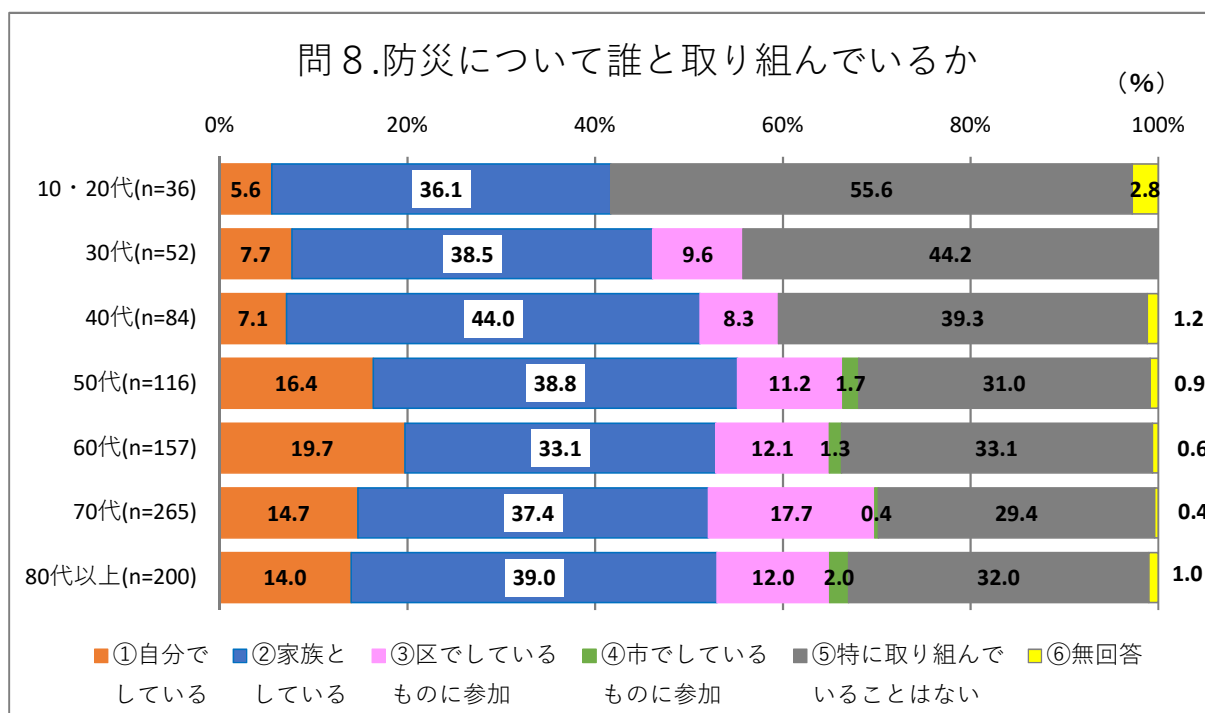
構成比率(%)	①自分でしている	②家族としている	③区でしているものに参加	④市でしているものに参加	⑤特に取り組んでいることはない	⑥無回答	合計
今回(R5年度)	14.2	38.0	12.6	1.0	33.4	0.8	100.0
前回(R元年度)	13.3	29.1	17.1	7.8	32.7	0.0	100.0



年代別では、「10・20代」、「30代」の年代が「特に取り組んでいることはない」の割合が最も高く、「40代」、「50代」、「70代」以上の年代では「家族としている」の割合が最も高くなっています。「60代」では、「特に取り組んでいることはない」と「家族としている」の割合が33.1%と同じ割合となりました。

＜年代別構成比率＞

年代別 構成比 (%)	①自分で している	②家族と している	③区でしている ものに参加	④市でしている ものに参加	⑤特に取り組んで いることはない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	5.6	36.1	0.0	0.0	55.6	2.8	100.0
30代(n=52)	7.7	38.5	9.6	0.0	44.2	0.0	100.0
40代(n=84)	7.1	44.0	8.3	0.0	39.3	1.2	100.0
50代(n=116)	16.4	38.8	11.2	1.7	31.0	0.9	100.0
60代(n=157)	19.7	33.1	12.1	1.3	33.1	0.6	100.0
70代(n=265)	14.7	37.4	17.7	0.4	29.4	0.4	100.0
80代以上(n=200)	14.0	39.0	12.0	2.0	32.0	1.0	100.0



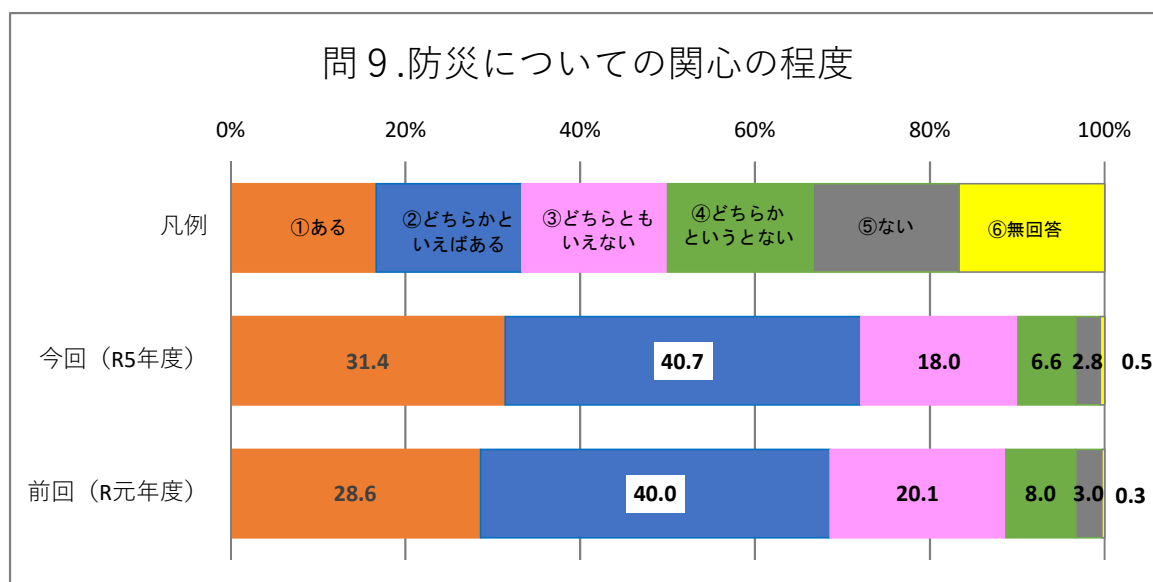
(9) 防災への関心の程度

問9 あなたは防災についてどの程度関心がありますか(○印を1つ)

「ある」と「どちらかといえばある」の回答数が大幅に増えています

	①ある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというかない	⑤ない	⑥無回答	合計
今回(R5年度)	287	372	165	60	26	5	915
前回(R元年度)	211	295	148	60	22	2	738
比較	76	77	17	0	4	3	177

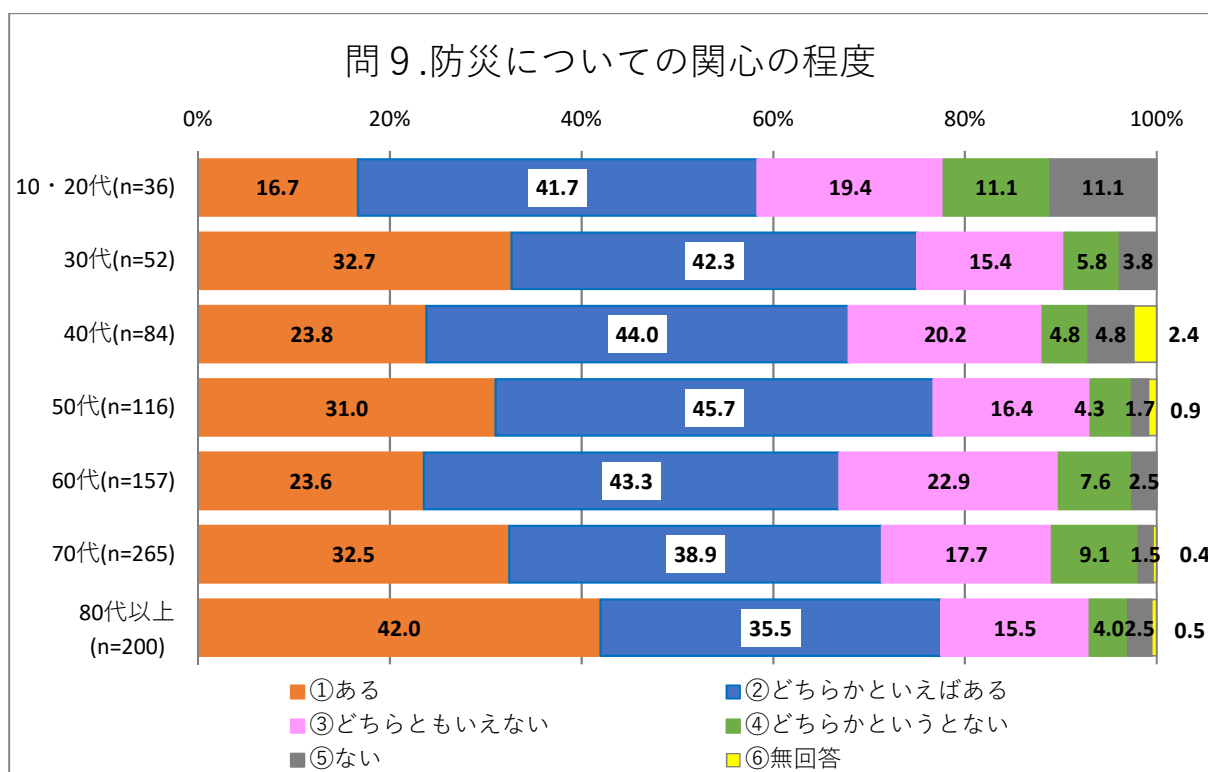
構成比率(%)	①ある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというかない	⑤ない	⑥無回答	合計
今回(R5年度)	31.4	40.7	18.0	6.6	2.8	0.5	100.0
前回(R元年度)	28.6	40.0	20.1	8.0	3.0	0.3	100.0
比較	2.8	0.7	-2.1	-1.4	-0.2	0.2	



年代別では「10代」から「70代」まで「どちらかといえばある」の割合が最も高くなっています。「80代以上」では「ある」の割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比(%)	①ある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというかない	⑤ない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	16.7	41.7	19.4	11.1	11.1	0.0	100.0
30代(n=52)	32.7	42.3	15.4	5.8	3.8	0.0	100.0
40代(n=84)	23.8	44.0	20.2	4.8	4.8	2.4	100.0
50代(n=116)	31.0	45.7	16.4	4.3	1.7	0.9	100.0
60代(n=157)	23.6	43.3	22.9	7.6	2.5	0.0	100.0
70代(n=265)	32.5	38.9	17.7	9.1	1.5	0.4	100.0
80代以上(n=200)	42.0	35.5	15.5	4.0	2.5	0.5	100.0



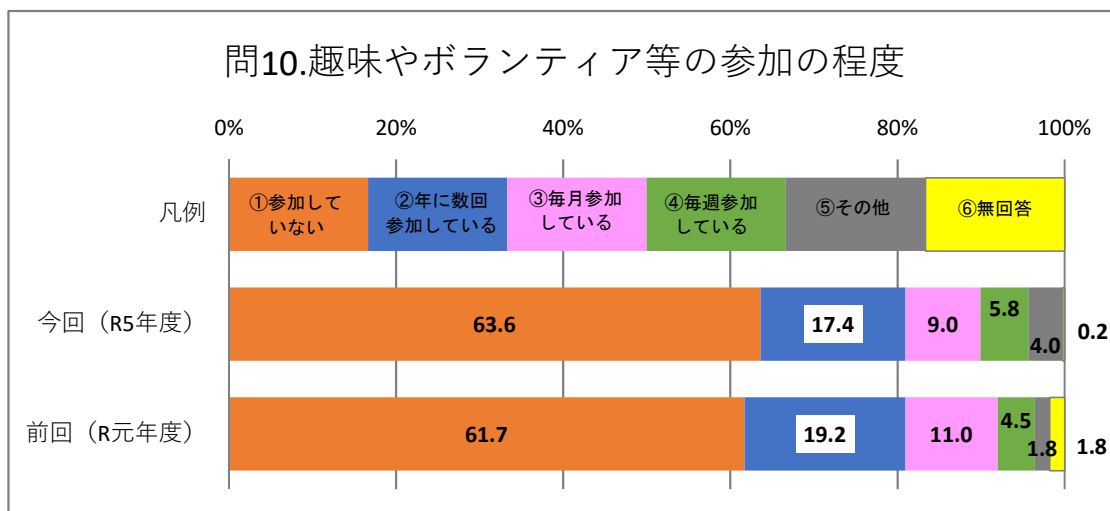
(10) 趣味活動やボランティア活動などの参加の程度

問10 あなたは趣味活動やボランティア活動などにどの程度参加していますか
(○印を1つ)

「参加していない」の回答数が合計回答数の過半数以上となっています。

	①参加していない	②年に数回は参加している	③毎月参加している	④毎週参加している	⑤その他	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	582	159	82	53	37	2	915
前回 (R元年度)	455	142	82	33	13	13	738
比較	127	17	0	20	24	-11	177

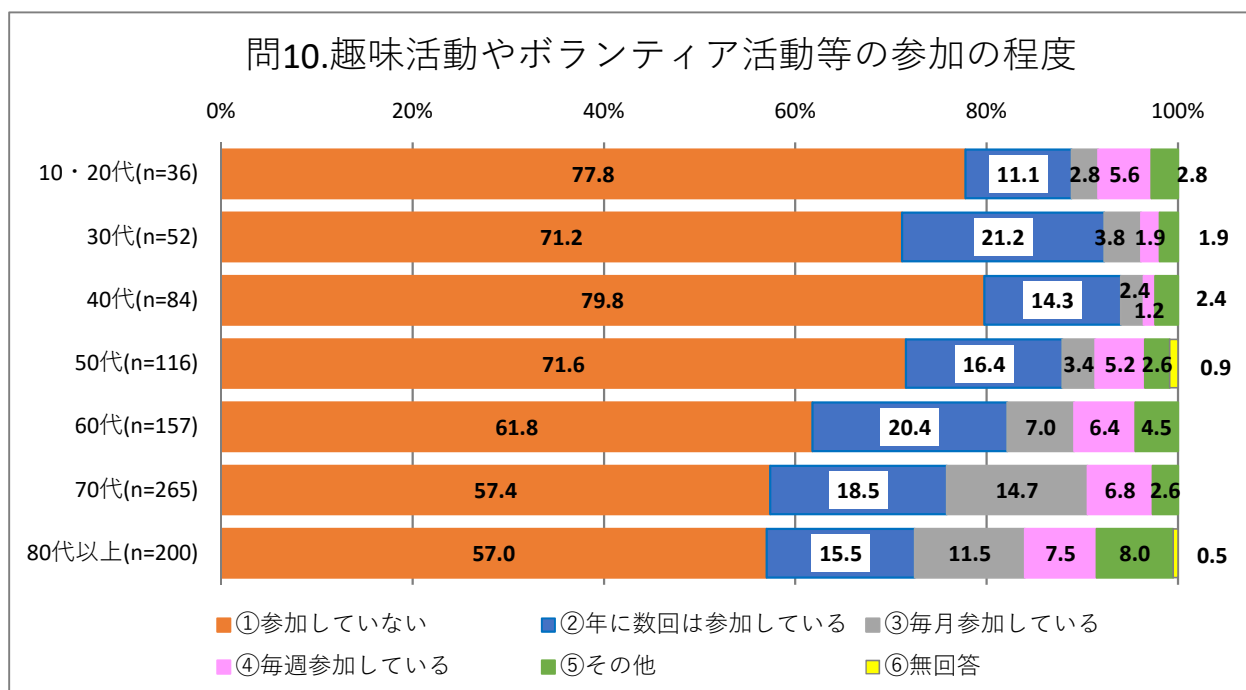
構成比率 (%)	①参加していない	②年に数回は参加している	③毎月参加している	④毎週参加している	⑤その他	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	63.6	17.4	9.0	5.8	4.0	0.2	100.0
前回 (R元年度)	61.7	19.2	11.0	4.5	1.8	1.8	100.0
比較	1.9	-1.8	-2.0	1.3	2.2	-1.6	



年代別では、すべての年代において「参加していない」の割合が最も多く、50.0%の割合を上回っています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①参加していない	②年に数回は参加している	③毎月参加している	④毎週参加している	⑤その他	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	77.8	11.1	2.8	5.6	2.8	0.0	100.0
30代(n=52)	71.2	21.2	3.8	1.9	1.9	0.0	100.0
40代(n=84)	79.8	14.3	2.4	1.2	2.4	0.0	100.0
50代(n=116)	71.6	16.4	3.4	5.2	2.6	0.9	100.0
60代(n=157)	61.8	20.4	7.0	6.4	4.5	0.0	100.0
70代(n=265)	57.4	18.5	14.7	6.8	2.6	0.0	100.0
80代以上(n=200)	57.0	15.5	11.5	7.5	8.0	0.5	100.0



<「その他」具体的な回答> (回答をそのまま記載)

- ・参加していたが高齢でできなくなった
- ・2/16に移住したばかりでまだ参加していない ・会社でしている
- ・参加したいが様子がわからない。にぎやかな街になってほしい。
- ・生活弱者支援が副業である ・毎日参加している
- ・闘病中であり自分の体と向き合うのが精一杯である ・消防団に所属
- ・区の計画した行事 道路普請、川掃除、当番、組長、班長、高齢者ふれあいあい会
- ・デイサービスに通っている ・2カ月に1回 ・部活動
- ・俳句会の投稿、歴史散策、読書自署 ・活動がない ・消防団 青年部
- ・個人で活動・ゴミ拾い・雪かき ・公民館の近代史の編集者として
- ・市外のボランティア活動には月2～3回参加しています
- ・趣味として美術館で絵の勉強をしていました。30年以上です。年を重ね2年前から辞めました。でもデイケアでは習字をやったりかごを編んだり歌を歌ったりしています
- ・ゴミ集積所の清掃 ・機会がない ・家族の介護が始まる前は参加していた
- ・小学校のスキー教室の講師 ・児童通学見守り毎日 ・街頭補導
- ・自分の健康について不安であるので参加したができない
- ・コロナ禍前までは4(毎週参加)だったが現在は休んでいる
- ・区の役員の時だけ参加している ・週2～3回
- ・組合活動をしているのでそちらで参加

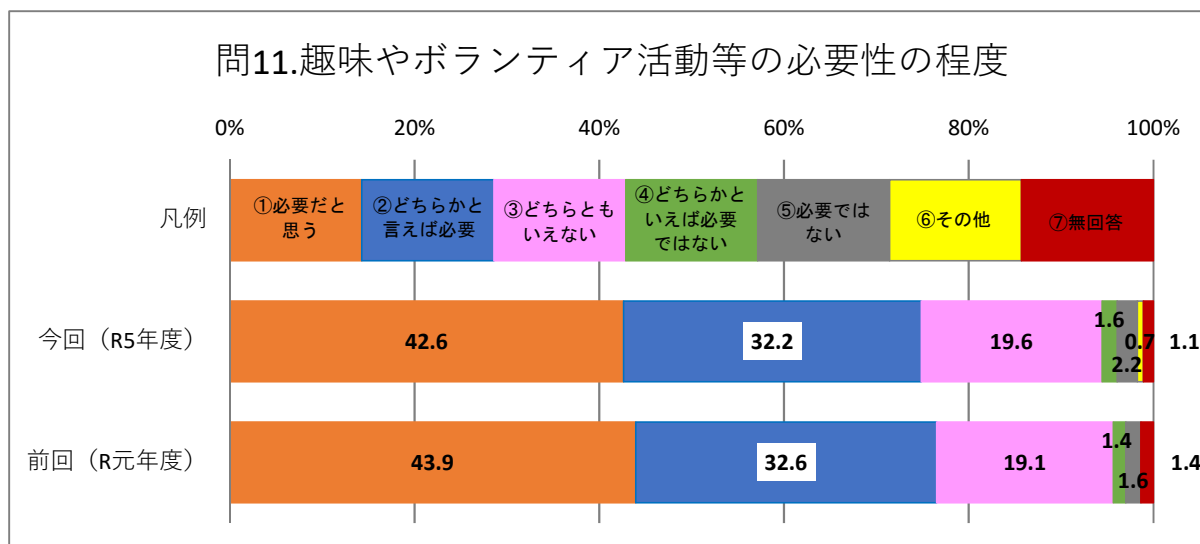
(11) 趣味活動やボランティア活動などの必要性

問 11 あなたは趣味活動やボランティア活動などを必要だと思いますか(○印を1つ)

「必要だと思う」の割合が「42.6%」と最も高く、次いで「どちらかといえば必要」の割合が「32.2%」となっています。

	①必要だと思う	②どちらかといえば必要	③どちらともいえない	④どちらかといえば必要ではない	⑤必要ではない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回(R5年度)	390	295	179	15	20	6	10	915
前回(R元年度)	324	241	141	10	12	0	10	738
比較	66	54	38	5	8	6	0	177

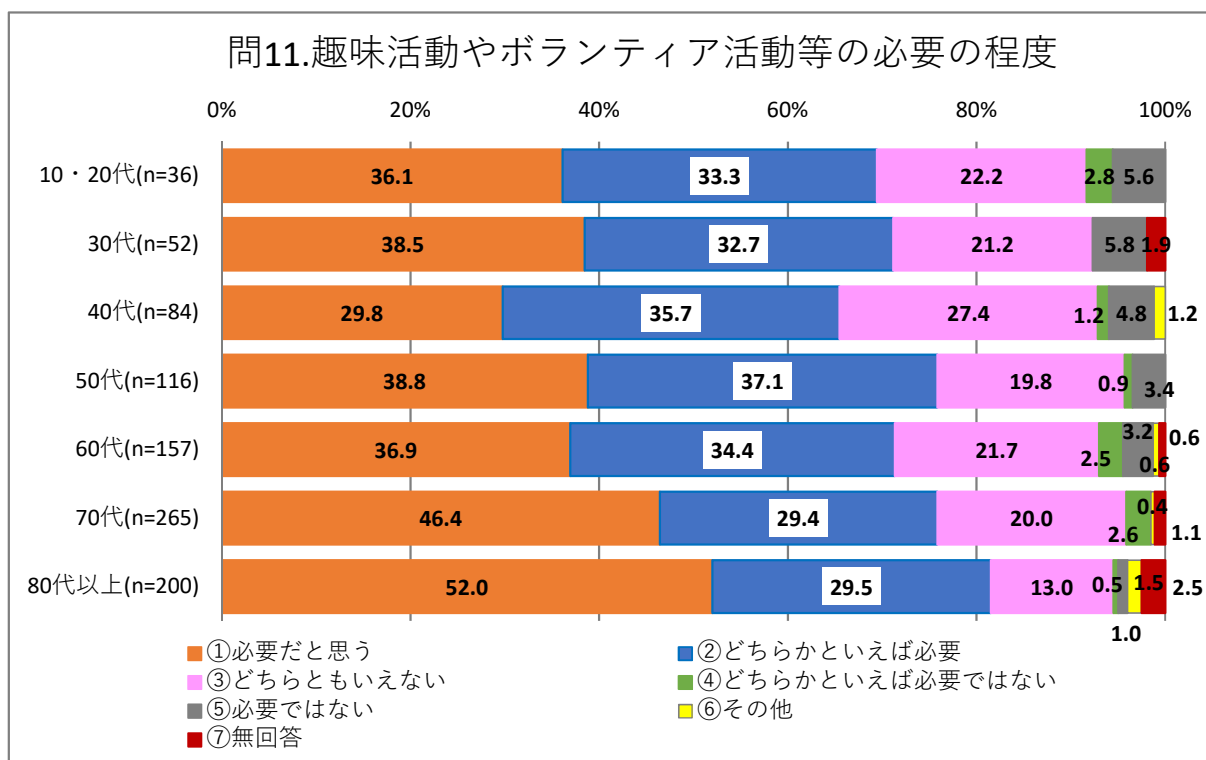
構成比率(%)	①必要だと思う	②どちらかといえば必要	③どちらともいえない	④どちらかといえば必要ではない	⑤必要ではない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回(R5年度)	42.6	32.2	19.6	1.6	2.2	0.7	1.1	100.0
前回(R元年度)	43.9	32.6	19.1	1.4	1.6	0.0	1.4	100.0
比較	-1.3	-0.4	0.5	0.2	0.6	0.7	-0.3	



年代別では、「10・20代」、「30代」、「50代」以上が「必要だと思う」の割合が最も高く、「40代」では「どちらかといえば必要」の割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①必要だと思う	②どちらかといえば必要	③どちらともいえない	④どちらかといえば必要ではない	⑤必要ではない	⑥その他	⑦無回答	合計
10・20代(n=36)	36.1	33.3	22.2	2.8	5.6	0.0	0.0	100.0
30代(n=52)	38.5	32.7	21.2	0.0	5.8	0.0	1.9	100.0
40代(n=84)	29.8	35.7	27.4	1.2	4.8	1.2	0.0	100.0
50代(n=116)	38.8	37.1	19.8	0.9	3.4	0.0	0.0	100.0
60代(n=157)	36.9	34.4	21.7	2.5	3.2	0.6	0.6	100.0
70代(n=265)	46.4	29.4	20.0	2.6	0.0	0.4	1.1	100.0
80代以上(n=200)	52.0	29.5	13.0	0.5	1.0	1.5	2.5	100.0



<「その他」具体的な回答> (回答をそのまま記載)

- 人によるのでは
- 自身の趣味を個別にしている
- 分からない
- 同居の高齢者がいるので出来ない
- 齢なので体が動かない

3 高齢者や障がいがある方、子育て家庭に関すること

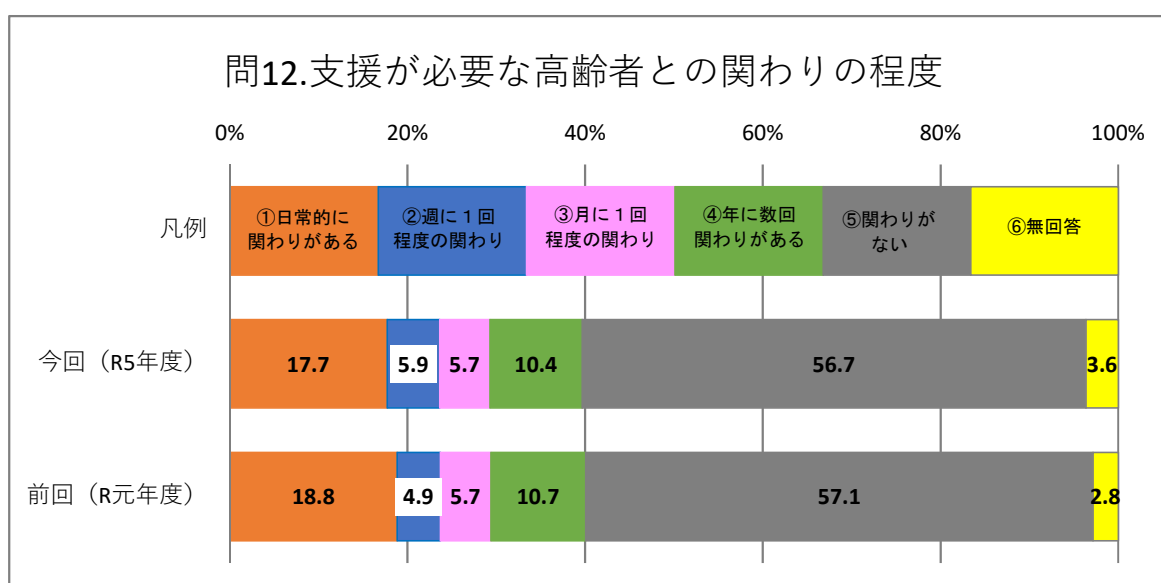
(1) 支援が必要な高齢者との関わりの程度

問 12 あなたは支援が必要な高齢者とのどの程度関わりがありますか（仕事での関わりは除く）（○印を1つ）

「関わりがない」の回答数が最も高くなっています。

	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	162	54	52	95	519	33	915
前回（R元年度）	139	36	42	79	421	21	738
比較	23	18	10	16	98	12	177

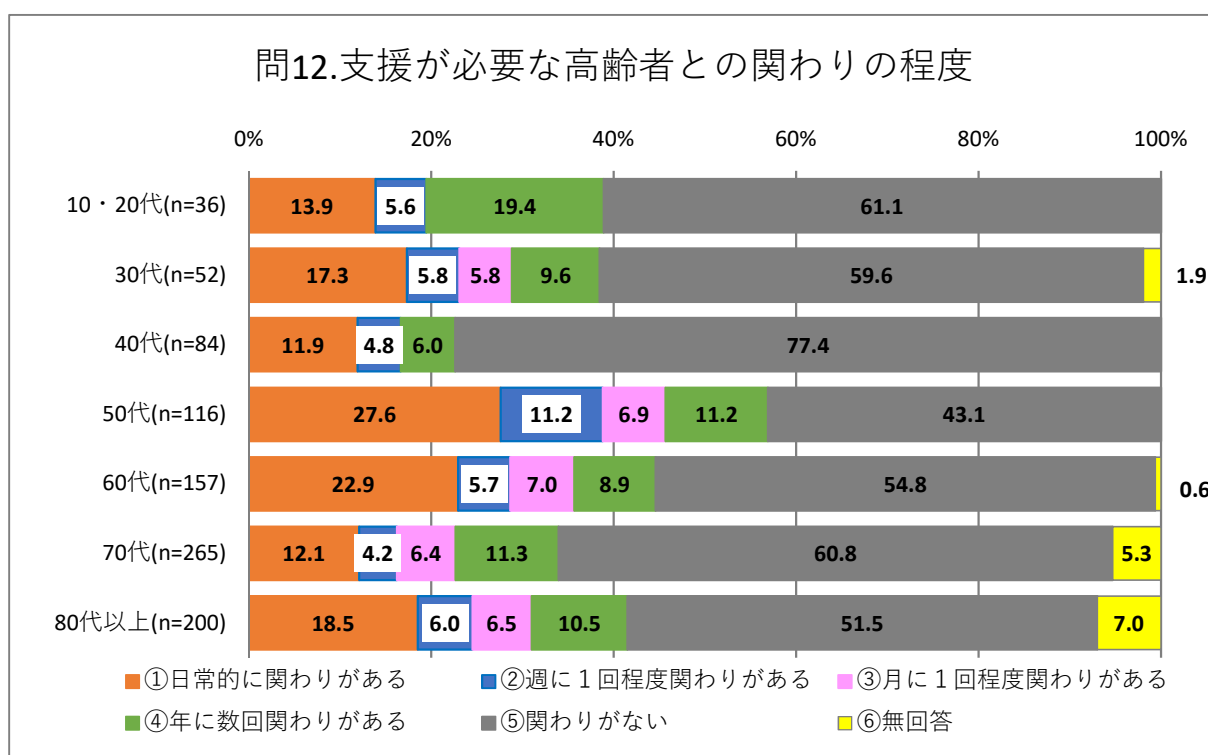
構成比率（%）	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	17.7	5.9	5.7	10.4	56.7	3.6	100.0
前回（R元年度）	18.8	4.9	5.7	10.7	57.1	2.8	100.0
比較	-1.1	1.0	0.0	-0.3	-0.4	0.8	0.0



年代別では、すべての世代において「関わりがない」が最も高くなっています。一方で、「日常的に関わりがある」の割合が高い世代は「50代」で27.6%、「60代」で22.9%となっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①日常的に 関わりがある	②週に1回程度 関わりがある	③月に1回程度 関わりがある	④年に数回 関わりがある	⑤関わりが ない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	13.9	5.6	0.0	19.4	61.1	0.0	100.0
30代(n=52)	17.3	5.8	5.8	9.6	59.6	1.9	100.0
40代(n=84)	11.9	4.8	0.0	6.0	77.4	0.0	100.0
50代(n=116)	27.6	11.2	6.9	11.2	43.1	0.0	100.0
60代(n=157)	22.9	5.7	7.0	8.9	54.8	0.6	100.0
70代(n=265)	12.1	4.2	6.4	11.3	60.8	5.3	100.0
80代以上(n=200)	18.5	6.0	6.5	10.5	51.5	7.0	100.0



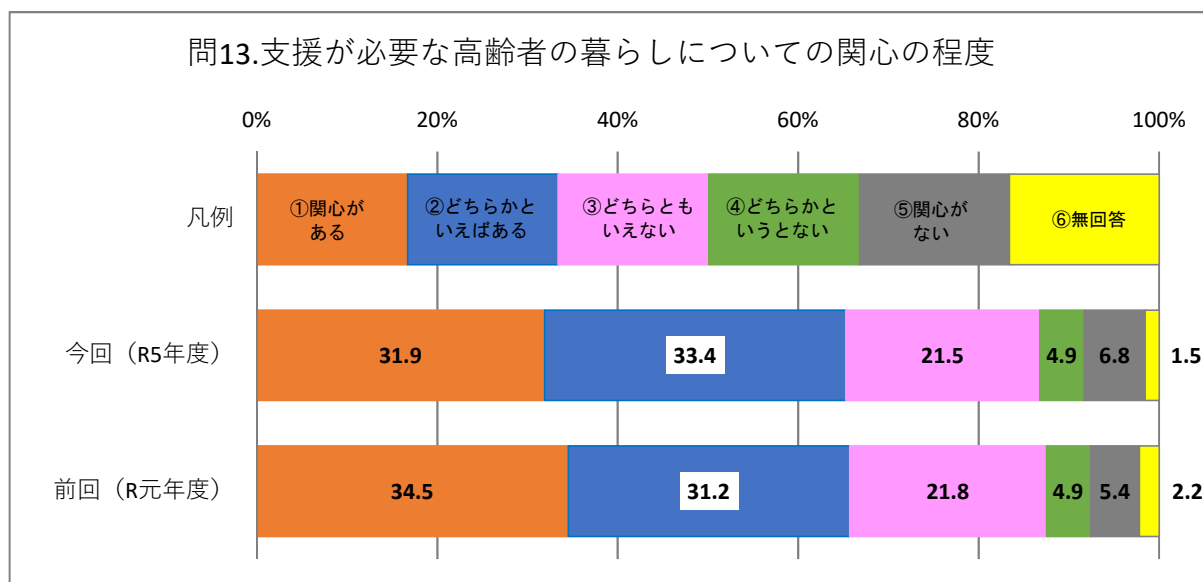
(2) 支援が必要な高齢者の暮らしへの関心の程度

問13 あなたは支援が必要な高齢者の暮らしについて関心がありますか(○印を1つ)

「どちらかといえばある」の回答数が最も高くなっています。

	①関心がある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
今回(R5年度)	292	305	197	45	62	14	915
前回(R元年度)	255	230	161	36	40	16	738
比較	37	75	36	9	22	-2	177

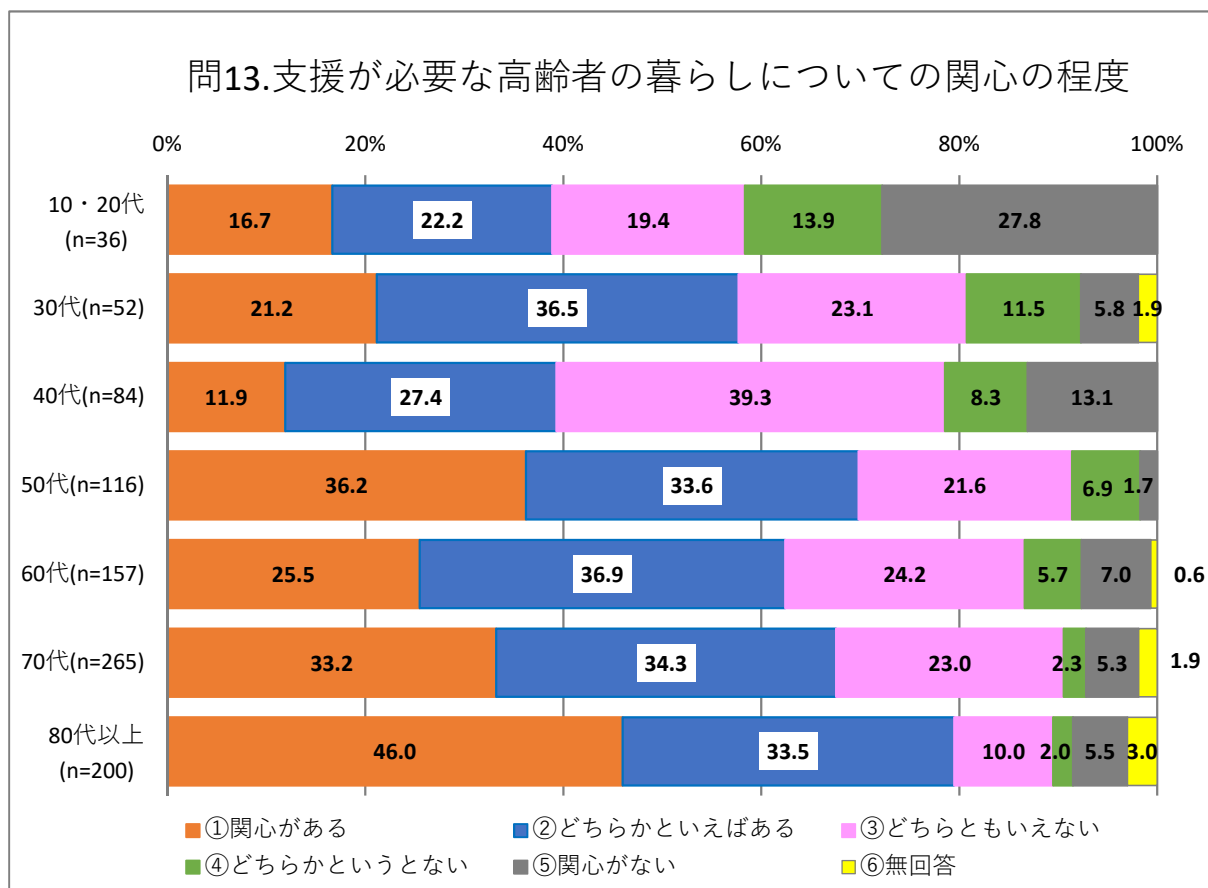
構成比率 (%)	①関心がある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというとな	⑤関心がない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	31.9	33.4	21.5	4.9	6.8	1.5	100.0
前回 (R元年度)	34.5	31.2	21.8	4.9	5.4	2.2	100.0
比較	-2.6	2.2	-0.3	0.0	1.4	-0.7	



年代別では、「50代」と「80代以上」が「ある」の割合が最も高く、「30代」、「60代」、「70代」で「どちらかといえばある」の割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比率 (%)	①関心がある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというとな	⑤関心がない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	16.7	22.2	19.4	13.9	27.8	0.0	100.0
30代(n=52)	21.2	36.5	23.1	11.5	5.8	1.9	100.0
40代(n=84)	11.9	27.4	39.3	8.3	13.1	0.0	100.0
50代(n=116)	36.2	33.6	21.6	6.9	1.7	0.0	100.0
60代(n=157)	25.5	36.9	24.2	5.7	7.0	0.6	100.0
70代(n=265)	33.2	34.3	23.0	2.3	5.3	1.9	100.0
80代以上(n=200)	46.0	33.5	10.0	2.0	5.5	3.0	100.0



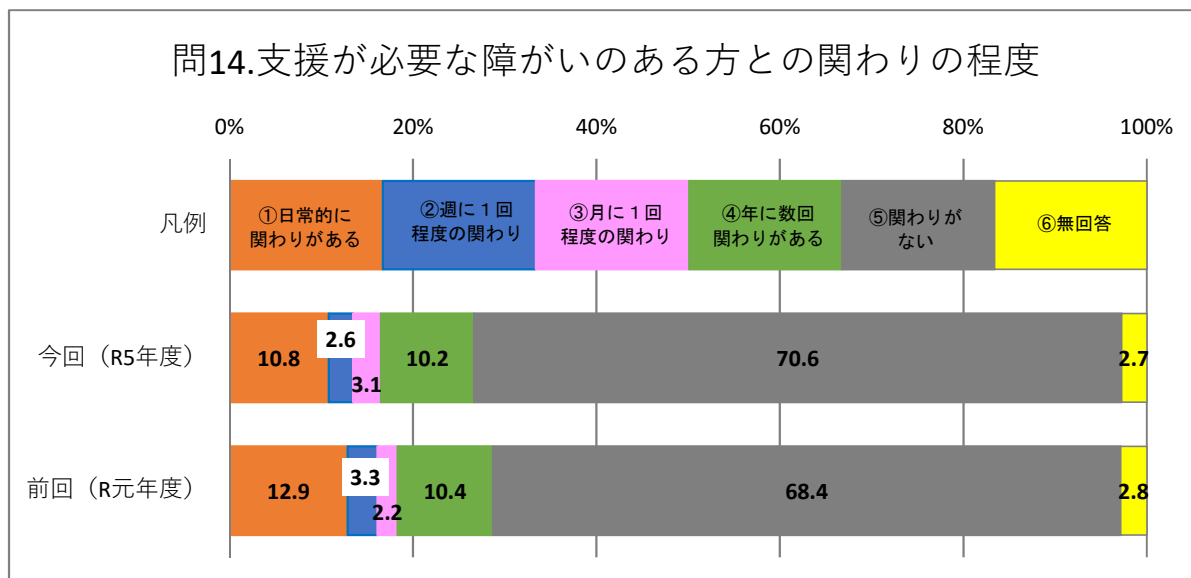
(3) 支援が必要な障がいのある方との関わりの程度

問 14 あなたは支援が必要な障がいのある方との程度関わりがありますか（仕事での関わりは除く）（○印を1つ）

「関わりがない」の回答数が最も高くなっています。

	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	99	24	28	93	646	25	915
前回 (R元年度)	95	24	16	77	505	21	738
比較	4	0	12	16	141	4	177

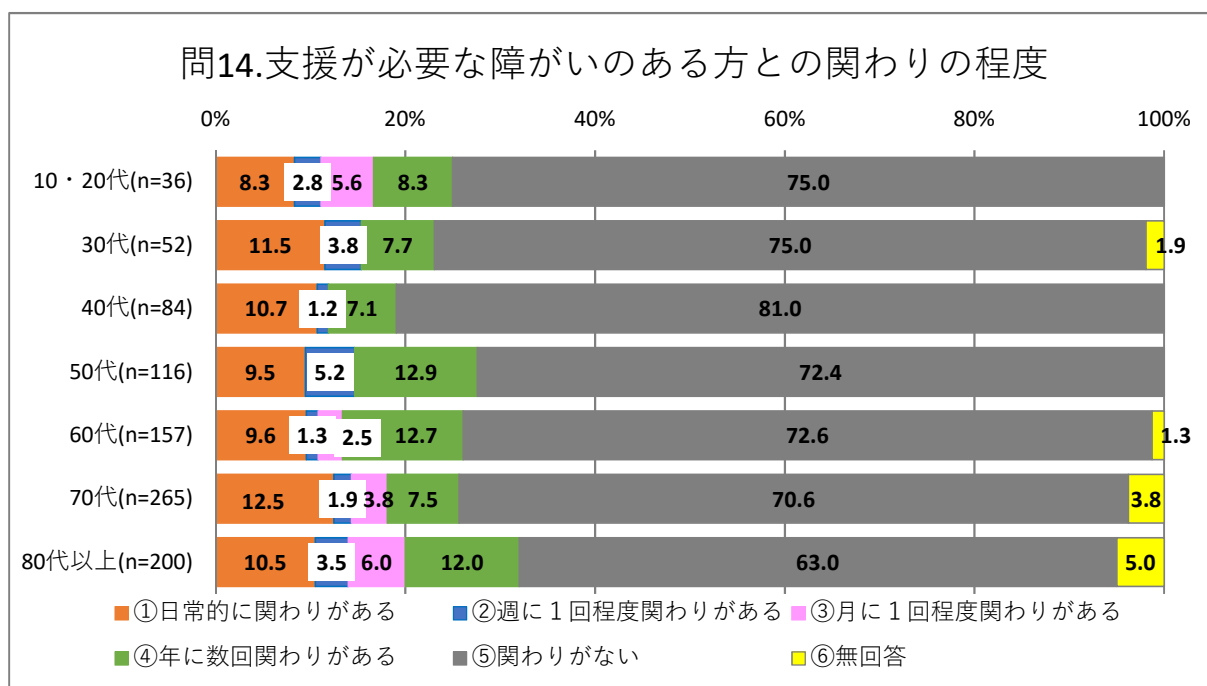
構成比率 (%)	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	10.8	2.6	3.1	10.2	70.6	2.7	100.0
前回 (R元年度)	12.9	3.3	2.2	10.4	68.4	2.8	100.0
比較	-2.1	-0.7	0.9	-0.2	2.2	-0.1	



年代別では、すべての年代で「関わりがない」の割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	① 日常的に関わりがある	② 週に1回程度 関わりがある	③ 月に1回程度 関わりがある	④ 年に数回 関わりがある	⑤ 関わりが ない	⑥ 無回答	合計
10・20代(n=36)	8.3	2.8	5.6	8.3	75.0	0.0	100.0
30代(n=52)	11.5	3.8	0.0	7.7	75.0	1.9	100.0
40代(n=84)	10.7	1.2	0.0	7.1	81.0	0.0	100.0
50代(n=116)	9.5	5.2	0.0	12.9	72.4	0.0	100.0
60代(n=157)	9.6	1.3	2.5	12.7	72.6	1.3	100.0
70代(n=265)	12.5	1.9	3.8	7.5	70.6	3.8	100.0
80代以上(n=200)	10.5	3.5	6.0	12.0	63.0	5.0	100.0



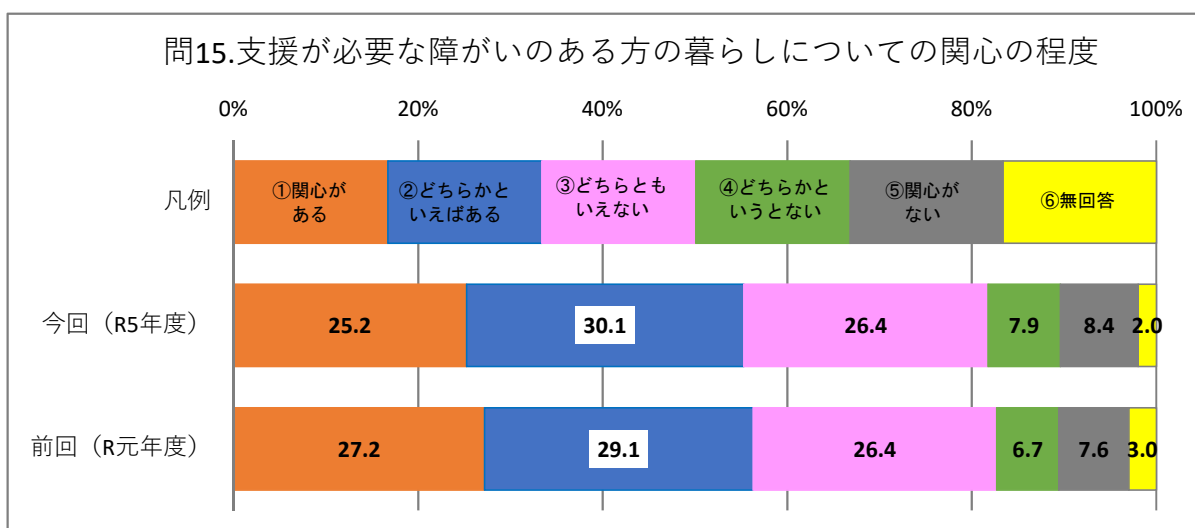
(4) 支援が必要な障がいのある方の暮らしへの関心の程度

問15 あなたは支援が必要な障がいのある方の暮らしについて関心がありますか
(○印を1つ)

「どちらかといえばある」の回答数が最も高くなっています。

	①関心がある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	231	275	242	72	77	18	915
前回 (R元年度)	201	215	195	49	56	22	738
比較	30	60	47	23	21	-4	177

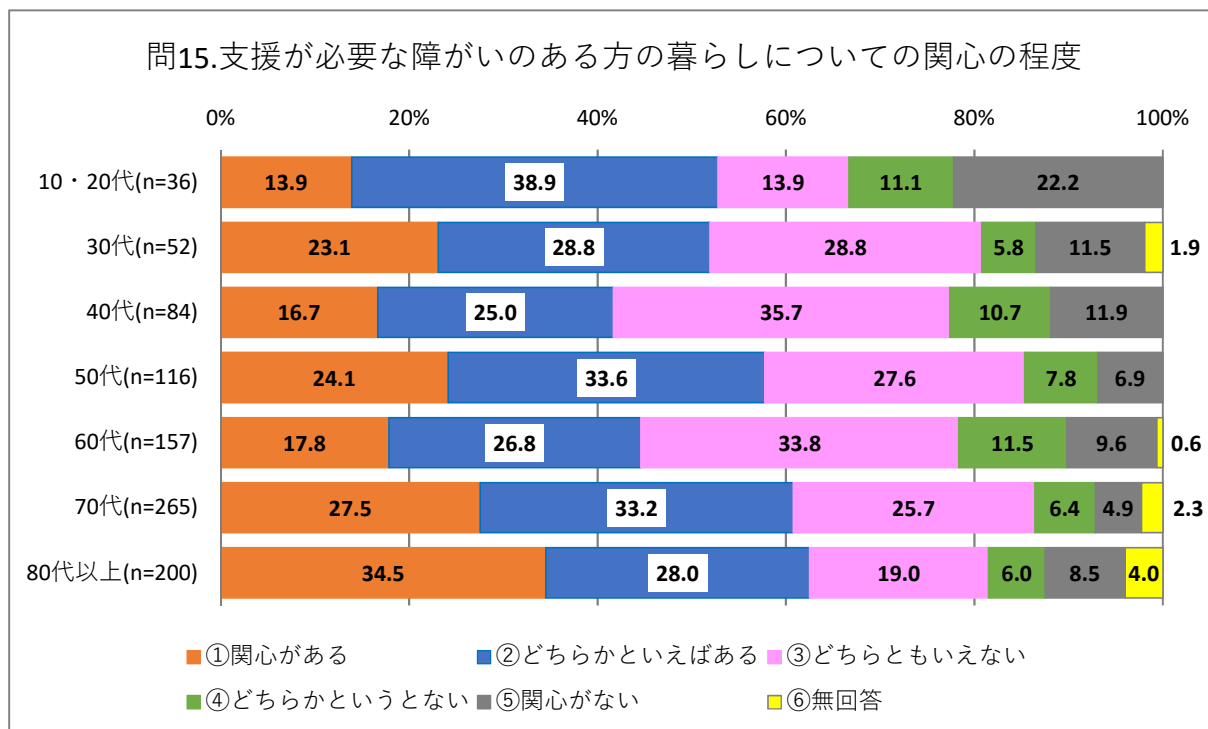
構成比率 (%)	①関心がある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
今回 (R5年度)	25.2	30.1	26.4	7.9	8.4	2.0	100.0
前回 (R元年度)	27.2	29.1	26.4	6.7	7.6	3.0	100.0
比較	-2.0	1.0	0.0	1.2	0.8	-1.0	



年代別では、「10・20代」、「30代」、「50代」、「70代」が「どちらかといえばある」の割合が最も高くなっています。「80代以上」で34.5%と割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①関心がある	②どちらかといえばある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	13.9	38.9	13.9	11.1	22.2	0.0	100.0
30代(n=52)	23.1	28.8	28.8	5.8	11.5	1.9	100.0
40代(n=84)	16.7	25.0	35.7	10.7	11.9	0.0	100.0
50代(n=116)	24.1	33.6	27.6	7.8	6.9	0.0	100.0
60代(n=157)	17.8	26.8	33.8	11.5	9.6	0.6	100.0
70代(n=265)	27.5	33.2	25.7	6.4	4.9	2.3	100.0
80代以上(n=200)	34.5	28.0	19.0	6.0	8.5	4.0	100.0



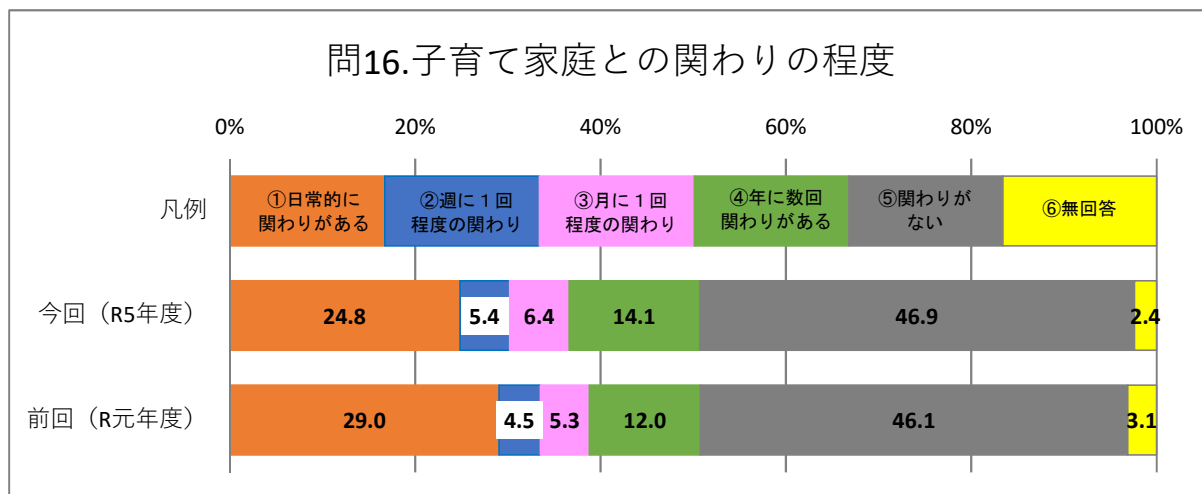
(5) 子育て家庭との関わり方の程度

問 16 あなたは子育て家庭との程度関わりがありますか（仕事での関わりは除く）
（○印を1つ）

「関わりがない」の回答数が最も高くなっています。次いで「日常的に関わりがある」の回答数が高くなっています。

	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	227	49	59	129	429	22	915
前回（R元年度）	214	33	39	89	340	23	738
比較	13	16	20	40	89	-1	177

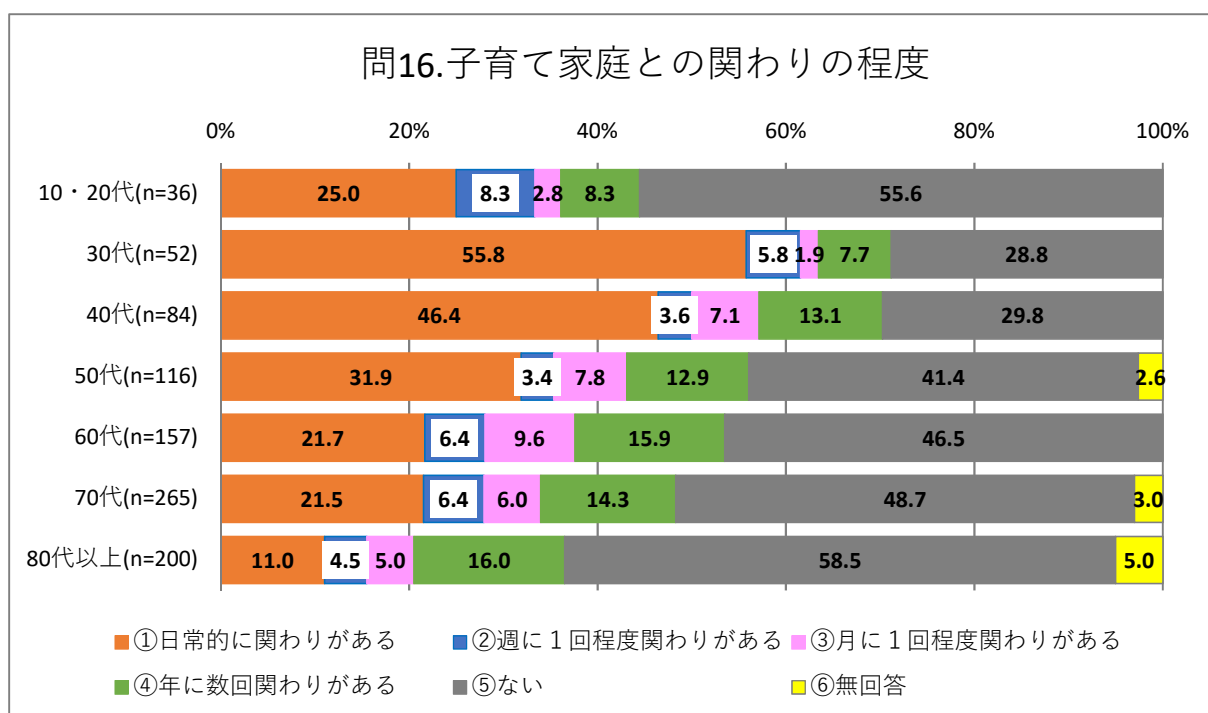
構成比率（%）	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	24.8	5.4	6.4	14.1	46.9	2.4	100.0
前回（R元年度）	29.0	4.5	5.3	12.0	46.1	3.1	100.0
比較	-4.2	0.9	1.1	2.1	0.8	-0.7	



年代別では、「30代」、「40代」が「日常的に関わりがある」の割合が最も高くなっています。一方、「10・20代」、「50代」以上は「関わりがない」の割合が最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①日常的に関わりがある	②週に1回程度関わりがある	③月に1回程度関わりがある	④年に数回関わりがある	⑤関わりがない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	25.0	8.3	2.8	8.3	55.6	0.0	100.0
30代(n=52)	55.8	5.8	1.9	7.7	28.8	0.0	100.0
40代(n=84)	46.4	3.6	7.1	13.1	29.8	0.0	100.0
50代(n=116)	31.9	3.4	7.8	12.9	41.4	2.6	100.0
60代(n=157)	21.7	6.4	9.6	15.9	46.5	0.0	100.0
70代(n=265)	21.5	6.4	6.0	14.3	48.7	3.0	100.0
80代以上(n=200)	11.0	4.5	5.0	16.0	58.5	5.0	100.0



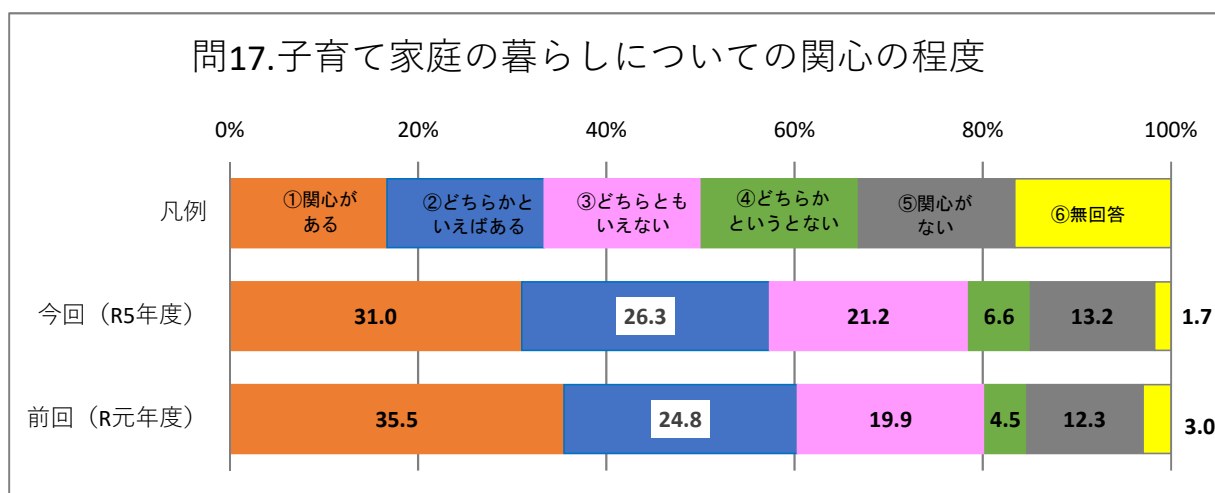
(6) 子育て家庭の暮らしへの関心の程度

問17 あなたは子育て家庭の暮らしについて関心がありますか（○印を1つ）

「関心がある」の回答数が最も高くなっています。

	①関心がある	②どちらかといえはある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	284	241	194	60	121	15	915
前回（R元年度）	262	183	147	33	91	22	738
比較	22	58	47	27	30	-7	177

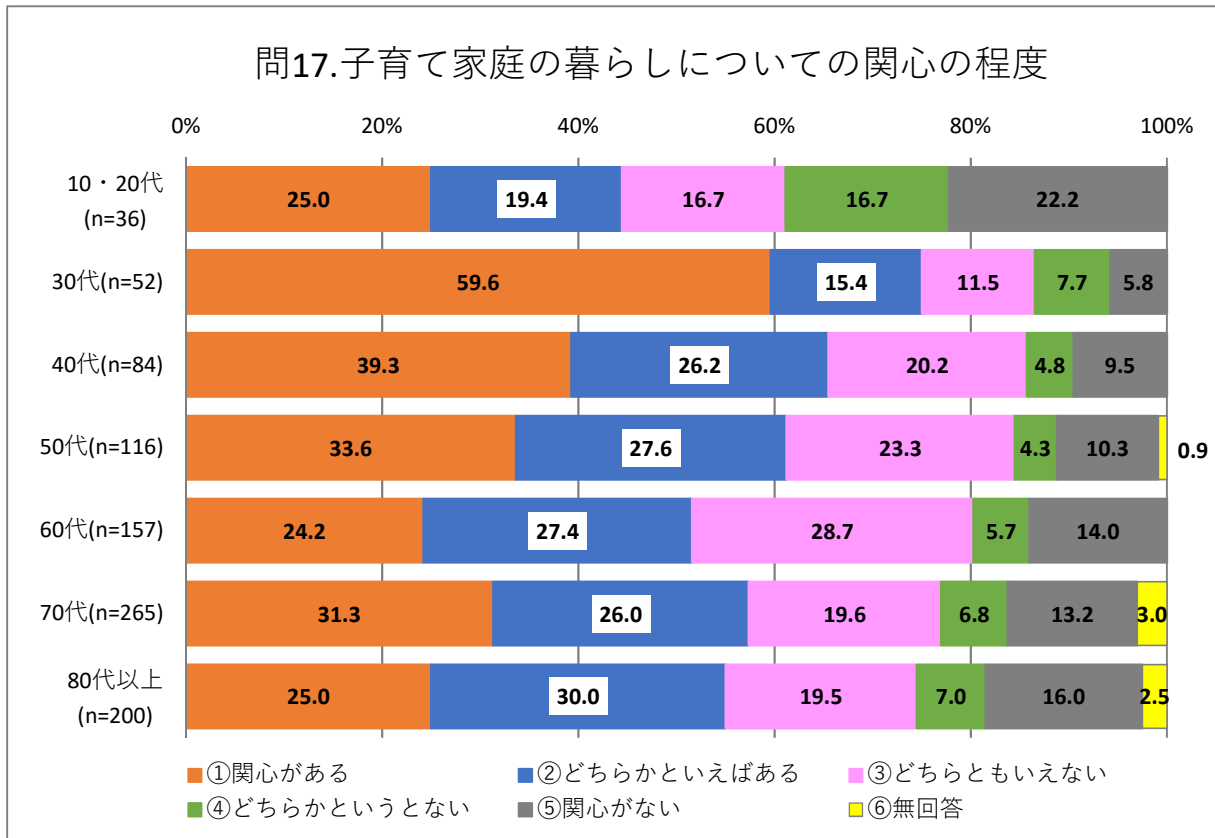
構成比率（%）	①関心がある	②どちらかといえはある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
今回（R5年度）	31.0	26.3	21.2	6.6	13.2	1.7	100.0
前回（R元年度）	35.5	24.8	19.9	4.5	12.3	3.0	100.0
比較	-4.5	1.5	1.3	2.1	0.9	-1.3	



年代別では、「30代」で「ある」の割合が59.6%と最も高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比（%）	①関心がある	②どちらかといえはある	③どちらともいえない	④どちらかというもない	⑤関心がない	⑥無回答	合計
10・20代(n=36)	25.0	19.4	16.7	16.7	22.2	0.0	100.0
30代(n=52)	59.6	15.4	11.5	7.7	5.8	0.0	100.0
40代(n=84)	39.3	26.2	20.2	4.8	9.5	0.0	100.0
50代(n=116)	33.6	27.6	23.3	4.3	10.3	0.9	100.0
60代(n=157)	24.2	27.4	28.7	5.7	14.0	0.0	100.0
70代(n=265)	31.3	26.0	19.6	6.8	13.2	3.0	100.0
80代以上(n=200)	25.0	30.0	19.5	7.0	16.0	2.5	100.0



4 困りごとがあるときの解決方法について

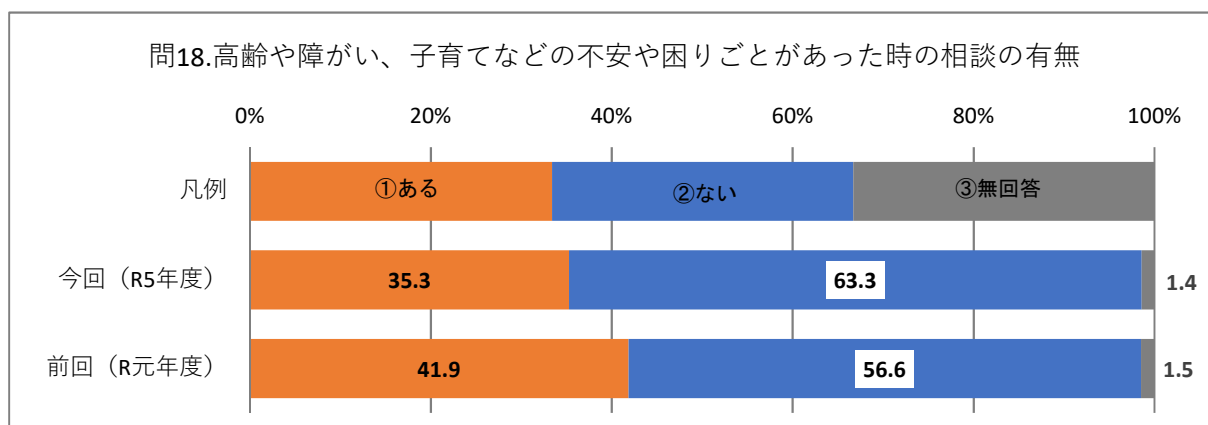
(1) 高齢や障がい、子育てなどで日常生活を送るうえで不安や困りごとがあった時の相談の有無

問18 あなたは高齢や障がい、子育てなどで日常生活を送るうえで不安や困りごとがあった時にどこかに相談したことはありますか（○印を1つ）

「ない」の回答数が最も高くなっています。また、前回との比較では、「ない」の割合が6.7ポイント増加しています。

	①ある	②ない	③無回答	合計
今回（R5年度）	323	579	13	915
前回（R元年度）	309	418	11	738
比較	14	161	2	177

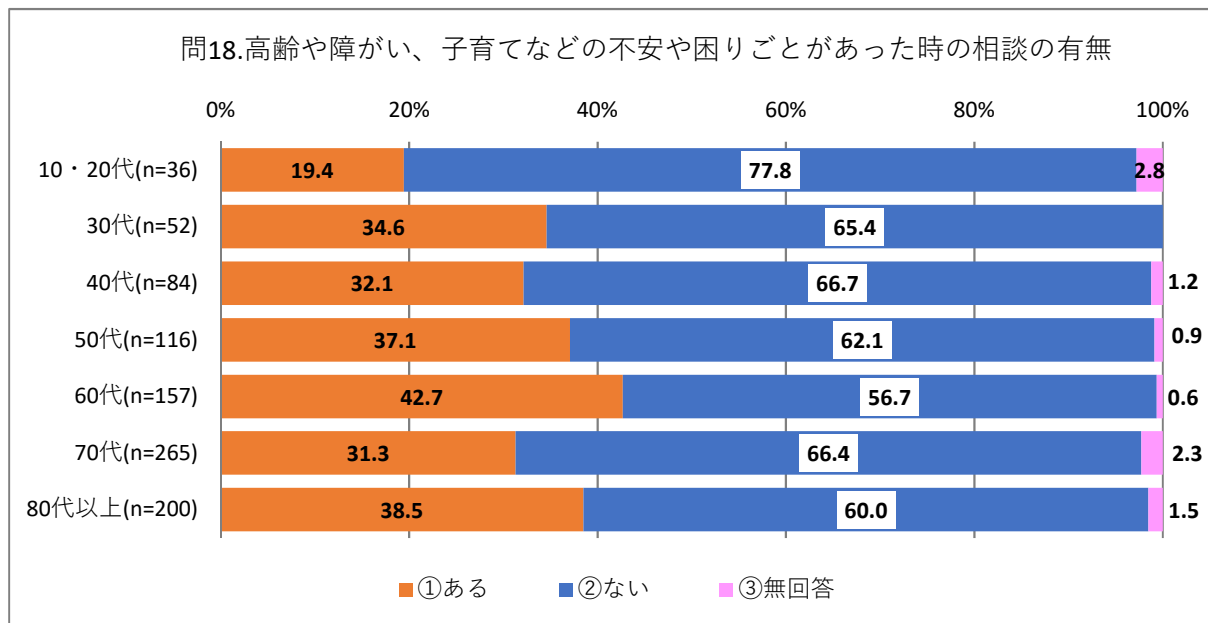
構成比率（%）	①ある	②ない	③無回答	合計
今回（R5年度）	35.3	63.3	1.4	100.0
前回（R元年度）	41.9	56.6	1.5	100.0
比較	-6.6	6.7	-0.1	



年代別では、どの年代においても「ない」の割合が高くなっています。「ある」の割合が高いのは「60代」の42.7%となっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比（%）	①ある	②ない	③無回答	合計
10・20代(n=36)	19.4	77.8	2.8	100.0
30代(n=52)	34.6	65.4	0.0	100.0
40代(n=84)	32.1	66.7	1.2	100.0
50代(n=116)	37.1	62.1	0.9	100.0
60代(n=157)	42.7	56.7	0.6	100.0
70代(n=265)	31.3	66.4	2.3	100.0
80代以上(n=200)	38.5	60.0	1.5	100.0



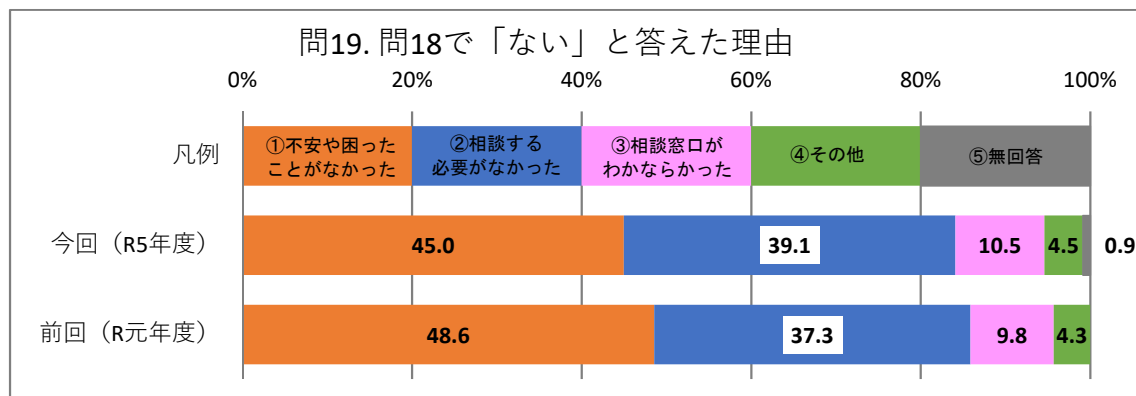
(2) 高齢や障がい、子育てなどで日常生活を送るうえで不安や困りごとがあった時に相談したことがない理由

問19 問18で「ない」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。
(○印を1つ)

「不安や困ったことがなかった」の回答数が最も高くなっています。

	①不安や困ったことがなかった	②相談する必要がなかった	③相談窓口がわからなかった	④その他	⑤無回答	合計
今回 (R5年度)	259	225	60	26	5	575
前回 (R元年度)	203	156	41	18	0	418
比較	56	69	19	8	5	157

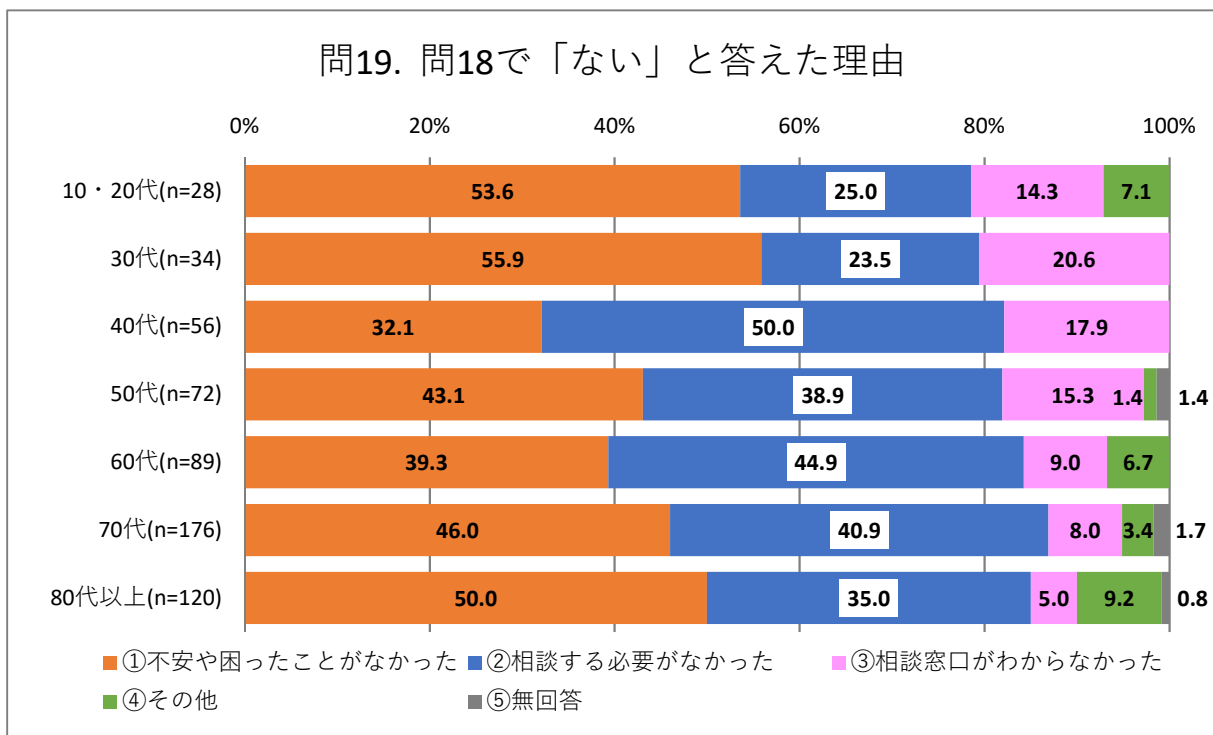
構成比率 (%)	①不安や困ったことがなかった	②相談する必要がなかった	③相談窓口がわからなかった	④その他	⑤無回答	合計
今回 (R5年度)	45.0	39.1	10.5	4.5	0.9	100.0
前回 (R元年度)	48.6	37.3	9.8	4.3	0.0	100.0
比較	-3.6	1.8	0.7	0.2	0.9	



年代別では、「10代」、「20代」、「30代」、「80代以上」で「不安や困ったことがなかった」の割合が50.0%を超えています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①不安や困った ことがなかった	②相談する 必要がなかった	③相談窓口が わからなかった	④その他	⑤無回答	合計
10・20代(n=28)	53.6	25.0	14.3	7.1	0.0	100.0
30代(n=34)	55.9	23.5	20.6	0.0	0.0	100.0
40代(n=56)	32.1	50.0	17.9	0.0	0.0	100.0
50代(n=72)	43.1	38.9	15.3	1.4	1.4	100.0
60代(n=89)	39.3	44.9	9.0	6.7	0.0	100.0
70代(n=176)	46.0	40.9	8.0	3.4	1.7	100.0
80代以上(n=120)	50.0	35.0	5.0	9.2	0.8	100.0



<「その他」具体的な回答> (回答をそのまま記載)

- ・家族に相談する
- ・まだその年齢ではない
- ・子どもがいない
- ・好結果が期待できない
- ・1人暮らし(単身)
- ・相談しても無駄だと思った
- ・大変 人には裏切されたから
- ・健康については医師に相談
- ・娘に相談する
- ・祖母なので
- ・ケアマネージャーさんがしっかりサポートしてくれたので
- ・孫との関わりの中でどちらかという相談される側だから
- ・自分の近くに子どもなし
- ・今のところ家族がいるので困らない
- ・市等あてにならない
- ・満足な返答が以前にももらえなかった、助けてもらえなかった
- ・自分で考え解決する
- ・相談しても解決しないと考えている
- ・医者で対応してもらおう内容がほとんど
- ・家族に話す
- ・他の家族が相談した

- ・長年付き合いのある友人 ・知人や親せきから相談を受けることが”多い”が、つなげるタイミングではないと思ったので様子を見ています
- ・同居の高齢者が人と関わるのを嫌がるので

(3) 高齢や障がい、子育てなどで日常生活を送るうえで不安や困りごとがあった時に相談した際の相談先

問20 問18で「ある」と答えた方にお聞きします。あなたが実際に相談したことがある機関はどこですか。(あてはまるものすべてに○印)

「親族」の回答数が最も高くなっています。

	①親族	②友人・知人	③近所の人	④区の役員 (区長・民生委員等)	⑤保健センター	⑥児童館等	⑦保育園・幼稚園・学校
今回 (R5年度)	171	123	38	28	28	12	30
前回 (R元年度)	196	139	42	28	41	16	34
比較	-25	-16	-4	0	-13	-4	-4

	⑧市役所	⑨教育委員会	⑩社会福祉協議会	⑪警察・消防署	⑫医療機関	⑬障がい福祉事務所	⑭介護保険事業所
今回 (R5年度)	68	6	39	15	109	13	41
前回 (R元年度)	83	6	35	11	125	29	38
比較	-15	0	4	4	-16	-16	3

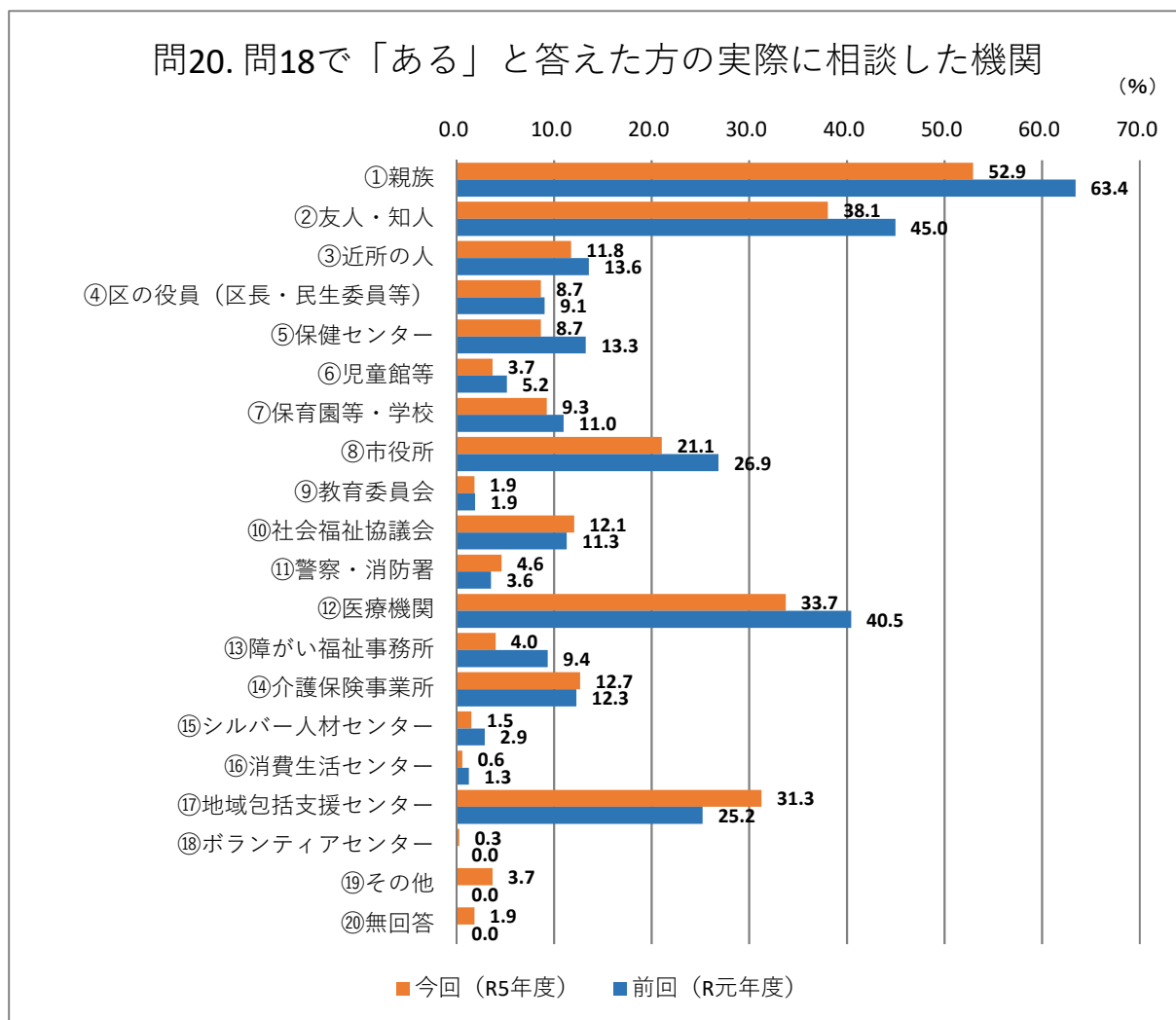
	⑮シルバー人材センター	⑯消費生活センター	⑰地域包括支援センター	⑱ボランティアセンター	⑲その他	⑳無回答	合計
今回 (R5年度)	5	2	101	1	12	6	848
前回 (R元年度)	9	4	78	0	0	0	914
比較	-4	-2	23	1	12	6	-66

<構成比率>

構成比率 (%)	①親族	②友人・知人	③近所の人	④区の役員 (区長・民生委員等)	⑤保健センター	⑥児童館等	⑦保育園・幼稚園・学校
今回 (R5年度) (n=323)	52.9	38.1	11.8	8.7	8.7	3.7	9.3
前回 (R元年度) (n=309)	63.4	45.0	13.6	9.1	13.3	5.2	11.0

構成比率 (%)	⑧市役所	⑨教育委員会	⑩社会福祉協議会	⑪警察・消防署	⑫医療機関	⑬障がい福祉事務所	⑭介護保険事業所
今回 (R5年度) (n=323)	21.1	1.9	12.1	4.6	33.7	4.0	12.7
前回 (R元年度) (n=309)	26.9	1.9	11.3	3.6	40.5	9.4	12.3

構成比率 (%)	⑮シルバー人材センター	⑯消費生活センター	⑰地域包括支援センター	⑱ボランティアセンター	⑲その他	⑳無回答
今回 (R5年度) (n=323)	1.5	0.6	31.3	0.3	3.7	1.9
前回 (R元年度) (n=309)	2.9	1.3	25.2	0.0	0.0	0.0



「親族」、「友人・知人」、「医療機関」、「地域包括支援センター」、「市役所」が上位を占めています。「区の役員 (区長・民生委員等)」、「社会福祉協議会」、「警察・消防署」、「介護保険事業所」、「地域包括支援センター」の割合が前回調査結果より高くなっています。

< 「その他」 具体的な回答 >

- ・人権センター
- ・ケアマネージャー (ほか1名)
- ・患者会
- ・災害支援の人
- ・前回両親がお世話になったケアマネージャーさん
- ・教育相談所
- ・介護施設
- ・障害者支援センター

5 住みやすい小諸市にするためにできること

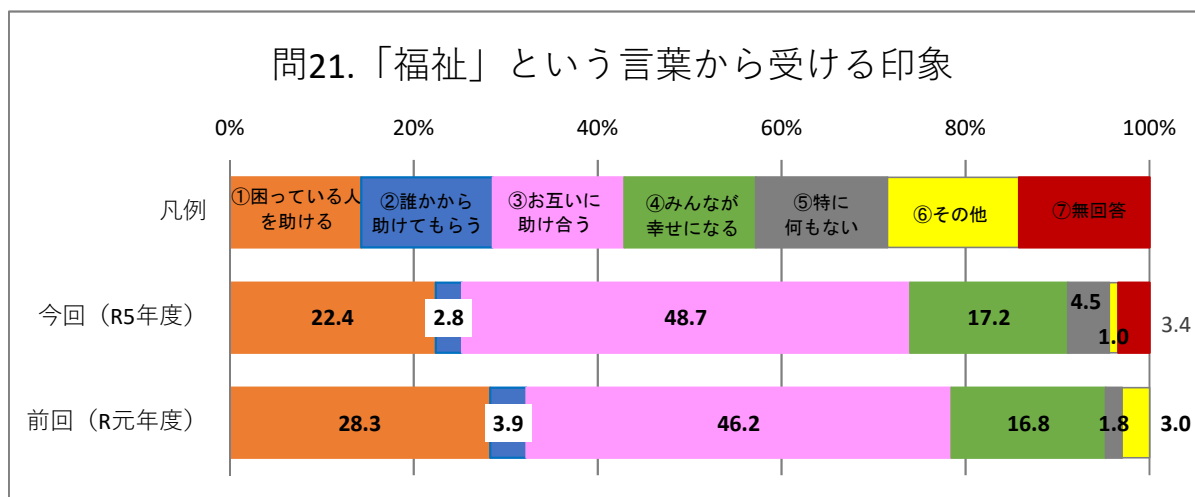
(1) 「福祉」という言葉から受ける印象

問21 あなたは「福祉」という言葉からどのような印象を受けますか（○印を1つ）

「お互いに助け合う」の回答数が最も高くなっています。

	①困っている人を助ける	②誰かから助けてもらう	③お互いに助け合う	④みんなが幸せになる	⑤特に何もない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回（R5年度）	205	26	446	157	41	9	31	915
前回（R元年度）	209	29	341	124	13	22	0	738
比較	-4	-3	105	33	28	-13	31	177

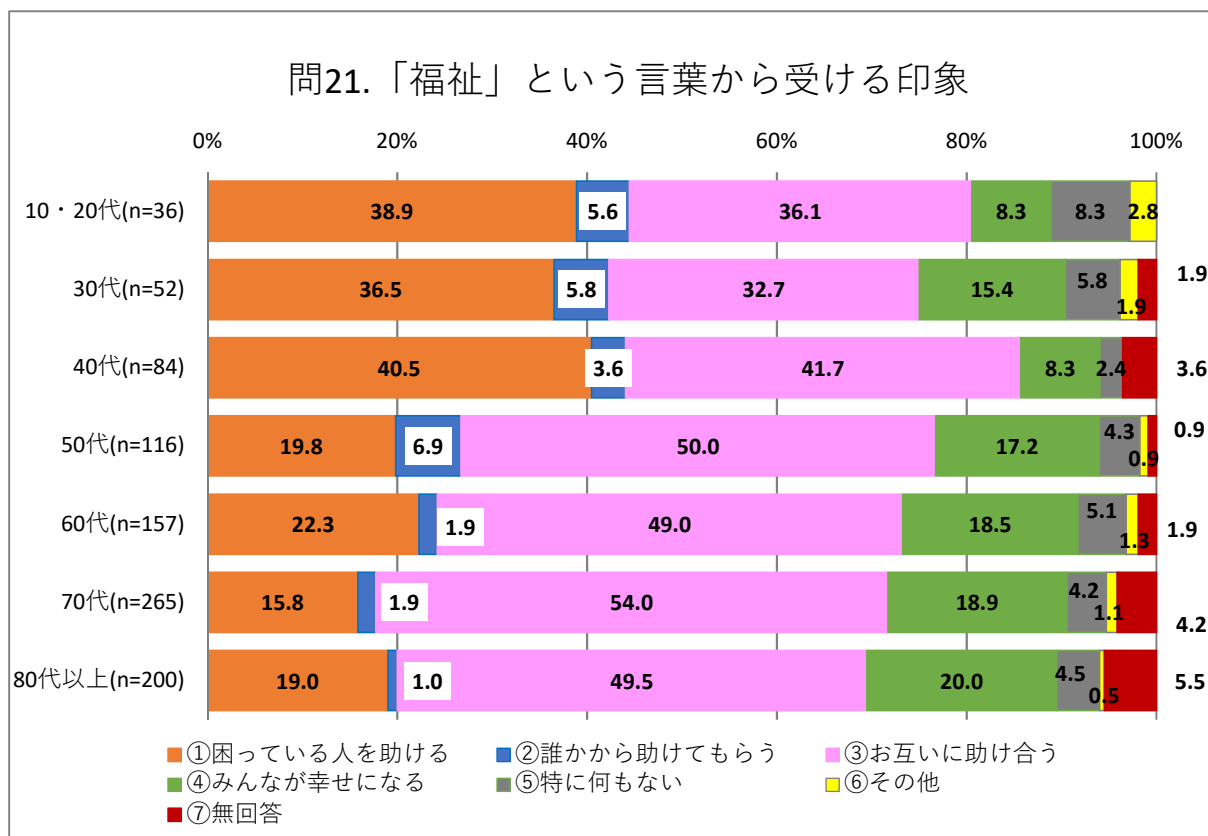
構成比率（%）	①困っている人を助ける	②誰かから助けてもらう	③お互いに助け合う	④みんなが幸せになる	⑤特に何もない	⑥その他	⑦無回答	合計
今回（R5年度）	22.4	2.8	48.7	17.2	4.5	1.0	3.4	100.0
前回（R元年度）	28.3	3.9	46.2	16.8	1.8	3.0	0.0	100.0
比較	-5.9	-1.1	2.5	0.4	2.7	-2.0	3.4	



年代別では、「10代」から「30代」までの「困っている人を助ける」の割合が高くなっています。「40代」以上では「お互いに助け合う」の割合が高くなっています。

<年代別構成比率>

年代別 構成比（%）	①困っている人を助ける	②誰かから助けてもらう	③お互いに助け合う	④みんなが幸せになる	⑤特に何もない	⑥その他	⑦無回答	合計
10・20代(n=36)	38.9	5.6	36.1	8.3	8.3	2.8	0.0	100.0
30代(n=52)	36.5	5.8	32.7	15.4	5.8	1.9	1.9	100.0
40代(n=84)	40.5	3.6	41.7	8.3	2.4	0.0	3.6	100.0
50代(n=116)	19.8	6.9	50.0	17.2	4.3	0.9	0.9	100.0
60代(n=157)	22.3	1.9	49.0	18.5	5.1	1.3	1.9	100.0
70代(n=265)	15.8	1.9	54.0	18.9	4.2	1.1	4.2	100.0
80代以上(n=200)	19.0	1.0	49.5	20.0	4.5	0.5	5.5	100.0



＜「その他」具体的な回答＞（回答をそのまま記載）

- ・何をやっているのか見えないからわかりません
- ・市民としてあたり前に受けることができる事
- ・誰かに助けをもらうことだけでなく自分でできることもあると思う
- ・他県からの移住 ・高齢のためできない ・お互いに助け合う ・高齢者支援
- ・自分が他人を助けられる身体ではない ・考えた事がない
- ・行政の内容、他地域との比較で内容を知ることの大切、今住んでいる市の福祉政策が福祉度を確認している。

(2) 住みやすい小諸市にするために必要だと思うもの

問22 住みやすい小諸市にするためには何が必要だと思いますか（○印は3つまで）

「普段の暮らし」が最も高くなっています。次いで、「心身の健康」、「福祉分野以外との協働したまちづくり」の回答数が高くなっています。

	①心身の健康	②支援が必要な方も安全に避難	③普段の暮らし	④相談の受け止めができる	⑤相談と一緒に考えてくれる場所	⑥福祉分野以外との協働したまちづくり
今回（R5年度）	439	230	532	156	294	305

	⑦福祉への理解の取り組み	⑧地域づくりへの主体的な参加	⑨その他	⑩無回答	合計
今回（R5年度）	68	100	18	58	2,200

年代別では、「10・20代」、「40代」以上で「普通の暮らし」の回答数が最も高くなっています。「30代」は、「福祉分野以外との協働したまちづくり」の回答数が最も高くなっています。

<年代別回答数>

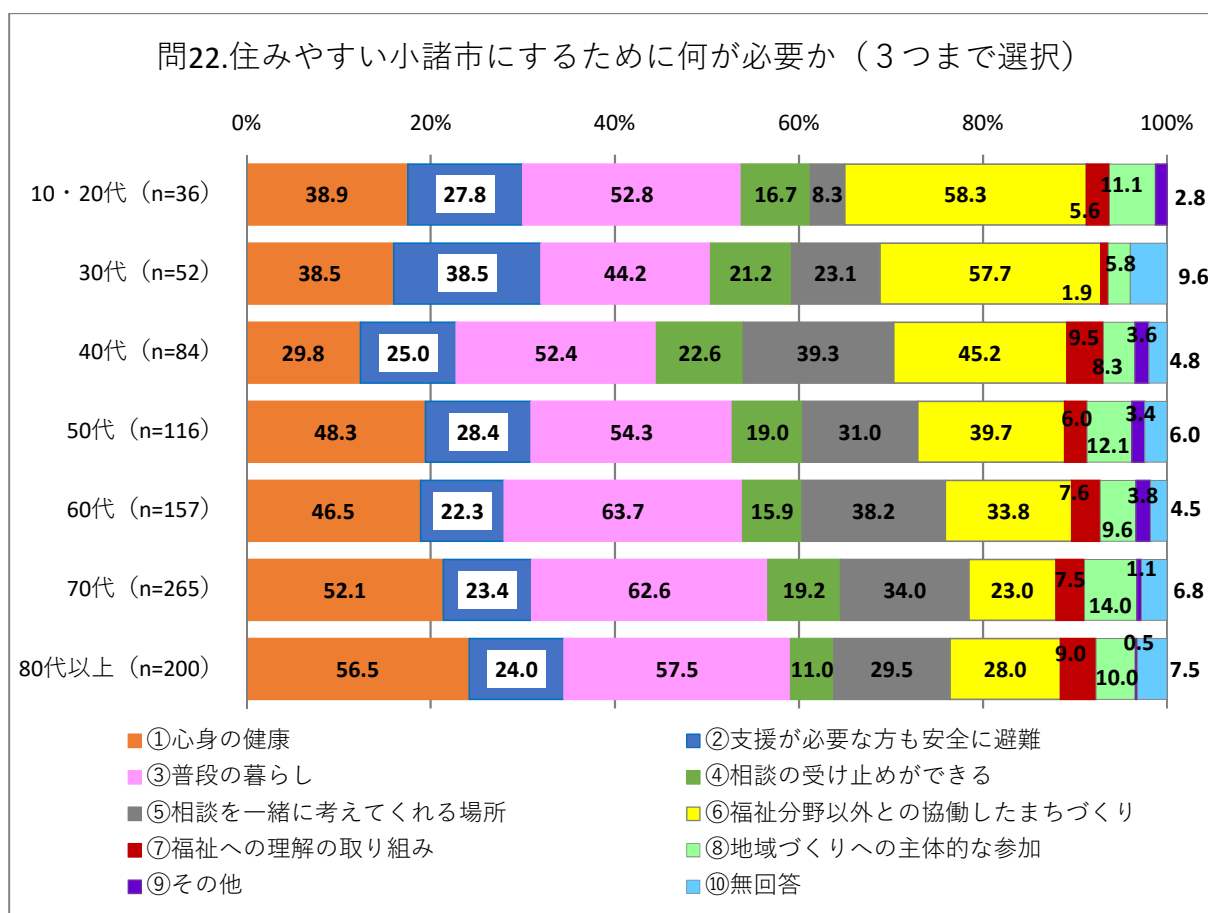
	①心身の健康	②支援が必要な方も安全に避難	③普通の暮らし	④相談の受け止めができる	⑤相談を一緒に考えてくれる場所	⑥福祉分野以外との協働したまちづくり
10・20代	14	10	19	6	3	21
30代	20	20	23	11	12	30
40代	25	21	44	19	33	38
50代	56	33	63	22	36	46
60代	73	35	100	25	60	53
70代	138	62	166	51	90	61
80代以上	113	48	115	22	59	56
合計	439	229	530	156	293	305

	⑦福祉への理解の取り組み	⑧地域づくりへの主体的な参加	⑨その他	⑩無回答	合計
10・20代	2	4	1	0	80
30代	1	3	0	5	125
40代	8	7	3	4	202
50代	7	14	4	7	288
60代	12	15	6	7	386
70代	20	37	3	18	646
80代以上	18	20	1	15	467
合計	68	100	18	56	2,194

<年代別構成比率>

年代別構成比 (%)	①心身の健康	②支援が必要な方も安全に避難	③普通の暮らし	④相談の受け止めができる	⑤相談を一緒に考えてくれる場所	⑥福祉分野以外との協働したまちづくり
10・20代 (n=36)	38.9	27.8	52.8	16.7	8.3	58.3
30代 (n=52)	38.5	38.5	44.2	21.2	23.1	57.7
40代 (n=84)	29.8	25.0	52.4	22.6	39.3	45.2
50代 (n=116)	48.3	28.4	54.3	19.0	31.0	39.7
60代 (n=157)	46.5	22.3	63.7	15.9	38.2	33.8
70代 (n=265)	52.1	23.4	62.6	19.2	34.0	23.0
80代以上 (n=200)	56.5	24.0	57.5	11.0	29.5	28.0

年代別構成比 (%)	⑦福祉への理解の取り組み	⑧地域づくりへの主体的な参加	⑨その他	⑩無回答
10・20代 (n=36)	5.6	11.1	2.8	0.0
30代 (n=52)	1.9	5.8	0.0	9.6
40代 (n=84)	9.5	8.3	3.6	4.8
50代 (n=116)	6.0	12.1	3.4	6.0
60代 (n=157)	7.6	9.6	3.8	4.5
70代 (n=265)	7.5	14.0	1.1	6.8
80代以上 (n=200)	9.0	10.0	0.5	7.5



<「その他」具体的な回答>（回答をそのまま記載）

- 公平な公共事業の改善（一部地域だけが恩恵を受けることがないように）
- 佐久市のように色々な補助金が出る • 子育てしやすい市になること
- 近所との関わり、若者が住みやすい町づくり • 若者の活気ある町づくり
- 孤立・孤独にならないように意識を外に趣味を持ったりみんなと何か一緒にすることを考えています
- 地域格差のない平等な街づくり
- 市の健康を維持したり健康づくりの為に施設があること
- 支援に関する捉え方の見直しに改善、範囲拡大、拡充
- 小学校が統合するにあたり道を広げて欲しい。 • 全部だと思いませんか？
- 交通弱者に向けた対策 • 市職員のレベルアップ 長野市と全然違うと思う
- 市の催し物の情報が届きません • 上位進学だけでない子どもたちが成長できる社会
- 機関の幅広い知識やアイデアと行動力
- 商業施設が多くある事 • 定義づけがあいまい過ぎて回答に苦慮します。

(3) 住みやすい小諸市をつくるために自分ができそうなこと

問 23 住みやすい小諸市をつくるためにあなたができそうなことはありますか
(○印を1つ)

「心身の健康」が最も高く、次いで「普段の暮らし」が高くなっています。

	①心身の健康	②支援が必要な方も安全に避難	③普段の暮らし	④相談の受け止め	⑤相談と一緒に考えてくれる場所	⑥協働したまちづくり
令和5年度	356	47	215	21	38	41

	⑦福祉への理解の取り組み	⑧地域づくりへの主体的な参加	⑨その他	⑩無回答	合計
令和5年度	25	58	24	90	915

<年代別回答数> 年代無回答除く

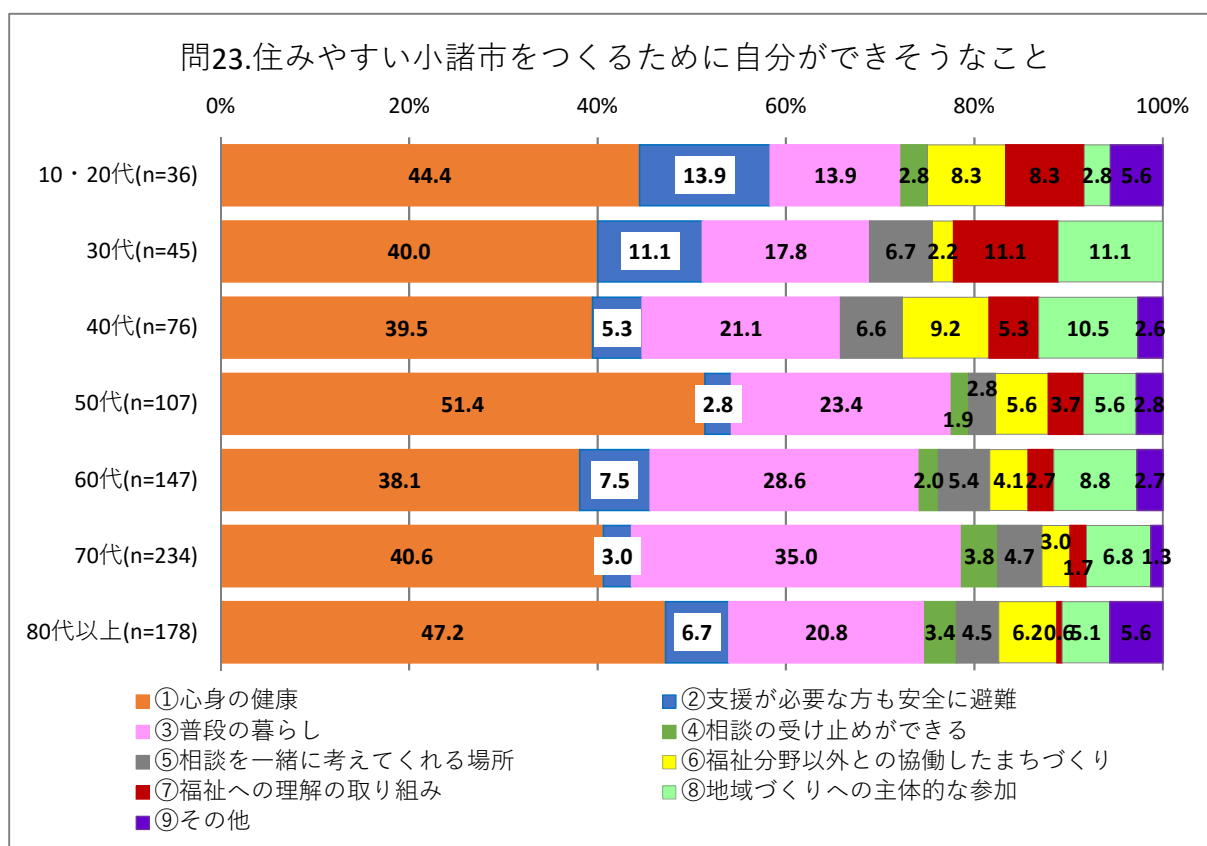
	①心身の健康	②支援が必要な方も安全に避難	③普段の暮らし	④相談の受け止め	⑤相談と一緒に考えてくれる場所
10・20代	16	5	5	1	0
30代	18	5	8	0	3
40代	30	4	16	0	5
50代	55	3	25	2	3
60代	56	11	42	3	8
70代	95	7	82	9	11
80代以上	84	12	37	6	8
合計	354	47	215	21	38

	⑥協働したまちづくり	⑦福祉への理解の取り組み	⑧地域づくりへの主体的な参加	⑨その他	合計
10・20代	3	3	1	2	36
30代	1	5	5	0	45
40代	7	4	8	2	76
50代	6	4	6	3	107
60代	6	4	13	4	147
70代	7	4	16	3	234
80代以上	11	1	9	10	178
合計	41	25	58	24	823

<年代別構成比率>

年代別 構成比 (%)	①心身の健康	②支援が必要な 方も安全に避難	③普通の 暮らし	④相談の受け止め	⑤相談を一緒に 考えてくれる場所
10・20代(n=36)	44.4	13.9	13.9	2.8	0.0
30代(n=45)	40.0	11.1	17.8	0.0	6.7
40代(n=76)	39.5	5.3	21.1	0.0	6.6
50代(n=107)	51.4	2.8	23.4	1.9	2.8
60代(n=147)	38.1	7.5	28.6	2.0	5.4
70代(n=234)	40.6	3.0	35.0	3.8	4.7
80代以上(n=178)	47.2	6.7	20.8	3.4	4.5

年代別 構成比 (%)	⑥協働した まちづくり	⑦福祉への理解 の取り組み	⑧地域づくりへ の主体的な参加	⑨その他	合計
10・20代(n=36)	8.3	8.3	2.8	5.6	100.0
30代(n=45)	2.2	11.1	11.1	0.0	100.0
40代(n=76)	9.2	5.3	10.5	2.6	100.0
50代(n=107)	5.6	3.7	5.6	2.8	100.0
60代(n=147)	4.1	2.7	8.8	2.7	100.0
70代(n=234)	3.0	1.7	6.8	1.3	100.0
80代以上(n=178)	6.2	0.6	5.1	5.6	100.0



<「その他」具体的な回答> (回答をそのまま記載)

- ・ やりたくても高齢でできない
- ・ よくわかりません
- ・ ゴミの分別の徹底

- 手術を6回以上していて参加することが困難
- 日頃から気軽な隣近所の交流に努める
- 自分は特別な技術がない
- 人様に迷惑をかけずに仲良く、楽しく、暮らすことです
- 1～8は常識であってあたり前の事
- (隣組の支え合い→地区→区と関わり) 地域のお役に立つこと
- 93才では出来ませんが励まし合い位のものです
- 質問の意味が分かりません
- 高齢なので草刈りを年2回市役所の方お願いします。とても困っています
- 自身と家族のことで精一杯です
- 他人のことを考える余裕のある生活をする
- 農家の人たちと一緒に居住をしたくない
- 消毒、騒音問題
- 選挙
- 地域の高齢者の関わり見守り
- 税金を納めること
- 高齢なのでない
- 今のラインサービスに火災、災害、交通情報を追加してほしい。防災無線がこだまして聞こえない。
- 安心、安全、(金銭的に)安定できる市民生活。年金もおさめていたが満額預けていない。健康を害し、また高齢になり施設で暮らす選択をしはじめた。(子どもと相談して)いつまで生きられるかわからないが、メイワクかけたくないと思っっている。(子どもも減って近くに遊んでいる子がない不安)
- 自身以外にも関心を持つ

(4) 小諸市の地域福祉の推進についての意見等

問 24 小諸市の地域福祉の推進にあたりご意見等ございましたらご記入をお願いします。

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
1	買い物弱者のための購入支援ボランティアが市外への通院等の送り届けボランティア仕組みをつくったら。	
2	地域内でのコミュニケーション力が弱くなっています。互助の大切さも含めてアナウンスしたらいかがですか。	
3	若者が積極的に参加出来る様な考慮された企画が必要	
4	本当に困っている方がどこに居て、何に困っているか市民には分かりづらい。支援を必要としている方がいつでも気軽に立寄って話をしたり相談できるカフェのような所があると良いと思う。	
5	高齢者福祉は十分に充実しているが、子育て分野が不自由に感じる。例えば待機児童の多さや給食費が無料にならない所など…。もっと、子育て世代に対しての取組をしていただかないと子供は増えないと思います。(小諸は育てにくいと思います。)	
6	高齢化時代をどのように乗り切っていくか大変だと思います。	
7	小諸市は昔からの差別の問題が多く、個人個人の心の奥に様々な思いがある。福祉は別の無い対応、又、いろいろなつながりの中で幼い頃から差別する側、される側に対しての対応を見てきましたが、他市町村とは違ってました。住みづらさを感じた時もありました。平等の対応を願っています。	
8	1人ひとりが心も体も健康でいられたら満足な幸せ生活ができる気がしました。毎回トラブルがおきるとハラハラして不安な気持ちになりますけど、一緒に考えてくれる仲間や場所があればそれだけで気持ちが楽になりますね。アンケートを見てあらためていい町に住んでいるんだなと思いました。	
9	現今の国の福祉行政に追従しているのでは推進どころか立ちおくれするでしょう。少子化高齢化が進行しているのでうすから、一度立ち止まって福祉行政を見返し改革する必要があると思います。公助→共助→自助の実現を。	
10	現在67歳ですがケガや手術後のリハビリ等病院通いが多くて自分の体力維持が中心です。時々孫の世話を見ていて老いを感じています。	
11	何だろうね-！何をやっても変わらないから期待しないです。小諸市が何をやっているのかわからない。	
12	市の行事まで参加大変だが、地元の区や公民館の行事には参加できるので、AEDの使い方、消火器の使い方等どんどんやって欲しい。	
13	東京から移住したばかりで、まだ右も左も分かりません。ただ、こちらから積極的に聞いていくと親切に教えていただけます。それが大切です。	
14	独居の高齢や障がいに対する支援(買い物・通院・電話への援助)。ご家族様の理解と協力が重要。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
15	ご近所の高齢の方や、子どもさんが自宅から生活音が聞こえると落ち着かないように住まいの問題だけでなく1人ひとりの心身の健康を大事にしてお互い助け合う気持ちで協働したまちづくりを進めることが、住みやすい小諸市だけでなく温かな小諸市になると思います。	
16	健康への感心が高い中で「区」ごとい無料で健康器具などが使用できる場所や健康グッズなど（南佐久のほうからそういう場所があると聞いてイイナと思いました。	
17	ガス田を開発して市民に安くガスを提供して欲しいです。すでにはじめている自治体もあるので小諸市でもガス田を開発できれば幸いです。	
18	往診してくれる開業医が欲しいです（高齢者）	
19	市（ex 厚生課など）側主催で、1回500名づつ集めて、このような問題についてレクチャー等をして欲しい。これをこまめに行うことによって市民が関心を持つことになるのでは。ないでしょうか。少しずつ体にすり込むことが良いと思います。	
20	各地区の民生委員さんと行政が一体となって常に関係区の住民の健康状態を見ていることにつきますと思います。	
21	心身が健康であれば何事にも前向きに取り組めるようになると思うのでサポートが必要な方には手をさしのべつつ自立して生活できるようにサポートしていく事も更に進めて欲しい（生活保護者を減らす）	
22	がんばってください。よろしくお願いします。	
23	国民年金の高齢者への福祉の充実を更に希望します。	
24	他市町村から小諸市に来て5~6年になりますが、昔と違い活気がない街に。難しいですね。住民はこれで良いと感じているんでしょうか。シャッターが閉まっている寂しい街ですね。市全体の人がそれぞれ住みやすい街にしていかなければいけないと思います。空き家を工夫して移住者も入居できる環境になれば、少しは改善されるのではないのでしょうか。	
25	人を大切にしようと思う心があるなら、人は子育てしている中で、子どもから学ぶことが多いと思う。おなかすいたの？眠いの？等々。子どものいる家庭が増えたらいいと思う。お年寄りや学校帰りの子供達と一緒に集まって雑談出来るようなところがあるとパートのお母さんが喜ぶかもしれませんね。	
26	介護を受けずに生活出来ることを目指すこと	
27	オーナー、中介者は地域の守り事などしっかり伝えて、守ってもらうよう説明をしっかりとって欲しい。	
28	高齢者や子どもがいる家庭ばかりに支援するのではなく、子どもが成長しても物価高騰などで生活が厳しいのはどこの家庭も同じなので、皆が住みやすく思える町づくりをしてください。福祉には関係ないけど町の放送がいつも聞こえなくて、放送している意味がない。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
29	誰もが安心して生活できる小諸市にしてくだ。	
30	高齢者は体を動かすことが大事。障害者に寄り添う行政が充実。	
31	もっと市民の皆様の理解と力添え、そして手をさしのべるための推進をお願いします。	
32	専門的な市職員や市議員などが地区に出向いて年に何回かワークショップ形式などでテーマについて話し合う場を望む。私は埼玉からの移住者ですが、小規模の小諸が大好きで何一つ不足はありません。心していることは近所との付き合いを大切にしています。子供家庭は東京にいます。自然も人も良し、行政にも満足しています。唯一、未婚者が多いのと、空き家が多いのが気になります。	
33	区内、ご近所等の交流により助け合う土台作りが必要	
34	同じ人が何年やらないで交代したほうが良いと思います。	
35	本当に困っている人は声をださないかもしれない。民生委員や区長なども把握できない声無き声を聞くためにはどうしたらいいのか。一年前近所の人から「1万円貸して欲しい」と言われ「返さなくてもいいから」と言って2万円渡した。一年後には1万円返してくれた。	
36	「地域の支え合い」と言っても、例えば市役所に行っても来庁者に「こんにちは」の挨拶ができない、知らんぷり。医療センターも同じ。とにかくあたりまえのように「おはよう、こんにちは」が言えない、そんな街です。通学の高校生で掃除していると「おはようございます！」とあいさつする子は時々しますが、素晴らしい事ですね！	
37	みんなが安全安心に暮らせるように活動していただき、感謝します。自分もできることはしたいと思います。助け合いは必要と思います。誰でも幸せに生活して欲しいです。悲しい人、困っている人達がいなくなりますように願っています。	
38	小諸市の魅力を、他都市在住の友人、知人などに伝えている。(飲食)観光・ワイン・酒など	
39	高齢化、人とのつながりも希薄化が進むなど生活課題として実際に身近に感じています。市・地域で向き合い小諸市らしい取組を実践していただければと思います。	
40	すぐれた事業活動を進めている自治体では、専門職を配置し(配置転換などしない)ずっと市民とともに協働してまちづくりに進める人材を配置し、活躍されています。小諸も理事者にそんな先見性があるといいのだが。	
41	私は99才1人暮らしをしています。何でも一人でやっております。	
42	相談窓口が分からないのもっと分かりやすく予約なしで相談できるところが欲しいです。	
43	心身が大きく傷ついた人を見逃さないで、早急に手をさしのべること、難しいことではありません。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
44	さまざまな面で良い活動をしていただいていると思います。高齢になり相談できる所があって良かったと思っています。	
45	定期的な家庭訪問などで福祉の必要な実態を把握し問題に応じた対応への取組をお願いします。	
46	介護が必要になった時、どのような手続き、どこに相談したら良いか知りたいです。	
47	区内、各班の件数も減ってきている（人数も）まず区内・その後、市へと活性化出来る様に成れば良いと思うが、具体的には、まず自分の廻りの人達と仲良く、地区、市の行事に参加し課題を話し合い助け合いが出来ればと思う。	
48	民生委員の方は、ほぼボランティアですが、市はその方の生活が成り立つ程度の金銭を支払って、職業的な民生委員もこれからは必要となりはしないかと思う。	
49	単身や高齢者でも活躍できる場があること地域内、しないだけでなく広いつながりを創れることAIやネット環境を活用していけること	
50	落ちこぼれがないようにすすめること	
51	区や地域といった枠にとらわれずに、市全体活動になる方が気疲れや摩擦がなく参加できると思う。	
52	1人1人が主体的に参加できやりがいのあることがそれぞれにあれば、そして仲間がいれば協力の輪が広がる。それが地域福祉ということかと思います。	
53	103才のため子どもや孫のためになる様な施策を。	
54	市の情報発信について、ホームページ、ケーブルテレビ、屋外放送などありますが、紙の配布物以外にも福祉サービスを必要とする人が情報を得やすいツールがあれば良いかと思います。	
55	行政のトップが選ばれる街？などと自画自賛をしていては、生活困窮者の実態に寄り添い福祉の向上に心血を注ぎ、住民の底辺の力を引き出すなど叶わないことと合点しています。	
56	介護認定の緩和。介護保険サービスをもっとする。	
57	近所、隣など話し合えるような行政にして頂たい。	
58	1人暮らし家庭が増え、その先に不安をかかえる人は多いだろう。終の住み家としておの市内の介護施設（特養、老健、介護医療院、その他）の紹介を定期的、継続的な方法で行って欲しい。	
59	小諸市の病院、その他全てにおいて人手不足なので、まず人口増を目指して欲しいです。	
60	本当に困っている人は相談に行くことも出来ないと思う。きめの細かい福祉を望んでいます。心の病の人も多いと思います。聞いてあげることが大事と思っています。無理のないやさしい福祉を望みます。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
61	都市部から若い経営移住者を多く受け入れ税収を上げ、昔のような活気ある町にしてみたい。人口減少はやむを得ないとしてもそれを補うための外国人人材も必要となってくるだろう。課題は全国どこの地域も同じ、国の施策が失敗しているため手遅れの状況生活が苦しく考えている余裕がないのでは。	
62	今のままで十分です。	
63	最近色々な品物が値上がりしています。給与所得者（正規職員）はベースアップ等で還元されるから良いですが、年金受給者及び低所得者（パート社員等含む）は物価高に追いついていない為、日々生活が厳しいのが現実です。これらの人々への対応をお願いします。	
64	自治会の役員を担うのに高齢化もあり家族に障がいのあるものがないと数年前に大阪で障がいのある人に役員を強制的にやらせようとしてその方は苦しんだあげく自殺してしまいました。このような事件が起きないように無理をさせず思いやる温かな地域、町づくりをぜひ目指して欲しいですし、強制だけはさけていただきたいと思います。民生児童委員さんが地域住民と行政とのパイプ役で会って欲しい。	
65	地域の行事でいつも主席している方が同じ方が多く、なかなか大勢の方が出席して頂けないことが残念です。	
66	周りに迷惑をかけないように、健康（心身）でいるために趣味活動をしたり、軽い運動をしたりして自分で自分のことができるよう心掛けています。高齢者にはカラオケが一番良いとアドバイスを受け、月1回は行くように（友人・知人と）心掛けています。唾液が活発になるのは、口内の殺菌、誤飲防止にもなるそうです。公民館等で軽い気持ちでワイワイ話しながら唄うという場所の提供がしてもらえると元気な老人が増えないかな？と思うことがあります。最後の最後は市で手を差し伸べますよ!!と言ってもらえれば安心です。	
67	身内には90代の高齢者が二人います。1人は施設に入所しました。1人はデイサービスを利用させていただいています。その際、ケアマネさんに適切なアドバイスをいただきスムーズに話が進み何一つ心配することがありませんでした。ケアマネさんはじめ関わって下さった皆さまには大変感謝しています。ありがとうございました。※これから高齢者が益々増えると思われます。一人でも多く福祉に関わる人が増えるよう待遇向上を切に願います。	
68	外出不可能になってくる高齢者のためにタクシー等の低価格システムがあれば通院、日常の買い物等にありがたい。区費等、集金業務、高齢になると大変なので振込式にならないか？	
69	高齢のため自分のことが精一杯です	
70	相談機能の充実	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
71	現況で十分でないでしょうか。私も平成30年に妻を脳梗塞で病院、介護施設で大変お世話になり、令和元年から4年10月末まで老々介護（自宅）し亡くしました。感謝しています。	
72	もう90以上の高齢なので特に無し。静かに暮らせたら幸せです。	
73	大規模災害に備え支援が必要な方も安全に避難できること。リヤカーの一人乗りとか小回りできる狭い道が通れる。高齢者や障がい者をのせて避難できると思います。身につけたりするのに笛が必要かと予備したり、柱で囲まれているトイレとか風呂場に逃げる履物の用意、ヘルメット日常的に考えておく。そういうことができたらいいですね。	
74	市役所高齢福祉課の方も、社協の方も一生懸命に達人クラブや介護予防など企画してくださるのに、参加者（私の区では）が少なく残念に思っている一人です。	
75	介護予防活動を積極的に推進していただきたい。「筋トレ+有酸素運動」などもっともっと機会を増やすべきだと思います。	
76	老若男女のイベント（ふれあう）企画を増やして欲しいです。地域（近所）がどんな方がいるのか全く分からないのでイベントがあると助かり交流のきっかけを作って欲しいです。	
77	バスが以前のように村の中を定期的に運行して欲しい。	
78	民生委員など年数が長すぎるし、ごく一部の人しかやらない。地域福祉と言うならみんなが平等に受けおうものだと思う。人任せにせずに。	
79	昔はボランティアも色々参加させてもらいましたが、免許も返納したので地元でもっと気軽に小さなグループで集まりたいです。	
80	これからは高齢者社会がますます加速するので地域包括支援センターの役割がますます重要になってくると思います。地域包括支援センターの予算増額や重要な役割に対する市の積極的な関わりが必要だと思います。	
81	市の体力づくりする施設、できる施設が小諸南城公園プールも夏場利用でしてましたがなくなり、ジムもなくとても不便に思っています。隣の市の施設などを小諸市がないなら割引で利用できるようにしてもらいたい。困っていることを相談できる窓口とその話を市の知恵で良い方向に導いてくれるような方が（受けとめて聴いてくれる方）ここにいますと分かれば市民は心強い日常と生活に安心ができます。小諸市の地域福祉が今よりよりよくあるように協力もしますのでこの調査が生きて欲しいと思っています。	
82	地域福祉計画を進めるのに必要な若い人達をどうやって引き込むか？多忙な人達にこそ参加してもらえそうな活動を作っていくにはどうしたら良いか？	
83	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に困ったこと。 ・下水道を市役所さんがみてくれること望みます。 ・毎年2回春・秋 年齢（高い）足腰が悪いので、無料で草刈りをお願いします。（93才～96才なので） 	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
84	小諸市の防災放送（屋外）が家の中ではほとんど聞取れません。早急に「防災ラジオ」の販売をしてください。スマホからの情報でと聞きますが、高齢者には無理です。よろしくお願いします。	
85	ご近所にどんな家庭が（家族）がいるか全然わかりません。	
86	幼稚園・保育園以外の場所（こもロッジ）などが増えて欲しい。親の負担も減り話や相談が出来ると嬉しい。できれば予約なしで気軽に行けるところがあるといいなと思いました。	
87	区が大きくなり過ぎ、まとまりがなくなってきた。行事等の何らかの方法でもう少し集まれる様な…。	
88	市民全体で参加できる心が振える様なイベントの開催	
89	自分をさらけ出して話すこと笑う事が出来る場所がいつも使えるように、悩みも話す事で心が軽くなる。老人は老人と共感。	
90	地域格差を感じています（すべてにおいて）	
91	子育てをしてお金が必要な場面が多く、前にあった子育て支援金など増やしてほしい。給食費の金額を抑えてほしい。高校生は通学費補助を出してほしい。	
92	福祉従事者が増えるよう働きかけてください	
93	本当に困っている人達への支援が全くなされていないと感じます。本当に困っているのは、非課税者でも、ひとり親でも生保者でもない事に気付いて頂きたい。	
94	何かのついでで近所の人を乗せていく。（買い物等で）昔はあった光景。このようなことの仕掛け（ゆるい）ができたらいいなと思う。御代田のエンジョイ（買い物支援サービス 500円/回）良い仕掛けだと思うが、私の依頼は1回もない。どこかに問題（課題）があるかと。買い物：50年位前、移動の販売車が（1～2回/週）村に来ていた。忙しくて時間が無い人、移動の足が無い人等が利用していた。公共交通機関がほぼない。市のはずれの人にとっては有用かと。健康ウォーク：街中開催。私は家の近く毎日ウォーキングしているが、これは参加しようと思わない。往復で≒1時間（車で）エコでない。1時間あれば、近くで10,000歩歩ける。（ガソリン未使用）この取組、実績の公表がないので、わからないが効果はあるのだろうか？PDCAは回っているのだろうか。・有償ボランティア制度の検討を。（気持ちをもった、時間もある まだまだ動ける高齢者）ボランティアの気持ちはあっても経費捻出がちょっと…という人もいるのでは。	
95	広報こもろの活字を少し大きくして欲しい	
96	地域作りやボランティア活動に参加する事は、自身の健康にとっても大切な事だと思っているが、積極的に参加協力できる人と消極的に参加協力的な人がいて、参加協力したいとは思っているが、誘われれば参加協力するが、自分だけで積極的に一歩踏み出して地域づくりやボランティア活動に参加することができない人が多くいるのではないかと思う。そういう方もチャンスやきっかけがあれば参加協力できる人材であると思う。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
97	1.出生率を高める政策 2.子育てに力を注いで 結果が福祉につながる	
98	要介護者が支援を受けやすい窓口の案内を積極的に行ってほしい	
99	今まで関係なかったのですが、福祉関係に関する冊子が一冊でもあったらと思っています。	
100	困ったことがあってもどこに相談したらいいのかわからないのが本音。結局、親しい友人や同じ境遇の人と話を分かち合う事で満足している！自分の気持ちが本人に届かないのが寂しい！ふと思いつき両親がお世話になったケアマネージャーさんに話を聞いてもらったら胸がすっきりとした。	
101	老人は地域で楽しく集まれる様な 子どもを大切にす地域でありたい図書館でいろいろ楽しめる様に小諸の子どもが色々楽しい思い出があるよう行事とか遊びがあると（多く）いい。	
102	困った事や心配な事が有った時に気軽に相談出来る場所があったら安心して生活出来そうに思います。	
103	人口減少に合わせて少ない予算で実行できること。運営するために負担が少ないことが大事だと思う。	
104	少子化対策を推進するためには、まず保育環境の整備が必要不可欠だと考える。受け入れ環境を良くするため働き手の待遇改善を更に加速化させるべき。「人の命を預かる」という面で、医者と大差ないのでは。	
105	行政と市民の関係ではなく1人1人市民の立場で考え協働できる環境を整えて欲しい。	
106	多種多様な件が回覧板で回ってくるのが、果たしてどの程度理解（市民に）されているのが不明（回覧板⇒回ってくるだけ⇒回すだけ状態では）	
107	大きな災害が有った時、能登のように冬に不十分な暖房で体育館の床にざこね状態では、小諸なら凍死者も出かねない。暖かくプライバシーも守れる設備も最近はあるようで小諸にあった物の研究、備蓄が必要と考える。	
108	区の役員をしている時は福祉活動に関わる機会があるのですが退いてしまうと人事の様になってしまいます。継続するには役を降りたOB達にも声がけをして参加してもらいたいと思います。障害者施設で仕事をしていますが一般企業の受け入れが少ないと思います。市でも企業に働きかけて安定した就職先が増えることを願っています。市役所内での仕事はないのでしょうか。	
109	以前お金の事で社会協議福祉会へ相談に行った事があったのですが、よく相談にのってくれなく切ない思いをした事があったのですが、もっと親身になって相談に乗って欲しいと思いました。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
110	障がいのある方、支援の必要な方、病気の方、引きこもりの方、いろいろな方が生活をしていると思います。それぞれの地域福祉の方は大変なことと思います。自分自身今のところ元気、健康に暮らしているので福祉には関心が無いと言えば”うそ”になるかもしれませんが、1人1人が福祉の方になるべくお世話にならずに生活出来れば良いと思います。	
111	働くことが困難な人の生活保護ではなく働いてお金を得て税金を払えるシステムを作らないと小諸市の財政が今後もっとマイナスになるのではないかと思います。まずは雇用をなんとかないといけないと思います。	
112	老後、公共機関への用事等ある時、交通の便に於いて不自由です。マイナンバーカードも書換が生じる毎に老化していくのに手段がない場合も生じると予想される。1人暮らしで横文字に詳しくなくなってパソコン・インターネット等使えない人もいるのに、手続き等に配慮のないことが多い。独居老人が増加している傾向にある。あいのりくんは利用しているが継続は細い命綱です。	
113	先日、要介護の父をもっと付き添いありでお風呂に入れたくて、あぐりの湯に介護風呂があったことを思い出し、尋ねると、もう使用していないとのお返事がありました。せっかくあるのにもったいないなあと思いますが、維持管理が大変なのでしょうか？新たにできた高齢者福祉センターも市民の家族であれば市外の人でも利用できるようにしてもらいたいです。	
114	高齢者社会→空き家 この悪い循環をどのようにするか？ 若い人を呼び込む街づくり。人口を増やすには？	
115	坂が多いので特に積雪があった時は除雪してもらえると（一本入った道など大通り以外も）助かると思います。	
116	相談業務のレベルアップ 大きい公園 マンションは情報が入ってこない。専門化医の不足（佐久方面へ行ってしまう）大型店舗 精神障害者のサポート体制の充実	
117	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証自主返納者に対するタクシー等の補助事業拡大 ・家屋の耐震工事費等の拡充補助・空き家解体工事費の補助拡大 	
118	市の郊外の交通の便を良くして下さい。和田区を通るバスが廃止されました。	
119	小諸市での取組状況の確認のしやすさ、小諸市HPでの見やすさ等、SNSは活用されていますか？ちなみに何処で誰が何に困っているのか第三者が確認する術はあるのでしょうか？（HP等で）	
120	福祉に携わる人々への軽減を願う（大変さの）	
121	自分の老後が心配です。少ない年金で入れる施設があるか心配です。	
122	小諸市から地域福祉のための補助金が出ていると思いますが、全然恩恵を受けたことがありません。	
123	「向こう三軒両隣」が薄れてきたように思っているが、身近な所から始めたらと思う	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
124	活気あるまちづくりができるよう国や県が対応、待ちではなく独自の市の推進がもっとあればと思います。限りある予算等の振り分けが難しいと思いますが頑張ってください。	
125	入区費？先に住んでいる者に対し後から住む者は仲間にしてやるから金を出せ。人口増えるの？	
126	地域福祉の推進に協力しようと活動しています。一人でも多くの方が協力していただけるとありがたいと思います。	
127	農家の人たちの消毒、騒音障害を何とかしてほしい。朝は早く夜遅く迄働いているので週一回は休むとか朝か夜、時間を考えてやって欲しい。分譲住宅として家を建てて売って欲しい。後から環境を変えられるとびっくりする。	
128	市で取り組んでいる情報等が市役所や月一回の小諸等を目を通していますが、例えばスーパーや郵便局、銀行等、目につきやすい場所にお知らせがあれば良いかと思っています。	
129	困った時に親切に相談にのってくれるところがあること	
130	生活保護の条件を緩くする。子育て世代に目を向けすぎているので高齢者に対して手当てがない	
131	市で行っている地域福祉についてよく知らないことが多い。理解や関心が広まっていいなあと思います。	
132	全世代に渡り、相談窓口や支援の仕組みを具体的に幅広く全員に認知されていないと感じるので積極的に広げていただきたいです。	
133	コロナが流行している時は、外出するのも憚られて、家にいることが多かったけど、最近は買い物にも出かけられて少し開放された気がして良い方向に向いてくれて良かったなと感じています。季節も桜の開花に向かっているので人も明るくなるといいなと思っています。	
134	子育てする上で、応援チケットなどはとても助かっています。これからも支援して頂ければ備品などにあてることができるので継続してほしい。	
135	「親身になって」市民の声に耳を傾けていただくことが住みやすい小諸市になる第一歩だと思います。	
136	耳取区の子どもたち、夏の暑い日も冬の寒い日も歩いて一時間の道のりは大変過ぎると思う。熱中症で倒れる子も出ているのでバスの通学を各家庭にアンケート取って欲しい。	
137	他市町村の対策だけを鵜呑みにせず独自の考えも排除せず同時進行で選択 子育て世代を重要すべし	
138	近所とのコミュニケーションがコロナ禍と薄れてしまった様に感じるが地域との関わりを大事にしたいと思う。	
139	身寄りのない高齢者の葬儀や納骨の生前契約をサポートするエンディングサポート事業が必要になってくると思います。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
140	公平な保健制度	
141	まず第一に自分自身が健康寿命を延ばす事に努力する事、(例:ウォーキングなど積極的にする)	
142	現在は家族が健康だが、住まいが山間地なのでもっと年を取ったり病気で動けなくなった時に車での送迎等助けていただけるとありがたい。孤独死もしたくない。	
143	楽しめる自然環境を生かし遊具の沢山ある公園を増やしてほしい。企業誘致し働く場所確保し移住者を増やし人口増につなげて欲しい。保育料未満児も無料にしてほしい。	
144	地域福祉計画の趣旨を考慮すれば、地域コミュニティの必要性、活性化に向けた市民意識を問うアンケート内容にすればより明確に回答し易いと感じました。	
145	もっと活動については知るべきかなとは思っているが、積極的にとまではいかないで自然に目にするPRなどがあっても良いかも?新聞広告とか。	
146	「健康達人」等の活動内容が充実して様々な趣味の習い事などがあると参加者が増えて、近隣住人ともつながりができ、何かの時には助け合いができると思います。	
147	誰もが利用しやすい映画館を作りたい	
148	高齢ドライバーによる事故を少しでも減らす為に市内循環バスの本数や無料(もしくは200円程度の安い)タクシーを走らせる⇒安心して暮らせる市内の小中学校へ小諸市の取り組みを分かり易く伝える授業を年1~2回でも良いので開講するなど 理解を深めるべきは大人だけではないと思う	
149	大変お世話になっております 新しいお店がopenされており嬉しく思います。すでに取り組んでいただいておりますが、駅前の賑わい→市全体へ「小諸ブランド」を広げていくことができれば……。小諸にしかない場所(懐古園,陣屋,北国街道の町並みツアー等、高峰高原まで入れて)物(名産品、ワイン等)人(島崎藤村→小諸義塾高校に受け継がれるかと思ひます)どんどん発信して下さい 小諸を好きになってくれる人が増えることが暮らしやすさにつながります どうか宜しくお願いいたします	
150	若い世代は。仕事や子育てに忙しく、高齢者は仕事ができる限り続けている。地域で福祉推進に、少し前の時代のように、60代の方が貢献できるという人材は減っている、という現状から、なかなか地域福祉が盛んになることは難しいと感じる。対価が必要かと思う。	
151	年寄り子供も若者も一緒に楽しめる場所があれば。	
152	近隣でも高齢家庭或いは単身世帯が増えている。わが身も親族がいなくなりつつあり、先行き不透明。地域参加協働もありとは思ふものの、心身のハードルは高い。また個人の内なる問題には役立たず、最終的には迷惑でも、市の窓口を相談先として頼らざるを得ないのではないかと思う。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
153	交通機関の充実 気軽に世代間交流できるようなイベント	
154	自分の子供が3～4年後小学生になりますが、美南ガ丘小学校に通うことになる予定です。①人数も多く遠方となるため、御影区に小学校を新設してほしい。②上記が難しいようであればせめて歩道を整備してほしい。事故があってからでは遅いと思います。③美南ガ丘小学校付近を整備もしくは移転すべきだと思う。子育てしやすい環境を目指すのであれば、小・中学生も大切にしてもらいたいなあと切に願います。	
155	福祉に関する活動はほかの同好会行事と同時に実施する時もあります。 ※新たに立案～実施（行政・政策 その他）する役員さんは大変です。 ※文字の大きさは今回このアンケート調査の大きさが最適です。	
156	ホームヘルパーさんがどんどん少なくなり、家で介護を受けながら普通に暮らしていけるのか、介護事業所がやっていけるのか不安です。 地域内で、助け合い、支え合いはできていないと思います。	
157	実際に支援が必要になった時 どこに聞いたら良いのかわからないのでこのようなときは、ここに連絡とかわかる、パンフレットがあるとありがたいと思います。	
158	自分が生活する為に仕事をしているので、公の事は公の仕事に携わっている方達にまかせたい。町の役員が冬の夜に夜回りをするなどおかしい。かえって不用心ではないだろうか。	
159	高齢社会移行の時代を迎え、原油材料等高騰に対する中で、社会福祉等にも積極的に支援する必要と思う。生きづらくなってきた。	
160	高齢化による自動車運転免許証の返納が必要となった後、スーパーや病院等へ行く足がなくなる事に不安を持っています。住んでいる場所が区の中心から離れた飛び地で、ゴミ出しも車で行くような状況なので、車のない世帯への福祉が充実するとありがたいです。	
161	具体的な行動計画を望みます。（5W1H方式で）	
162	市の中心より外の地域では免許返納後の買物に困っている人に対して何か良い方法はないでしょうか？「こもろ愛のりくん」は不評です。タクシーは高額になります。	
163	限られた財政の中で（厳しい）ハード面は学校再編だけでいっぱいだと思う。何をやるにもお金はかかるが、小諸市の色をだすために何をしていくかですよ。一人一人の気持ちも大切ですよね。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
164	現在は心身が健康で、会社勤めもしているため困ったことがあっても友人知人に相談することで解決できているが、今後年齢を重ね一人暮らしになった時の事を想像すると、不安は感じる。行政機関を大きなものでなく「隣組」的なご近所のかかわりが深められるようにする努力を援助したり、子供の頃から周りで助け合う教育を施すというアナログな事を、ネット社会に於いて、自身でも調べ助けを求めることが身近にできるようになるデジタルな部分の推進を並行して行っていただけるとありがたい。	
165	経済的な問題も含め、健康で自立した生活を送れるように、衣食住にわたって総合的に支援、指導できる機関を設けて欲しい。	
166	介護教室など進めてもらえればよいかと思えます。小諸市の地域福祉の推進をやるだけやれるだけやってもらえれば良いと思えます。	
167	子育ての支援がたくさんあるとうれしい。	
168	新しい店が増えましたが、広報が少ない気がします。SNS やフリーペーパーで市が広報の手伝いをしたりはできないのでしょうか？	
169	いつもありがとうございます。 コミュニティナースの活動に興味関心があり、地域でおしゃべりサロンを開催したことがあります。コロナの拡大で立ち消えてしまいました。そういった活動を支えて頂けるとありがたいなあと思えます。	
170	子どもの遊び場がない（主に室内）	
171	具体的に何をしているのかわからない。情報を発信してください。	
172	免許証返納という大変不便な生活状態を、これから先考える時が近づいて参ります。身体の健康と安全を保つ為には、市営の定期バス運行をぜひお考え下さい。一日数本で良いのです。（大勢の人たちの希望より）	
173	高齢化が進む中で、高齢者一人一人が不安なく幸せに暮らせるような住みやすい環境づくりをお願いしたいです。 高齢の方がふらっとよれて困っている事や不安なことを相談できるような公民館的なお茶のみ処みたいな所があるといいな…と思えます。	
174	高齢世帯の雪かきの対処など…雪の多い年は心配	
175	高齢者の会で活動している者ですけど、カラオケ、マレットゴルフ、旅行、団地の中のお花畑の手入れ、毎月の会合とフル活動で動き回っています。小諸市の支援お願いします。	
176	今生活していく上で福祉問題の情報が共有できていない。問題を分かりやすく目で見える様に発信してもらいたい	
177	正直、地域福祉の推進をしているが判りづらいと感じる。小さい子供から働き世代、高齢者まで当たり前で暮らせる環境なのか、その市民の声を市に聞いてもらえているか微妙に感じる。市民の声を市が聞いてくれる、それに対して市が答える、基本的なところを見なおしてほしい。	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
178	良い生活環境の延長に健康な身体と心が育ち、幼児、子供時代、成年、老人の時代と続くと思うので、公害のない食事、野菜作り、米作りなど と空気のきれいさを、個人では守れないので、市主導で環境を守ってほしい。	
179	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部の開発→暮らしやすい様に（西小諸地区、特に） ・生活必需品（食料や日用品）などの調達がしやすい近くの店を作る、交通の便も考慮して。 ・後継者が喜んでくれる、喜んで継いでくれる体制づくり ・区の協働活動、道普請などの参加を年齢により免除する制度化 	
180	個人個人明るい光のある楽しみがあり小諸市に生まれて良かったと思います	
181	このアンケートの意義を感じません	
182	問 23 は、問 22 の選択肢とそっくり同じで問 23 の質問」にマッチングしていない	
183	空き家や古い家を解体すると、その土地の税金が高くなるからそのまま放置していると思います 考えて頂きたいです	
184	小さなイベントでも小諸市が取り組みに参加してくれないと、知らなかった事が多くあるので宣伝して下さい	
185	皆が幸せに楽しく生きていける市になってほしい	
186	高齢の方が孤立しない仕組みづくりを考えてほしい。（デイサービスは参加したくないが、リハビリなら行くという人もいますので、うまく働きかけてほしい） 子育て世代が疲労困ぱいしないような仕組みもお願いします。	
187	<p>多人数の買い物客がいる中で長時間自分の子どもを大きな声で泣かせている母親子どもがかわいそうであると同時に「若い母親の精神状態が気になります」その道義的責任を問う前に行政としても町づくりに於いても 観光や商業の発展や高齢者事業に主眼を置いているとしか思えない町づくりは、全世代がどうやって生き生きと暮らしていけるかに転換するべきではと強く希望します 相生町に本屋さん（古本屋さんでもOK）を復活させる 手芸のお店があって欲しい これらは老若男女が学習や作業を通じて自然に会話が生まれ 交流が生まれ生き生きとした暮らしに若い母親たちにも自然な交流がきっと生まれるでしょう</p>	
188	民生委員さんがもっと活動して安心して暮らしが出来るように願います どの方が地区の担当されているか分からないので知らせてもらいたい 厚生課担当係様へ	
189	福祉に携わる人は一部の方、人に任せているというイメージがある。学校やその他、人の集まる場所で福祉を考えたり知ったりしていく必要があると思いました	

No.	内 容	※ 回答をそのまま記載
190	雪が降った際の雪かきが非常に深刻だと強く毎年実感します。私のような若者も近所には少なく、80代の高齢者が何人も雪かきをしています。1軒の家庭が雪かきを始めると、まわりも参加せざるを得ません。大前提として数センチの積雪の際は雪かきが欠かせません（ごみ捨てや、買い物などの日常生活において足元が危険すぎるためです）ざっとでも良いので市民が日常で使う道は数センチ降った場合、雪かきを重機でして頂きたいです。	
191	今年度（R5）組長当番で区の活動に少し参加しました。高齢の方たちの活動は活発に感じ、育成会活動は内容などにも見直しがあってもいいのでは、と感じました。他区を知らないで現状がわかりませんが、参加がすっかり少なくなっているようでした。	
192	何をしているのか知らないので意見ありません	
193	老人などが移動のしやすい環境を整備する必要がある。市内循環バスなど上記を含め、人が動くということが重要。移住者支援も重要だが、古くからいる人はより大切にすべきであり、それができなければ人は他の市町村へ流れていく。	
194	問題を抱えている人は疲弊しています、なのに抱えている問題を一つ一つ担当部署へもっていかなければならない現状を何とかしてもらいたい。市役所の皆さんは住宅の現状を知っていますか？早く出ていってほしいと思っていますよね、と話しています。母が中松井の住宅に一人暮らしをしております。古い住宅なのでねずみが出ます。最近94なので身体の不調と共に、少し認知症が出はじめ、民生委員の方より地域包括を紹介して頂きましたが、その方が家に来た時のひと言が「失礼ですがこんな所に住んでいらっしゃるんですね」でした。それが今の小諸市の問題ではないでしょうか。（年金で暮らしている母にとっては、今の住宅で独りで気楽に生きたいらしく、一緒に暮らそうと言っても嫌がっていますが）「ねずみが出ます」と言ったら、スリッパを持参してよいかと。「ねずみをどうにか」と言ったら役所へと言われた。包括さんから伝えてもらう事も出来ないのですよね。小諸市の福祉はたらい回しの現状なのではと思われました。	
195	「困っている人に愛の手を」→私の小学、中学の頃の言葉でした。「赤い羽根」の募金の中より「塩カル倉庫を作りました」「暖房機を交換しました」「社協職員・会長の手当て」の比重がだいぶ重いと聞く。こんな事から会長職におさまれば、年金がわりに、何時になっても退かない。市議に手当を調べさせたが、会より「それだけは言えないとのこと」 もっと透明性をもって！！ 会長職は手当より名誉職と思う。無手当で良い。その分寄付金全額を「愛の手」として配布すべきだ。現状の500円/1世帯当たりの強制は良くない。何回お願いしても変化なし。赤い羽根を否定はしない。赤い羽虫がいる限り同募金には一切協力するつもりはない。地産地消→税金の→今まで箱物全て市外業者へ発注 市内各業者を育てて頂きたい。坂の上・千曲・水明校舎設計を市内・県外業者1件もなし。秋田・大阪・岐阜の業者がなんで小諸のことがわかるのか？不思議！	
196	小諸市にプールがなくなってしまい（交流の場所）、子供との遊べる場所が少ない	